

**岡山市第六次総合計画
(前期中期計画)**

未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山

桃太郎のまちづくりレポート 2016

平成 30 年 3 月

岡山市

目 次

➤ 取組への評価・評価の基準	1
➤ 評価結果の概要	
(1) 成果指標の進捗状況	3
(2) 主な事務事業の進捗状況	10
➤ 取組実績報告（分野別計画編）	21
➤ 取組実績報告（区別計画編）	185

取組への評価

岡山市第六次総合計画 前期中期計画（平成 29 年 3 月策定（計画期間：平成 28 年度から平成 32 年度））では、計画を着実に推進するため、「計画(Plan)」→「実行(Do)」→「評価(Check)」→「見直し(Act)」を繰り返す「PDCA サイクル」の考え方に基づいた進捗管理を行うとともに、取組の進捗状況等について毎年度公表することとしています。

このたび平成 28 年度の取組状況を取りまとめた、「桃太郎のまちづくりレポート 2016（岡山市第六次総合計画 前期中期計画取組実績報告）」では、長期構想に掲げる都市づくりの基本目標である「未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山」の実現に向けて取り組む 30 の政策について、政策ごとに設定した成果指標の達成状況や、各施策のもとで実施する主な事務事業の進捗状況について評価を行っています。

評価の基準

成果指標の評価基準

上昇・改善

- ・前年度実績値に対し、上昇・改善している

横ばい

- ・前年度実績値に対し、横ばいである（変動率±0.5%の範囲以内）

低下・悪化

- ・前年度実績値に対し、低下・悪化している

評価対象外

- ・指標の調査周期が隔年等のため、前年度実績が把握できない

事業の進捗状況の評価基準

順調

- ・年度当初に計画されていた業務が予定通り又は予定以上に実施されたもの
- ・事業目標値がある場合は、目安として予定の 9 割以上の実施

概ね順調

- ・年度当初に計画されていた業務が概ね予定通り実施されたもの
- ・事業目標値がある場合は、目安として予定の 8 割以上から 9 割未満の実施

やや遅れ

- ・年度当初に計画されていた業務の実施がやや遅れているもの
- ・事業目標値がある場合は、目安として予定の 7 割以上から 8 割未満の実施

遅れ

- ・年度当初に計画されていた業務の実施が遅れているもの
- ・事業目標値がある場合は、目安として予定の 7 割未満の実施

※平成 29 年 8 月公表内容からの更新事項

成果指標の実績値(H28)について、平成 29 年 8 月時点では判明していなかったもののうち、平成 30 年 3 月末現在において判明しているものを追記。

<実績値(H28)が判明した成果指標>

政策 4

・観光入込客数（千人）

政策 6

・主要バス路線利用者数（1 日当たり）（人）

政策 8

・歴史・文化ゾーン来訪者数（万人）

政策 11

・放課後児童クラブ入所希望児童（潜在ニーズを含む見込み）に対する入所できた児童の割合（%）

政策 20

・健康寿命（歳）

政策 24

・自主防災組織率（%）


政策 28

・ごみの資源化率（%）

・市民 1 人 1 日当たりのごみ排出量（g）

評価結果の概要

(1) 成果指標の進捗状況

将来都市像	上昇・改善 	横ばい 	低下・悪化 	小計	評価対象外	合計
I 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」	14	1	1	16	12	28
II 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」	8	2	5	15	10	25
III 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」	19	1	1	21	3	24
都市経営	2	0	0	2	3	5
計	43	4	7	54	28	82

■ 約 8 割の指標が上昇・改善傾向




82の成果指標から、調査周期等に当たっていない28の指標を除いた54の指標のうち、約8割にあたる43の指標が「上昇・改善」しており、全体として目標達成に向けて順調に推移しています。

「上昇・改善」した主な指標として、将来都市像Iでは、企業立地件数やコンベンション参加者数など、将来都市像IIでは、ESDプロジェクト参加団体数など、将来都市像IIIでは認知症サポーター数など、都市経営では、岡山市役所の管理職に占める女性の割合などがあげられます。

一方で、全国学力・学習状況調査のB問題（主として「活用」に関する問題）の偏差値など、4つの指標が「横ばい」、また、保育所等の待機児童数など、7つの指標が「低下・悪化」していることから、関連事業を点検し、指標の改善につなげていきます。


成果指標の進捗状況一覧

評価基準

<p>上昇・改善 「」</p> <p>・前年度実績値に対し、上昇・改善している</p>
<p>横ばい 「」</p> <p>・前年度実績値に対し、横ばいである（変動率±0.5%の範囲以内）</p>
<p>低下・悪化 「」</p> <p>・前年度実績値に対し、低下・悪化している</p>
<p>評価対象外 「 - 」</p> <p>・指標の調査周期が隔年等のため、前年度実績が把握できない</p>






将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

成果指標数 28





政策	成果指標（単位）	調査周期	基準値 H27	実績値 H28	目標値 H32	傾向	掲載頁
政策1	市内就業者数（人）	1年	362,044 (H25)	363,344 (H26)	374,000		23
	開業率（%）	1年	5.5	6.0	6.6		
	企業立地件数（件）	1年	8	12	33 (H28～32の合計)		
政策2	快適で賑わいのある都心づくりの満足度（%）	2年	20.4	-	23 (H31)	-	29
	中心市街地の歩行者通行量（人） 上段：平日 下段：休日	2年	3,925 5,405	-	4,200 5,800	-	
	J R 岡山駅乗降客数（1日当たり） （万人）	1年	13.2	13.4	14.3		
政策3	新規就農者数(人)	1年	27	30	40		33
	担い手への農地集積率（%）	1年	25.3	26.8	37.5		
	多面的機能制度取組面積（ha）	1年	2,609	2,953	7,025		
	岡山産の野菜・果物等の購入を意識している市民の割合（%）	2年	56.4	-	65 (H31)	-	

政策	成果指標（単位）	調査 周期	基準値 H27	実績値 H28	目標値 H32	傾向	掲載 頁
政策4	観光入込客数（千人）	1年	7,577	8,297	9,487		41
	コンベンション参加者数（人）	1年	152,296	181,175	207,000		
	転入超過者数（人）	1年	883 ※過去10年間 (H17～26)の 平均	523	1,000		
政策5	都市としての便利さと自然の豊かさとの調和の満足度（%）	2年	30.8	-	32 (H31)	-	47
	人口集中地区（DID）人口密度（人/ha）	5年	60	-	61	-	
政策6	J R市内全駅乗車数（1日当たり）（万人）	1年	10.9	11.1	11.7		53
	主要バス路線利用者数（1日当たり）（人）	1年	31,500	32,259	31,500		
	生活交通導入地区数（試行運転開始地区を含む）（地区）	1年	-	1	4		
	自転車利用環境の整備に対する満足度（%）	2年	15.5	-	22 (H31)	-	
	主要渋滞箇所数（箇所）	1年	42	42	39		
政策7	美しい都市景観の形成に対する満足度（%）	2年	26.7	-	28 (H31)	-	61
	公園・緑地の整備や緑化の推進に対する満足度（%）	2年	40.8	-	44 (H31)	-	
	住宅や住環境の整備に対する満足度（%）	2年	18.4	-	20 (H31)	-	
政策8	歴史・文化ゾーン来訪者数（万人）	1年	316	322	336		67
	文化財施設・講演会等への来訪者数（人）	1年	46,815	46,992	47,300		
政策9	過去1年間に文化芸術を体験（参加・鑑賞）した人の割合（%）	2年	45.2	-	60 (H31)	-	73
	文化活動の振興に対する満足度（%）	2年	19.1	-	25 (H31)	-	
政策10	成人の週1回以上のスポーツ実施率（%）	2年	34.3	-	47 (H31)	-	77

政策	成果指標（単位）	調査 周期	基準値 H27	実績値 H28	目標値 H32	傾向	掲載 頁
政策11	子育て支援・児童福祉の充実に対する満足度（％）	2年	16.7	-	30 (H31)	-	81
	保育所等の待機児童数(人)	1年	729 (H28.4.1)	849 (H29.4.1)	0 (H33.4.1)		
	放課後児童クラブ入所希望児童（潜在ニーズを含む見込み）に対する入所できた児童の割合（％）	1年	87.7 (H28.4.1)	79.7 (H29.4.1)	100 (H33.4.1)		
	男性も女性も仕事と家庭を両立できるのがよいと考える市民の割合（％）	2年	82.4	-	85 (H31)	-	
政策12	心豊かな岡山っ子応援団賛助団員（団体）	1年	11	11	60		87
	社会参加プログラムに参加して就職に至った発達障害者数(人)	1年	-	4	25 (H28～32の合計)		
	里親等委託率（％）	1年	13.3	12.6	23		
	青少年の健全育成に対する満足度（％）	2年	11.1	-	20 (H31)	-	
政策13	市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合（％）	5年	10.7 (H24)	-	16 (H29)	-	93
	固定的な性別役割分担意識の解消度（％）	2年	65.4	-	73 (H31)	-	
	若者（20歳代）の地域活動への参加割合（％）	2年	17.9	-	30 (H31)	-	
政策14	「学校に行くのが楽しい」と答えた子どもの割合（％）	1年	小：85.8 中：83.5	小：85.4 中：83.4	小：90 中：88		97
	全国学力・学習状況調査のB問題（主として「活用」に関する問題）の偏差値	1年	小6国語：50 小6算数：50 中3国語：48 中3数学：48	小6国語：50 小6算数：50 中3国語：48 中3数学：48	小6国語：51 小6算数：51 中3国語：50 中3数学：50		
	「人が困っている時に進んで助けている」と答えた子どもの割合（％）	1年	小：85.5 中：80.2	小：86.4 中：81.4	小：92 中：90		
	1週間の総運動時間が60分以上の子どもの割合（％）	1年	中2男子：91.9 中2女子：75.3	中2男子：92.3 中2女子：76.3	中2男子：93 中2女子：79		
政策15	「子どもと向き合う時間が充足している」と答えた教職員の割合（％）	1年	50.2 (H28)	-	60	-	105
	全38中学校区のうち、地域協働学校に指定した中学校区数（中学校区）	1年	30	31	35		



政策	成果指標（単位）	調査 周期	基準値 H27	実績値 H28	目標値 H32	傾向	掲載 頁
政策16	市立図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数(冊/人)	1年	6.3	6.2	6.4		111
	公民館主催講座・クラブ講座における利用延べ人数(人)	1年	815,750	823,498	816,000		
政策17	ESDプロジェクト参加団体数(団体)	1年	246	260	300 (H31)		115
	地域活動への参加割合（%）	2年	39.9	-	52 (H31)	-	
	企業・NPO法人等が参加した安全・安心ネットワーク数（団体）	1年	23	27	50		
政策18	国際交流・国際化について満足している市民の割合（%）	2年	11.1	-	13 (H31)	-	123
	岡山市に住み続けたい外国人市民の割合（%）	1年	83.1	83.8	88		
政策19	人権問題に関する講演会・研修会などに参加したことがある市民の割合（%）	5年	45.9 (H25)	-	47 (H30)	-	127

政策	成果指標（単位）	調査 周期	基準値 H27	実績値 H28	目標値 H32	傾向	掲載 頁
政策20	健康寿命（歳） 上段：男性 下段：女性	3年	71.6 73.4 (H25)	71.6 74.3 (H28)	72.2 75.3 (H31)		131
	生涯現役応援センターに活動希望の登録を行った高齢者数（人）	1年	61	180	660		
政策21	かかりつけ医がいる市民（60～80歳代）の割合（%）	3年	63 (H24)	62	70 (H31)		135
	生活・介護支援サポーター養成数（人）	1年	822	986	1,550		
	認知症サポーター数（人）	1年	28,924	34,298	49,000		
政策22	障害者の福祉施設から一般就労への移行者数（人）	1年	86	95	120		141
	就労支援を行った生活保護受給者数（人）	1年	833	836	860		
	就労支援を行った生活困窮者数（人）	1年	144	193	170		
政策23	下水道浸水重点対策整備率（%）	1年	20	38.4	53		145
	住宅・建築物等の耐震化率（%） 上段：住宅 下段：避難路沿道建築物	1年	83 87	84 88	95 95		
	水道の基幹管路（口径400mm以上）の耐震適合率（%）	1年	41.8	41.9	45.8		
	市中心部の下水道管きよの老朽化点検率（%）	1年	30	46.5	71		
政策24	自主防災組織率（%）	1年	62.4	63.4	75		151
	住宅用火災警報器の設置率（%） 上段：設置率 下段：条例適合率	1年	67.7 53.8	70.4 58.2	85 70		
政策25	安全・安心な地域社会と感じる市民の割合（%）	2年	82	-	86 (H31)	-	157
	刑法犯認知件数（件）	1年	7,186	6,293	5,500		
政策26	ホテルの生息地（地点）	2年	200	-	200 (H31)	-	161
	多様な主体による自然体験プログラム開催数（回）	1年	420	422	450		
	美化推進重点区域内のごみのポイ捨て数（1主要通り当たりの1日平均）（個）	1年	106	106	100		

政策	成果指標（単位）	調査 周期	基準値 H27	実績値 H28	目標値 H32	傾向	掲載 頁
政策27	温室効果ガス排出量(千 t -CO ₂)	1年	6,476 (H25)	6,270 (H26暫定)	6,000 (H30)		165
	環境にやさしいライフスタイルの実践度(%)	2年	46	-	56 (H31)	-	
政策28	ごみの資源化率 (%)	1年	22.7	27.2	28		169
	市民1人1日当たりのごみ排出量 (g)	1年	837	828	809		
	汚水処理人口普及率 (%)	1年	80.9	81.9	85		

都市経営

成果指標数 5

政策	成果指標（単位）	調査 周期	基準値 H27	実績値 H28	目標値 H32	傾向	掲載 頁
政策29	岡山市に住み続けたいと考える市民の割合 (%)	2年	79.2	-	85 (H31)	-	173
政策30	実質公債費比率 (%)	1年	9.5	8.1 (速報値)	9%台		177
	行政窓口の充実に対する満足度 (%)	2年	18.7	-	25	-	
	岡山市役所の管理職に占める女性の割合 (%)	1年	8.4 (H27.4.1)	10.6 (H29.4.1)	14 (H33.4.1)		
	広報・広聴、情報公開、市民参加の推進に対する満足度 (%)	2年	13.1	-	18	-	

(2) 主な事務事業の進捗状況

将来都市像	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ	合計
I 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」	39	61	7	0	107
II 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」	35	63	3	0	101
III 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」	38	45	5	0	88
都市経営	11	7	0	0	18
計	123	176	15	0	314

■ 9割超の事業が順調・概ね順調

前期中期計画に掲載の314事業の進捗状況は、9割超にあたる299事業が「順調」又は「概ね順調」であり、着実に事業を実施することができました。

進捗が「順調」であった主な事務事業としては、企業立地推進事業をはじめ、歩いて楽しい道路空間整備事業、コンベンション誘致対策事業、ひとり親家庭支援事業、生涯現役社会づくり事業、認知症サポーター・サポートリーダー等養成事業などがあげられます。

一方で、15の事務事業が当初の見込みよりも「やや遅れ」となりました。

「やや遅れ」となった主な事務事業としては、自転車走行空間の整備や高齢者向け地域優良賃貸住宅（サービス付き）の整備、心豊かな岡山っ子応援団事業、自主防災会育成事業などがあげられ、これらの事務事業については、課題を検証し、事業手法の改善等によって事業の推進を図っていきます。

主な事務事業の進捗状況一覧

評価基準

<p>順調</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に計画されていた業務が予定通り又は予定以上に実施されたもの ・事業目標値がある場合は、目安として予定の9割以上の実施 <p>概ね順調</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に計画されていた業務が概ね予定通り実施されたもの ・事業目標値がある場合は、目安として予定の8割以上から9割未満の実施 <p>やや遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に計画されていた業務の実施がやや遅れているもの ・事業目標値がある場合は、目安として予定の7割以上から8割未満の実施 <p>遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に計画されていた業務の実施が遅れているもの ・事業目標値がある場合は、目安として予定の7割未満の実施
--

将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

事業数 107

政策	施策	事務事業名	進捗状況	掲載頁
政策1	施策①	ヘルスケア産業創出・育成事業	順調	24
	施策②	ものづくり産業振興事業	順調	25
		ものづくり産学官連携推進事業	概ね順調	25
		ものづくり産業海外展開支援事業	順調	25
		中小企業の経営安定化事業（融資制度資金貸付、経営診断）	概ね順調	25
		中小企業活性化事業・創業支援事業	概ね順調	26
		商業団体等助成事業	概ね順調	26
	施策③	企業立地推進事業	順調	26
		空港南産業団地整備事業	順調	27
	施策④	雇用対策等事業	概ね順調	28
勤労者サポートプラザ事業		順調	28	
政策2	施策①	西川魅力にぎわい創出事業	順調	30
		旭川かわまちづくり事業	順調	30
	施策②	歩いて楽しい道路空間整備事業	順調	31
		自転車先進都市の推進 [一部再掲]	概ね順調	31
		まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上	概ね順調	31
	施策③	商店街等地域商業の活動への支援	概ね順調	32
	施策④	市街地再開発事業の促進	概ね順調	32
		土地利用の適正誘導（高次都市機能の充実・強化） [一部再掲]	概ね順調	32

政策	施策	事務事業名	進捗状況	掲載頁
政策3	施策①	農業の担い手の確保・育成事業	概ね順調	34
		農業経営力向上対策事業	概ね順調	35
		農産物販路拡大支援事業	概ね順調	35
	施策②	農業農村整備事業	概ね順調	36
		土地改良区等支援事業	概ね順調	36
		優良農地確保事業	順調	36
		農村集落活性化事業	概ね順調	37
		農作物被害対策事業	順調	37
	施策③	地産地消推進事業	概ね順調	38
		都市農村交流施設・資源活用事業	概ね順調	39
		市場活性化事業	概ね順調	39
	施策④	林業振興事業	概ね順調	40
水産業振興事業		概ね順調	40	
政策4	施策①	観光資源の魅力アップ事業	概ね順調	42
		岡山まつり開催事業	順調	43
		観光施設の活用事業	概ね順調	43
		おかやま観光情報発信事業（インバウンド推進）	概ね順調	43
	施策②	コンベンション誘致対策事業	順調	44
	施策③	都市イメージの発信	概ね順調	44
		おかやま観光情報発信事業（シティプロモーション）	概ね順調	45
	施策④	移住・定住の促進	概ね順調	46
政策5	施策①	土地利用の適正誘導	概ね順調	48
		岡山操車場跡地整備事業（健康・医療・福祉系施設導入区域）	順調	48
		岡山西部総合公園（仮称）整備事業	やや遅れ	48
		岡山操車場跡地整備事業（市営住宅・社会福祉施設導入区域）	概ね順調	48
		北長瀬駅北土地地区画整理事業（仮称）	やや遅れ	49
	施策②	中山間・周辺地域活性化支援事業	概ね順調	49
		地域おこし協力隊事業	概ね順調	49
		農村集落活性化事業〔再掲〕	概ね順調	50
		地産地消推進事業（農業者と消費者等の交流促進）〔一部再掲〕	概ね順調	50
		都市農村交流施設・資源活用事業〔再掲〕	概ね順調	51

政策	施策	事務事業名	進捗状況	掲載頁
政策6	施策①	新たな総合交通計画策定	順調	54
		鉄道の利用環境改善	概ね順調	54
		まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上〔再掲〕	概ね順調	55
		バスの利用環境改善	概ね順調	55
		モビリティマネジメント	順調	55
		超小型モビリティの導入可能性検討	概ね順調	56
	施策②	生活交通の維持・改善	概ね順調	56
		新たな生活交通の確保	概ね順調	56
	施策③	自転車走行空間の整備	やや遅れ	57
		駐輪場の整備	概ね順調	57
		コミュニティサイクル「ももちゃり」の利用促進	概ね順調	57
		自転車ルール・マナー向上	順調	58
	施策④	サイクリングロードの充実	やや遅れ	58
		広域交通網の整備	概ね順調	58
外環状道路の整備（岡山環状道路）		概ね順調	59	
中環状道路の整備		概ね順調	59	
		生活道路の整備	概ね順調	59
政策7	施策①	都市景観形成事業	順調	62
		緑のボリュームアップ事業	概ね順調	62
		岡山西部総合公園（仮称）整備事業〔再掲〕	やや遅れ	62
	施策②	公園施設の長寿命化	概ね順調	63
		西川魅力にぎわい創出事業〔再掲〕	順調	63
		旭川かわまちづくり事業〔再掲〕	順調	63
	施策③	岡山市住生活基本計画の策定	順調	63
		高齢者向け地域優良賃貸住宅（サービス付き）の整備	やや遅れ	64
		岡山操車場跡地整備事業（市営住宅・社会福祉施設導入区域）（北長瀬みずほ住座の再生）〔一部再掲〕	概ね順調	64
		空き家対策	概ね順調	64
		東山斎場再整備事業	順調	65
		新斎場整備事業	順調	65
		市営墓地維持管理事業	順調	65
政策8	施策①	岡山芸術交流の開催	順調	68
		都心創生まちづくり事業	順調	68
		観光資源の魅力アップ事業（岡山城と岡山後楽園のタイアップ）〔一部再掲〕	概ね順調	68
		オリент美術館と県立美術館等との共同事業〔再掲〕	概ね順調	69
		観光施設の活用事業（岡山城の魅力アップ）〔一部再掲〕	概ね順調	69
	施策②	文化芸術に親しむ事業（おかやま国際音楽祭）〔一部再掲〕	順調	69
		史跡造山古墳群保存整備事業	概ね順調	69
		史跡岡山城跡の保存整備	概ね順調	70
		史跡公有化の推進	概ね順調	70
		文化財及び埋蔵文化財の発掘調査成果の活用	順調	70
		「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業	順調	70
		観光資源の魅力アップ事業（歴史・伝統・文化の活用、継承）〔一部再掲〕	概ね順調	71

政策	施策	事務事業名	進捗状況	掲載頁
政策9	施策①	新しい文化芸術施設の整備	順調	74
		岡山フィルハーモニック管弦楽団の活動支援	概ね順調	74
		岡山シティミュージアムの運営	やや遅れ	74
		オリエント美術館と県立美術館等との共同事業	概ね順調	75
	施策②	文化芸術に親しむ事業	順調	75
		子どもたちへの文化体験機会の提供	概ね順調	75
政策10	施策①	トップチーム支援事業	順調	78
		おかやまマラソン	順調	78
	施策②	東京オリンピック・パラリンピック等の事前キャンプ誘致及びホストタウン事業の推進	順調	78
		競技スポーツの振興	順調	79
	施策③	体育施設整備事業	順調	79
		体育施設管理事業	順調	79
		体育団体等育成事業	順調	79
		学校体育施設開放事業	順調	80
		障害者スポーツ振興事業	概ね順調	80

政策	施策	事務事業名	進捗状況	掲載頁
政策11	施策①	私立保育所の施設整備	概ね順調	82
		地域型保育事業の整備	概ね順調	82
		延長保育・病児保育事業	概ね順調	83
		最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進	概ね順調	83
		保育士確保支援事業	概ね順調	83
		放課後児童健全育成事業	順調	83
	施策②	子育てパパ・プレパパ応援事業	概ね順調	84
		女性が輝くまちづくり推進事業（ワーク・ライフ・バランスの推進）[一部再掲]	順調	84
	施策③	妊産婦相談支援事業	順調	84
		乳児家庭全戸訪問事業	順調	85
	施策④	子育て応援サイトの運営	概ね順調	85
		一時預かり事業	概ね順調	85
		ファミリーサポート事業	概ね順調	86
		シルバー世代産前産後応援事業	順調	86
子ども医療費助成制度		順調	86	
政策12	施策①	心豊かな岡山っ子応援団	やや遅れ	88
		プレーパーク普及事業	順調	89
		次世代育成体験活動促進事業	概ね順調	89
	施策②	子ども相談主事の配置	順調	90
		発達障害者支援センター事業	概ね順調	90
		入所施設児童等福祉対策	順調	91
		退所児童等アフターケア事業	順調	91
		里親委託等家庭養護の推進	やや遅れ	91
	施策③	ひとり親家庭支援事業	順調	91
		青少年健全育成事業	順調	92
		子ども若者育成支援事業	概ね順調	92
政策13	施策①	女性が輝くまちづくり推進事業	順調	94
		男女共同参画推進事業（さんかくウイーク）	順調	94
		男女共同参画推進事業（さんかく岡山）	概ね順調	94
		男女共同参画相談支援センター運営事業	概ね順調	95
	施策②	安全・安心ネットワーク支援事業（若者の地域活動への参加促進）[一部再掲]	概ね順調	95
		岡山ESDプロジェクト推進事業（学生のESD活動への参加促進）[一部再掲]	順調	95
		雇用対策等事業[再掲]	概ね順調	96
		学校支援ボランティア事業[再掲]	概ね順調	96

政策	施策	事務事業名	進捗状況	
政策14	施策①	学力向上推進プロジェクト	概ね順調	99
		習熟度別サポート事業	概ね順調	99
		岡山っ子スタート・サポート事業	概ね順調	100
		英語教育推進事業	概ね順調	100
		教育課題別研究事業	順調	100
		学校支援ボランティア事業	概ね順調	101
	施策②	はぐくむ心・あったかハート事業	概ね順調	101
		岡山キャリアスタートウィーク事業	概ね順調	101
		ユネスコスクール推進事業	概ね順調	102
	施策③	運動習慣定着化事業	概ね順調	102
		子どもの命を守る岡山市立学校におけるAED整備及び応急手当普及員研修事業	概ね順調	102
		学校保健事業	概ね順調	102
		スーパー食育スクール事業における成果の普及事業	概ね順調	103
	施策④	共に生きる子どもを育てる障害児支援事業	概ね順調	103
		共に成長し合う学級集団づくり推進事業	概ね順調	103
		スクールカウンセラー配置事業	概ね順調	104
		不登校児童生徒支援員配置事業	概ね順調	104
		教育相談室・適応指導教室整備事業	概ね順調	104
日本語指導講師派遣事業		概ね順調	104	
政策15	施策①	教職員研修事業	順調	106
		教職員の力量を高める教育研究事業	順調	106
		若手教職員育成事業	順調	106
		特色ある岡山市教職員採用試験実施事業	概ね順調	107
		学校業務アシスト事業	順調	107
		部活動サポート事業	概ね順調	107
	施策②	学校耐震改修整備事業	順調	108
		校舎等増改築事業	順調	108
		I C Tを基盤とする情報活用能力アップ事業	概ね順調	108
		学校図書館の充実	概ね順調	109
	施策③	地域協働学校の推進と学校評価の充実	順調	109
		家庭教育支援事業	概ね順調	109
		地域コーディネーター事業	概ね順調	109
スーパー食育スクール事業における成果の普及事業[再掲]		概ね順調	110	
政策16	施策①	公民館運営事業	概ね順調	112
		公民館建設事業	概ね順調	112
		公民館耐震改修整備事業	概ね順調	112
		公民館 E S D 活動推進事業	概ね順調	113
		インターネット予約図書を受取・返却窓口拡充事業	概ね順調	113
		図書館業務システム活用による市民サービスの向上及び蔵書の適正管理	概ね順調	113
		図書館施設の改修及び修繕	概ね順調	113
		郷土資料の保存と活用	やや遅れ	114

政策	施策	事務事業名	進捗状況	
政策17	施策①	岡山ESDプロジェクト推進事業	順調	116
		公民館ESD活動推進事業[再掲]	概ね順調	117
		ユネスコスクール推進事業[再掲]	概ね順調	117
	施策②	安全・安心ネットワーク支援事業	概ね順調	118
		電子町内会推進事業	概ね順調	118
		住民自治組織育成事業	順調	118
		区づくり推進事業	概ね順調	119
		コミュニティ推進事業	順調	119
	施策③	ESD・市民協働推進センター運営事業	概ね順調	119
		市民協働推進モデル事業	順調	120
		市民協働推進専用ウェブサイトの運営	順調	120
		協働のまちづくり条例普及・啓発事業	順調	120
大学等との連携		順調	120	
政策18	施策①	国際交流推進事業	順調	124
		子どもたちに重点を置いた国際理解の促進事業	順調	124
		英語教育推進事業[再掲]	概ね順調	125
		次世代育成体験活動促進事業（おかもやまイングリッシュビレッジ事業）[一部再掲]	概ね順調	125
		ユネスコスクール推進事業[再掲]	概ね順調	125
	施策②	多文化共生のまちづくりの推進事業	順調	126
	日本語指導講師派遣事業[再掲]	概ね順調	126	
政策19	施策①	人権フェスティバル岡山	順調	128
		人権啓発推進事業	概ね順調	128
		人権啓発活動補助金	順調	128
		人権教育推進事業	概ね順調	129
	施策②	岡山市戦没者追悼式	概ね順調	129
		岡山空襲展示室事業	概ね順調	129

政策	施策	事務事業名	進捗状況	掲載頁	
政策20	施策①	健康ポイント事業（仮称）	順調	132	
		桃太郎のまち健康推進応援団	順調	132	
		「健康市民おかやま21（第2次）」推進事業	順調	132	
		依存症対策推進事業	順調	132	
		自殺予防対策（ゲートキーパー講習会等普及啓発活動）	概ね順調	133	
	施策②	生涯現役社会づくり事業	順調	133	
		シルバー人材センター事業	概ね順調	133	
	施策③	介護予防センター事業	順調	134	
		「健康市民おかやま21（第2次）」推進事業[再掲]	順調	134	
		生涯現役社会づくり事業 [再掲]	順調	134	
政策21	施策①	在宅医療介護連携推進事業[再掲]	概ね順調	136	
		生涯現役社会づくり事業[再掲]	順調	136	
		生活・介護支援サポーター養成事業	順調	136	
		認知症サポーター、サポートリーダー等養成事業[再掲]	順調	137	
		高齢者施設の整備	概ね順調	137	
		地域包括支援センター運営事業	順調	137	
	施策②	在宅医療介護連携推進事業	概ね順調	138	
		在宅介護総合特区推進事業	順調	138	
	施策③	認知症初期集中支援チーム	概ね順調	138	
		認知症高齢者見守り事業	概ね順調	139	
		認知症サポーター、サポートリーダー等養成事業	順調	139	
		認知症カフェ等運営事業	概ね順調	139	
		市民後見人養成研修実施事業	順調	139	
	施策④	国民健康保険財政健全化推進事業	順調	140	
		要介護認定研修事業	順調	140	
		介護給付費適正化事業	順調	140	
	政策22	施策①	障害者就労支援事業	概ね順調	142
			障害者差別の解消の推進	概ね順調	142
施策②		生活困窮者自立支援事業	概ね順調	143	
		生活保護適正実施の推進	概ね順調	143	
施策③		地域福祉基盤づくり事業	順調	143	
	生活困窮者自立支援事業[再掲]	概ね順調	143		
政策23	施策①	浸水対策事業	概ね順調	147	
	施策②	橋りょう耐震補強事業	概ね順調	148	
		橋りょう長寿命化対策事業	概ね順調	148	
		市有建築物の耐震改修事業	順調	148	
		住宅・建築物耐震改修等補助事業	概ね順調	148	
	施策③	用水路等安全対策事業	概ね順調	149	
		道路新設改良事業	概ね順調	149	
	施策④	水道管路耐震化等更新事業	順調	149	
		水道施設耐震化等更新事業	順調	149	
下水道管きよの長寿命化、耐震化		順調	150		
		下水道施設（処理場、ポンプ場）の長寿命化、耐震化	概ね順調	150	

政策	施策	事務事業名	進捗状況	掲載頁
政策24	施策①	自主防災会育成事業	やや遅れ	152
		備蓄の推進	概ね順調	152
		総合防災訓練等の実施	概ね順調	152
		岡山市業務継続計画（BCP）の推進	やや遅れ	152
	施策②	消防署所適正配置	順調	153
		消防団機庫整備	順調	153
		消防団装備整備	順調	153
		住宅用火災警報器の設置推進	やや遅れ	153
		消防法令違反の是正推進	順調	154
		住宅防火対策推進	順調	154
		消防車両更新	順調	154
		消防ヘリコプター操縦士養成	順調	154
		救急救命士養成・教育	概ね順調	155
		高齢者対象の救急需要対策	概ね順調	155
消防指令システム更新整備	概ね順調	155		
消防・救急無線更新整備	順調	155		
政策25	施策①	地域防犯ボランティア支援事業	概ね順調	158
		防犯灯設置支援事業	順調	158
		特殊詐欺等被害対策電話機設置支援事業	概ね順調	158
		交通安全対策事業	順調	158
		自転車安全運転免許証交付事業	順調	158
	施策②	消費者教育推進事業	順調	159
政策26	施策①	生物多様性地域戦略策定推進事業	概ね順調	162
		身近な生きものの里事業	概ね順調	162
		ホタル調査および希少種保護事業	概ね順調	162
		開発事業に対する環境配慮の推進	概ね順調	162
		大気保全対策事業、水質保全対策事業	概ね順調	163
	施策②	いきものいろいろ交流プロジェクト事業	概ね順調	163
		水辺教室等の環境教育推進事業	概ね順調	163
	施策③	環境パートナーシップ事業〈エコボランティア活動〉	概ね順調	164
		環境美化推進事業	概ね順調	164
政策27	施策①	地球温暖化対策事業	概ね順調	166
		バイオ燃料地域利用事業	やや遅れ	166
	施策②	温暖化防止に向けた意識改革と行動喚起	概ね順調	166
		人と環境にやさしい交通ネットワークの再構築〔再掲〕	概ね順調	167
政策28	施策①	資源循環指導・啓発事業	概ね順調	170
		減量化・資源化対策事業	概ね順調	170
		中間処理施設での資源化推進	概ね順調	170
	施策②	ごみ処理体制の効率化	順調	171
		産業廃棄物対策事業	順調	171
		産業廃棄物不法投棄等対策事業	順調	171
	施策③	下水道整備事業	概ね順調	171
		合併処理浄化槽設置補助金事業	概ね順調	172
		し尿処理施設の整備・効率化	やや遅れ	172
		汚水処理施設の効率化	概ね順調	172

政策	施策	事務事業名	進捗状況	掲載頁
政策29	施策①	岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進	順調	174
	施策②	連携中枢都市圏ビジョンの策定と連携取組の推進	順調	174
		瀬戸内4県都市の連携推進	順調	174
	施策③	指定都市市長会を通じた取組の推進	順調	175
政策30	施策①	財政運営の健全性確保	順調	179
		市民に分かりやすい財政情報の提供	順調	179
	施策②	公共施設等マネジメント推進事業	順調	179
	施策③	PPP（公民連携）手法の活用	概ね順調	180
		I C Tガバナンスの推進	概ね順調	180
		市民サービス拠点の整備	順調	181
		マイナンバーカードを利用したコンビニ交付の推進	概ね順調	181
		マイナンバーカードの取得促進	概ね順調	181
	施策④	適正な定員管理	順調	182
		人材育成による職員の資質向上	順調	182
		女性の活躍推進	順調	182
		職員のワークライフバランスの推進	概ね順調	183
	施策⑤	伝わりやすい市政情報の発信	概ね順調	183
		広聴機能の充実	概ね順調	184

取組実績報告

(分野別計画編)

政策 1 新たな雇用と活力を生む戦略的な産業振興

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
市内就業者数（人）	362,044 (H25)	363,344 (H26)	374,000	↑	産業観光局
平成 26 年の岡山市民経済計算によると、基準値から上昇傾向で推移しており、緩やかな景気回復が見られたことから、目標値に向けて着実に増加している。					
開業率（％）	5.5	6.0	6.6	↑	産業観光局
景気の回復や低金利による創業資金の調達しやすさといった経済情勢の下、創業セミナー等、創業支援機関の創業支援充実による創業マインドの醸成も相まって創業者が増え、開業率の増加につながっているものと考えられる。					
企業立地件数（件）	8	12	33 (H28～32 の合計)	↑	産業観光局
本社・中四国支店等立地推進事業補助金制度の拡充とあわせ、アンケート調査を通じた企業訪問など様々な機会をとらえ効果的に企業誘致活動を実施し、中四国の交通結節点や自然災害の少なさなど、立地環境の優位性を企業に周知できたことにより、数値が上昇したと考えられる。					

総括

総合評価

施策① 強みと特性をいかした産業競争力の強化

- ・ヘルスケア関連産業等の創出・育成について、岡山ヘルスケア産業連携協議会を設立し、平成 28 年度末の会員数が 112 団体、ビジネスモデル創出のためのモデル事業補助金の採択が 3 件と一定の成果があった。今後は、協議会会員の熟度や事業化のステージにあった支援を実施し、新産業の創出・育成を推進していく。（産業観光局）

施策② 中小企業・小規模企業の育成・支援と経営安定化

- ・中小ものづくり企業等の育成・支援について、県外・海外の見本市へ出展する際の販路拡張助成事業補助金については、多くの企業から応募があり販路拡張の一助となっている。また、関西機械要素技術展では岡山市独自のブースを設置し、概ね良好な結果であったことから、今後も交付先企業や出展企業の成果を確認しつつ支援を継続していく。販路開拓・ハンズオン支援事業と地域産品ブランド力向上支援事業については、好評を得たものの、販路開拓・ハンズオン支援事業については想定を下回る応募状況となったため、事業の周知方法や募集時期等の見直しを図る必要がある。（産業観光局）
- ・中小企業等の経営安定化に向けた取組については、各産業支援機関と情報交換・連携しつつ事業資金の調達支援や経営相談等を実施したほか、各種経営セミナーや人材育成研修の開催、設備投資や販路開拓、創業経費への補助を継続して実施した。今後は、新規事業の検討を進めるなど、中小企業等の経営安定化や

創業しやすい環境づくりに向けた各種取組をさらに推進していく。(産業観光局)

施策③ 拠点性をいかした企業立地の推進

- ・企業立地については、立地件数が前年度と比較し 1.5 倍の 12 件と順調な結果であった。今後も引き続き、様々な機会をとらえ効果的に企業誘致活動を実施し、企業の立地を推進していく。(産業観光局)

施策④ 企業人材の確保と育成

- ・企業人材の確保については、新規学卒予定者等を中心に合同企業説明会等の開催や企業情報の発信支援等を実施しており、概ね順調に進捗しているが、今後も想定される市内企業の人手不足の解消に向けて、中高生などにも事業対象者を広げ、市内企業が P R 出来る機会を増やすとともに、採用担当者向けセミナーを開催し、企業の人材確保スキルを向上させる支援を行っていく。また、勤労者サポートプラザへの会員加入促進については、従業員の福利厚生の向上に力を入れる企業の加入もあって会員が増えるなど順調に推移し、中小企業支援の目的を果たしており、今後も継続して支援を行っていく。(産業観光局)

主な事務事業

施策① 強みと特性をいかした産業競争力の強化

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
ヘルスケア産業 創出・育成事業 (産業観光局産 業政策課)	・「岡山ヘルスケア産業連携協議 会」における異業種交流やビ ジネスマッチング等の活動を 通じた新たな製品・サービス の開発及び事業化を図るため に必要な異業種連携の促進、 モデル事業への補助等の実施	・岡山ヘルスケア産業連携協議会 (H29. 3. 31 現在：会員数 112 団体、 支援機関 18 団体) の運営 (ワーキン ググループ形成のためのビジネス マッチングを目的としたマッチングセ ミナー2回開催、協議会会員の熟度 に応じたテーマ別熟度別セミナー開 催、新規会員獲得のための啓発セ ミナー開催)	・セミナー開催等の 協議会会員の熟 度に応じた協議 会運営を行い、会 員の事業化のス テージに応じた 的確な支援を行 う。
		・岡山型ヘルスケアのビジネスモデル 創出のためのモデル事業補助金 (採 択 3 件)	
		・ヘルスケア産業市場調査とりまとめ	
		・モデル事業事業者による活動報告会 の開催	
		・協議会会員がもつ個々のシーズ・リ ソース情報をまとめて会員に配布し 会員情報の共有化を図るシーズ集の 作成	
		進捗状況	順調

施策② 中小企業・小規模企業の育成・支援と経営安定化

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)		今後の課題・方向性
ものづくり産業振興事業 (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・中小ものづくり企業等を対象とした新商品の研究・試作開発費に対する補助や県外見本市等に出展する際の小間料等に対する補助 ・中小ものづくり企業等の受注機会の拡大を目的とした、新規取引先の開拓・販路拡大をめざした広域商談会の開催や大規模展示会等への出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・販路拡張助成事業費補助金 採択：61件 ・関西機械要素技術展 出展企業数：7社 商談件数：207件 ・現地商談会（大阪地区・名古屋地区） 参加企業数：39社 商談件数：113件 ・広域商談会 参加企業数：41社 商談件数：132件 		<ul style="list-style-type: none"> ・支援事業を活用する企業が固定化しつつあることから、既存の支援事業に加え、市産業の現状を捉えた新たな支援事業も検討する。また、支援事業の周知方法も工夫する必要がある。
ものづくり産学官連携推進事業 (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山大インキュベータの入居者に対する賃料の補助 ・起業家やベンチャー企業が活躍しやすい環境づくりの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山大インキュベータ入居状況(平成29年3月末現在) 22部屋入居/28部屋 家賃助成実績8件(28年度) ・アメリカのベンチャービジネス状況を紹介するシリコンバレーセミナーを県と合同で開催(H29.2.7) 		<ul style="list-style-type: none"> ・補助受給者の事業化状況など、引き続き、事業成果を確認するとともに、退所後についても、事業化に向けて必要な支援を行っていく。
ものづくり産業海外展開支援事業 (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・OIBA（岡山県国際経済交流協会）、JETRO岡山（日本貿易振興機構 岡山貿易情報センター）、岡山EU協会との連携による、中小ものづくり企業等の海外市場への販路拡大の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・各海外展開支援機関の運営費の一部を負担（OIBA、JETRO岡山、岡山EU協会） ・各海外展開支援機関が主催するセミナー等へ積極的に参加 		<ul style="list-style-type: none"> ・各海外展開支援機関と連携を図るとともに、海外展開を希望する企業の利活用を促していく。
中小企業の経営安定化事業（融資制度資金貸付、経営診断） (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の事業資金の調達支援や経営相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市中小企業融資制度事業：792件（新規融資件数） ・中小企業融資制度利子補給金事業 ・中小企業融資制度保証料補給金事業 ・マル経融資利子補給事業：537件 ・中小企業向け企業相談事業：3件 		<ul style="list-style-type: none"> ・国の法改正など、動向を踏まえ、融資制度の見直しについて検討を要する。

中小企業活性化事業・創業支援事業 (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業を対象とした各種経営セミナーや人材育成研修の開催、設備投資・販路開拓に対する補助 ・創業に要する経費への補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業向け経営等セミナー事業：2回 ・中小企業向け人材育成事業：4回 ・中小企業支援事業：13件（機械設備投資）／53件（情報発信） ・創業者支援事業：38件 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業開始から一定程度経過していることから、既存事業について、見直しを図り、必要に応じて新規事業を検討する。
		進捗状況	
商業団体等助成事業 (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所、各商工会が行う経営改善普及事業等に対する補助 	【商工会議所商工会経営改善事業補助金】 <ul style="list-style-type: none"> ・市内1商工会議所及び4商工会に対して補助を実施 【商店会連合会補助金】 <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市商店会連合会・西大寺商店会連合会に対して補助を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店会連合会補助金について、事業成果を確認しながら、適切な活用を促していく。
		進捗状況	

施策③ 拠点性をいかした企業立地の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
企業立地推進事業 (産業観光局産業政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・本社や本社機能、中四国支店等の広域的営業拠点を立地する企業への助成 ・市内本社企業の本社機能拡充への助成 ・製造工場やコールセンター等を立地する企業への助成 ・市内既存工場等の再投資及び拠点強化への助成 	【企業立地の状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・立地件数12件（本社・中四国支店9件、ソフトウェアハウス等2件、研究所1件） ・新規常用雇用者数133人 【企業誘致活動の状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問183件（うち県外32件） ・企業アンケート調査3,789件 【国への規制緩和要望等の取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路IC周辺等の交通アクセス性に優れた場所において、産業振興に資する土地利用を図るため農振法の規制緩和を求めて、「国への政策提言・要望」活動や「国家戦略特区」への提案等、様々な機会を活用し、国への要望、提案等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問やアンケート等を定期的 to 実施し、企業ニーズを的確に把握することで、制度の新設、拡充等を適宜行う必要がある。
		進捗状況	

空港南産業団地 整備事業 (産業観光局産 業政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山空港から南へ4kmに位置する未利用県有地である元第2リサーチパーク用地を活用した、岡山県との共同による企業誘致のための産業団地の整備(平成30年度分譲開始予定) ・平成27年5月に市県で締結した「空港南産業団地の開発に伴う協定書」に基づき、市県で役割分担して団地整備事業に着手。 ・汚水管理設のための詳細設計を委託。(開削路線等 L=1,240m) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は、団地区域内において県施工事業と並行して市施工事業が始まることから、限られた工期中に上下水道及び道路事業といった複数事業を同時実施するため、県を含めた関係部署間で綿密な事業調整を行い効率的に推進する必要がある。

施策④ 企業人材の確保と育成

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
雇用対策等事業 (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 新規学卒者やU I J ターン希望者を対象とした合同企業説明会の開催、若年求職者への市内企業での就業体験機会の提供等 市内企業の企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への提供による情報発信支援 	<ul style="list-style-type: none"> 新規学卒者等合同企業説明会等の開催 10/24 就活フェスタ秋の陣 (参加求職者数 155 人) U I J ターンを意識した合同企業説明会の開催 8/8, 9 岡山に合説あり。夏の陣 (参加求職者数 475 人) 就業体験先を決めるための合同企業説明会を開催後、マッチングされた企業と求職者で就業体験を実施 8/22 ジョブマッチング (参加求職者数 54 人、内就業体験者数 24 人) 159 社の企業情報を掲載した企業情報冊子を 5,000 部作成し、県内県外大学、関係機関等へ配布 人事担当者向けセミナー等の開催 2/15, 21 スキルアップセミナー (参加企業数 57 社) 個別訪問指導の実施 (参加企業 6 社) マザーズハローワーク出張相談を岡山ふれあいセンター等市内 6 カ所で開催 (参加者数計 70 人) 		<ul style="list-style-type: none"> 今後若手人材確保がより困難になることが想定され、事業対象者の範囲を拡大させることで市内企業の人材確保を推進する。
		進捗状況	概ね順調	
勤労者サポートプラザ事業 (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 市内中小企業を対象とした福利厚生事業を行う「岡山勤労者サポートプラザ」が実施する会員加入促進事業等に対する補助 	<ul style="list-style-type: none"> 「勤労者サポートプラザ」が実施する会員加入促進事業等への補助を実施 会員数 16,882 人 (H29. 3. 31 時点) 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き会員の増加が課題と考えており、会員のニーズに沿った事業の展開をしていく。
		進捗状況	順調	

政策2 魅力と賑わいのある中心市街地の創出

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
快適で賑わいのある都心づくりの満足度（％）	20.4	-	23 (H31)	-	政策局
中心市街地の歩行者通行量（人） 上段：平日 下段：休日	3,925 5,405	-	4,200 5,800	-	産業観光局
JR岡山駅乗降客数（1日当たり）（万人）	13.2	13.4	14.3	↗	都市整備局
駅前広場整備、新駅設置、改札の新設などによる鉄道利用環境の改善によって、利用者が増加しているものと考えられる。					

総括

総合評価

施策① 歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わいづくり

- ・西川緑道公園筋歩行者天国社会実験においては、イオン開業前に比べ歩行者通行量が、約10倍となるなど、西川界隈の魅力にぎわい創出が図られている。また旭川を中心とした賑わいの拠点づくりについても国と連携しながら進めており、歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わいづくりに向けて、さらなる魅力発信を行っていく。（都市整備局）

施策② 賑わいにつながる回遊性の向上

- ・賑わいにつながる回遊性の向上について、県庁通り1車線化の回遊性社会実験では、イオン開業前に比べ歩行者通行量は1.5～3.9倍となるなど、回遊性の向上が図られている。今後は、歩道拡幅に伴った県庁通り1車線化と沿道を含めた魅力アップを図るため、県警をはじめ、地元や沿道の事業者等と協議を進め、歩いて楽しい道路空間の整備を推進していく。また、平成24年度に策定した「自転車先進都市おかやま実行戦略」に基づき、自転車走行空間整備、駐輪場整備、ももちやりの運用、自転車ルールやマナーの啓発等に取り組んでおり、平成29年度は、引き続き事業を進捗させるとともに、計画の中間評価を行い、施策メニューの実施状況や数値目標の達成状況を確認し、今後に向け、目標や実施期間の見直しを行う。（都市整備局）

施策③ 魅力的な商店街の振興

・商店街振興施策では、店舗誘致活動事業（テナントミックス型）などを採択し、一定の成果を挙げた。また、商店会連合会へは、連合会の行う顧客誘致事業や情報発信事業に対して支援を行った。引き続き商店街・商店会連合会の支援を継続するとともに、今後は商業グループに対する補助など、支援事業の拡充を図っていく。（産業観光局）

施策④ 高次都市機能の充実・強化

・市街地再開発事業の促進について、現在、2 地区で事業を推進中であり、10 地区において事業内容を検討中である。土地利用の適正誘導については、市街地開発事業促進するなど、概ね順調に進捗している。今後も、より一層高次都市機能の充実・強化を図るとともに良好な都市環境や賑わいを創出するため、地区権利者が組織する組合等に対して継続的に助言・指導等を行っていく。（都市整備局）

主な事務事業

施策① 歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わいづくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
西川魅力にぎわい創出事業(都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 西川パフォーマー認定事業者等との協働による西川緑道公園の特色をいかした定期的なイベントの開催 西川緑道公園筋（平和橋～桶屋橋）の歩行者天国の定期開催による、西川界隈での継続的で質の良い賑わいづくり パークマネジメントの取組による西川緑道公園の魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 西川パフォーマー事業者と市が協働して、定期的に西川緑道公園でイベントを実施 【西川パフォーマー事業】 認定事業（パフォーマー主体）＝40 回実施 活用事業（市主体）＝4 回(9 日)実施 【西川緑道公園筋歩行者天国社会実験】 土・日のうち計 4 日間実施 歩行者通行量はイオン開業前（239 人）の 9.3 倍（2,213 人）～13.2 倍（3,166 人） 	<ul style="list-style-type: none"> 西川緑道公園筋歩行者天国に関しては、民間主体の実行委員会による安定した運営と、定期開催の定着化を図る。 各種事業の開催により、さらなる西川緑道公園界隈の魅力発信を行う。
		進捗状況	
旭川かわまちづくり事業(都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに向けた、国との連携による旭川さくらみちの整備や烏城公園（石山公園地区）の再整備等 市民、事業者、NPO、大学等との協働による、まちなかの公園の特性をいかした利活用やルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 旭川さくらみち歩行空間整備工事（浜樋門から下流約 460m 区間） 旭川さくらみち桜並木の剪定作業 第 2 回ミズベリング岡山旭川の開催（10/16） 烏城公園（石山公園地区）の再整備に伴う詳細設計 石山公園活用検討会の発足（3 回実施） 	<ul style="list-style-type: none"> イベント実施時の利便性向上に向け、石山公園の再整備を進める。 市民や観光客が憩い、賑わいの拠点にもなるカフェの公募を実施する。
		進捗状況	

施策② 賑わいにつながる回遊性の向上

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)		今後の課題・方向性
歩いて楽しい道路空間整備事業 (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県庁通りにおける交通規制を伴う社会実験での賑わい創出の効果、歩行者や自動車交通等への影響等を検証した上で、の県庁通りの再構築に向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県庁通りの1車線化の回遊性向上社会実験を実施 【実験概要】 ・ 平日を含む連続した1週間(10/1~7) ・ 歩行者通行量(平和橋西側地点)はイオン開業前と比べ、休日(1,287人)は3.9倍(5,050人)、平日(643人)は1.5倍(961人)。自動車交通に関しては、1車線化による大きな影響は見られなかった。 ・ アンケート調査では、立場による意見の違いはあったが、取組への理解の広がりが確認できた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 県警をはじめ、地元や沿道の方々との協議を進めながら大きな課題がなければ、再構築を進める。 ・ あわせて地域の方々へのまちづくりへの関心を高めていくとともに、まちづくりへの積極的参加を働きかけていく。
		進捗状況	順調	
自転車先進都市の推進【一部再掲】 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路状況に応じた自転車走行空間の整備 ・ 放置自転車の解消に向けた駐輪場の整備や、放置禁止区域の指定・拡充・指導・啓発の実施 ・ コミュニティサイクル「ももちやり」の利用促進等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桃太郎大通りににおける自転車走行空間整備(L=123m) ・ 駅元町北自転車駐車場整備(H29.2供用 799台分) ・ 田町一丁目自転車等駐車場整備(H28.11供用 53台分) ・ 民間自転車等駐車場整備補助制度の創設(制度活用による整備件数1件) ・ 駐輪場マップの作成 ・ ももちやりの運用(平均利用回転数3.99回/日台) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車走行空間整備について、年次計画を立て、整備率を向上させる。 ・ 駐輪容量が不足している表町周辺への駐輪場整備を進める。 ・ ももちやり導入後の事業評価を通し、現在の運営課題への対策も含め、持続可能な事業となる運営内容を検討する。
		進捗状況	概ね順調	
まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路面電車の岡山駅前広場への乗り入れに向けた取組の推進 ・ バスロケーションシステム等の案内情報の充実等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路面電車の乗り入れに伴う岡山駅前広場のあり方について、公開会議を2回開催し、関係者等の意見を聴取。 ・ 市内バス事業者の7社のうち4社が、バスロケーションシステムを導入。 ・ バスロケーションシステムの導入に併せて岡山駅デジタルサイネージの表示内容を改良。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り入れに伴う駅前広場のレイアウトやデザイン案について、関係者等と協議しながら取りまとめていく。 ・ バスロケーションシステムを導入していない事業者に対し、導入を働きかけていく。
		進捗状況	概ね順調	

施策③ 魅力的な商店街の振興			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
商店街等地域商業の活動への支援(産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街等が行う商店街活性化に向けた取組や、地域商業の活性化に向けた取組への支援 ・市内中心部の顧客吸引力や商業力等を計るために必要な各種調査の実施 ・商店会連合会が主催する魅力的なイベントの開催や情報発信、調査研究事業等への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客誘致事業として「備前岡山ええじゃないか」等の事業支援 ・商店会連合会の情報発信を支援 ・小売商業振興対策事業として、店舗誘致活動事業(テナントミックス型)1件、空き店舗対策事業4件、基盤整備事業2件に対し支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客誘致事業については継続実施していく。 ・小売商業振興対策事業については、商業グループに対する補助や大学生店舗応援事業を新規実施するなど拡充する。

施策④ 高次都市機能の充実・強化			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
市街地再開発事業の促進(都市整備局市街地整備課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発組合等が施行する再開発事業に対する、良好な都市環境や賑わいを創出するための助言・指導と補助金の交付 ・市街地再開発事業等を検討する初動期の地区権利者が組織する研究会等の自主的なまちづくり活動への支援 	<p>【市街地再開発事業】</p> <p>補助金交付地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山下一丁目1番地区 ・表町三丁目10番11番23番24番地区 <p>【市街地再開発等促進事業】</p> <p>補助金交付地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表町三丁目15番地区 ・駅前町一丁目2番3番4番地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発事業に対して助言・指導を行うと共に、事業の進捗状況を把握しながら、財源(国交付金)の確保に努めていく。 ・初動期の地区権利者が組織する研究会等の自主的なまちづくり活動を引き続き支援する。
土地利用の適正誘導(高次都市機能の充実・強化)[一部再掲](都市整備局都市計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合設計制度や高度利用地区等の容積率の割増制度を活用した民間開発の誘導 ・容積率のあり方や大街区化など土地の集約化、高度化、都市環境の改善を誘導する施策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発事業、高度利用地区の都市計画決定(1件) ・都心の容積率や新築動向などの実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・都心の土地の集約化、高度化、都市環境の改善を誘導する施策の検討を行う。

政策3 多彩で活力ある農林水産業の振興

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
新規就農者数(人)	27	30	40	↗	産業観光局
農業次世代人材投資事業や就農相談等の就農支援の取組により、目標値に向けて着実に増加している。					
担い手への農地集積率（％）	25.3	26.8	37.5	↗	産業観光局
機構集積協力金や担い手への規模拡大奨励金などの取組により、目標値に向けて着実に増加している。					
多面的機能制度取組面積（ha）	2,609	2,953	7,025	↗	産業観光局
平成28年度は、前年度に地元等の説明会を37回実施し、24地区において取組を検討し、地区内で合意形成の取れた14地区、約350haの取組面積が増加をしている。					
岡山産の野菜・果物等の購入を意識している市民の割合（％）	56.4	-	65 (H31)	-	産業観光局

総括

総合評価

施策① 意欲ある農業者による多様な生産の選択と拡大

・岡山市就農サポートセンターを設置し、150人の相談を受け、各種就農相談や就農に関する支援補助金を実施することで新規就農者の確保に一定の効果をえた。また、国、県やJA等の関係機関と連携し、生産の拡大や農業所得の向上に資する近代化施設・機械等の導入が実施され生産性の向上につながった。生産者団体等と連携した市内産農産物のPRを引き続き行い販路拡大に努め、「儲かる農業」の実現に向け、これらの取組を推進していく。（産業観光局）

施策② 生産基盤の整備と農村の再生・強化

・優良農地確保事業については、農業振興地域の整備に関する法律に基づき、引き続き事業を行っていく。また、地元説明会を開催することにより、多面的機能支払交付金事業の取組面積が増加しており、今後も引き続き、取組面積の増加に努めていく。有害鳥獣対策については、捕獲に対する奨励金の増額などにより、イノシシの捕獲が2,672頭（H27）から3,145頭（H28）に増加したほか、新たに設立した岡山市鳥獣被

害対策実施隊による、被害地区への環境整備や侵入防止柵に関する指導・助言や、専門講師によるイノシシ対策講演会などを行った。今後も農作物被害を防止するため引き続き事業を実施していく。(産業観光局)

施策③ 地産地消で市民が支え誇れる農業都市づくり

・「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ」には約 8 千人が来場し、広く市民に岡山の農水畜産物の良さを紹介することができた。また、ブース出展に伴い、農業者と商工業者との異業種交流の促進が図られ一定の成果を挙げた。都市と農村の交流推進については、市民農園、農業公園の情報発信を行ったことで利用者の増加につながったが、今後は農業・農村資源調査の結果を基に、各地域の農業資源をいかした幅広い都市農村交流を図る必要がある。(産業観光局)

施策④ 森林の活用と水産業の振興

・森林の活用と水産業の振興については、林道橋の長寿命化計画策定のため、全 4 橋の点検業務が完了したほか、林道や森林公園の維持管理、水産関連団体へノリ養殖の安定した生産と品質向上に向けた支援や、種苗放流、漁場環境の保全活動の支援を実施した。今後も引き続き、森林の活用と水産業の振興を推進していく。(産業観光局)

主な事務事業

施策① 意欲ある農業者による多様な生産の選択と拡大

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
農業の担い手の確保・育成事業 (産業観光局・農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> 若手農業者モデル経営体の登録及び新規就農希望者への紹介 就農相談会や農業体験研修等の実施による新規就農の促進 新規就農者への奨励金給付や就農直後の経営確立に資する資金の交付 U I J ターン園芸農業者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者数 30 人 就農相談会 8 回 農業体験研修 4 件 若手農業者モデル経営体の登録 14 経営体 奨励金給付 10 件 U I J ターン園芸農業者の認定 2 件 	<ul style="list-style-type: none"> 担い手の確保育成を図るため、就農に対するサポートや補助金の交付等を引き続き実施していく。今後も目標数値に向けて、引き続き事業を推進する。
		進捗状況	

<p>農業経営力向上 対策事業（産業 観光局・農林水 産課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水田農業の大規模化、地域振興作物の産地化など、水田フル活用に資する取組への支援 ・園芸作物や米・麦・大豆等の生産性向上に必要な機械導入や設備整備等への支援 ・担い手への農地集積に対する支援 ・農業者と企業の連携の支援 	<p>【経営所得安定対策推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の直接支払交付金申請者数 2,651 件 ・水田活用直接支払交付金申請者数 2,458 件 <p>【水田営農推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 1 件、受益個数 230 戸、受益面積 480ha） <p>【園芸作物生産流通対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 9 件、受益個数 1,213 戸、受益面積 270.21ha） <p>【畜産振興指導費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市畜産クラスター協議会の設立支援（H28.9.27 設立） <p>【環境保全型農業推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 8 件、受益戸数 95 戸、受益面積 71.54ha） ・環境保全型農業直接支払交付金（件数 6 件、3.4ha） <p>【担い手の育成・確保の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地集積率 37.5%（目標） 平成 28 年度実績 26.8% 	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物価格の低迷や生産コストの上昇、また貿易の自由化交渉への対応等、農業経営を取り巻く環境が厳しさを増す中で、農業者の経営力をさらに高め、農業生産を継続していくため、「儲かる農業」の実現に向けた施策を推進していく。 ・農地の集積等により、農地荒廃に歯止めをかける。 ・担い手の確保や販路の拡大など経営力の強化をはじめとする農業が抱える課題の解消のため、企業等が農業者との連携等を図り、次世代の儲かる農業を目指すため、そのノウハウ等を活かした新たな取組を実現化することを支援する。
	<p>進捗状況</p>	<p>概ね順調</p>	
<p>農産物販路拡大 支援事業（産業 観光局・農林水 産課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な食品見本市へ出展する農業者への補助 ・首都圏での地場農産物のPR活動 ・農業者団体等による農産物のブランド化への取組の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な食品の見本市への出展補助 8/18・19 東京（出展 3 社） 2/22・23 大阪（出展 8 社） ・市内産農産物の市内外でのPR 7/18・19 東京での清水白桃PR 9/7 シャインマスカットパネル展等 ・農産物の研究・開発を支援（4 団体） ・農業者団体等による農産物のブランド化への取組（4 件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知方法を工夫し、見本市への出店増につなげていく。 ・ブランド化への取組支援制度を農業者や農業団体の意向を踏まえ、より効果が期待できる内容を検討していく。
	<p>進捗状況</p>	<p>概ね順調</p>	

施策② 生産基盤の整備と農村の再生・強化

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)		今後の課題・方向性	
農業農村整備事業（産業観光局・農村整備課）	<ul style="list-style-type: none"> 農地の大区画化、排水改良、農業用施設の改修や補修・長寿命化対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した農業用施設等の改修用排水路及びため池、農道の改修など 338 件 補修・長寿命化対策、補修計画の作成 排水機場の機能保全計画作成 3 件 ため池・排水機場の計画概要書作成 2 件 除塵機施設設置等の実施 除塵機設置 2 件 管理の省力化、維持管理の軽減 樋門改良及び樋門電動化 38 件 水路底張り工事及びスクリーン設置工事など 27 件 農地の大区画化 小山地区ほ場整備 1 件（完了） 		<ul style="list-style-type: none"> 農業生産性の向上に資するほ場の大区画化や暗渠排水等による排水改良の推進等、地域要望に対する検討を行う。 農業用施設の長寿命化対策を推進する。 農業水利土木員報酬について検討を行う。 	
		進捗状況	概ね順調		
土地改良区等支援事業（産業観光局・農村整備課）	<ul style="list-style-type: none"> 主要な農業用施設の補修・維持管理を担う土地改良区や地域共同体等の組織、人材に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> 土地改良区等の組織、人材が適切に維持されるよう土地改良区への事務費等補助の交付 H28 実績 21 団体 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、土地改良区の組織、人材が適切に維持されるよう支援を継続するとともに、運営改善に取り組む土地改良区の支援等により組織の強化を図る。 	
		進捗状況	概ね順調		
優良農地確保事業（産業観光局・農林水産課）	<ul style="list-style-type: none"> 農用地のかい廃の防止や保全、生産性の高い集団優良農地の確保に向け、農業振興地域整備計画に基づき、農用地等として利用すべき土地を農用地区域として設定 	<ul style="list-style-type: none"> H28 実績 13,872 m² 優良農地の確保目標 H37 年度 13,454.3 m² 		<ul style="list-style-type: none"> 農業振興地域の整備に関する法律に基づき、引き続き事業を行っていく。 	
		進捗状況	順調		

農村集落活性化事業(産業観光局・農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付金制度等の活用による水路の泥上げや農道の砂利補充等の農地維持に向けた地域の共同活動、及び中山間地域等における耕作放棄地の発生防止や農業生産活動の維持を図る取組に対する交付金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> 【多面的制度】 ・ 56 組織、2,953ha 【中山間制度】 ・ 48 集落協定、1 個別協定、309ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過疎化や高齢化、担い手不足に伴う集落機能の低下の状況下の中で、農地の維持、農村環境・景観の向上に加え、集落機能の再生・強化を図り、農業振興及び地域活性化の中心となる地域のリーダーの育成・確保が課題である。
	進捗状況	概ね順調	
農作物被害対策事業(産業観光局・農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ イノシシ等有害鳥獣の駆除、駆除班活動への支援、侵入防止柵の整備推進 ・ 岡山市鳥獣被害対策実施隊による、農業者等に対する鳥獣被害防止のための啓発活動等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農作物鳥獣防止対策事業費補助金 電気柵 (20 か所、24,024m) ワイヤーメッシュ柵 (10 か所、7,367m) ・ イノシシの捕獲 3,145 頭 ・ 捕獲柵設置補助 41 基 ・ 啓発活動 イノシシ対策講演会 1 回 出前講座 1 回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有害鳥獣による農作物被害を防止するため、引き続き事業を実施していく。
	進捗状況	順調	

施策③ 地産地消で市民が支え誇れる農業都市づくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
地産地消推進事業（産業観光局・農林水産課）	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消マルシェの開催や農業者と商工業者との異業種交流の促進 ・農業者と消費者の交流及び消費拡大に向けた地産地消バスツアー等の開催 ・市内産の米の消費拡大のための料理教室や米粉フェスタ等の開催 ・小・中学校や老人クラブが中心となり実施する、地域での農業体験事業等の活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ」開催。連携中枢都市圏自治体からのブース出展。農業者と飲食店のマッチング。 来場者数 8,000 人 ・地産地消バスツアーの実施 年 2 回 ・スタンプラリー参加事業者数 19 事業所 ・米粉マップ掲載店舗 23 事業所 ・パネル展開催（H29. 3） ・米粉料理教室等 14 回開催 ・地域の老人クラブが主体となり、地域ぐるみで農産物の播種から収穫までの一連の作業を行う農業体験事業に係る経費の一部を補助。7 クラブ ・市内幼稚園、保育園、小中学校等が実施する農業体験学習の指導者に対する謝礼の一部を助成。88 校 		<ul style="list-style-type: none"> ・「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ」の来場者数を増やす。農業者と飲食店のマッチングが継続取引につながるようにする。
		進捗状況	概ね順調	

都市農村交流施設・資源活用事業（産業観光局・農林水産課）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民農園（牧山クラインガルデン）や農業公園（岡山市サウスヴィレッジ）を活用した都市農村交流の促進 ・農業・農村体験ができる施設等の地域資源をいかした農村観光の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 【牧山クラインガルデン】 ・総区画数 553 区画に対して、入園区画数 274 区画、利用率 49.5% 【岡山市サウスヴィレッジ】 ・多目的トイレの修繕、非常用バッテリーの交換、利用者数 784 千人 【農業・農村体験】 ・農業・農村資源調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・牧山クラインガルデンについては、土地の賃貸借契約（H25.4.1～H35.3.31）終了時に合わせ、今後の施設のあり方について検討していく。また、施設修繕についても必要に応じて、順次修繕を行う。 ・岡山市サウスヴィレッジについては、施設の利用状況を見ながら、指定管理の更新時（平成 33 年度）に今後の施設のあり方について検討していく。また、施設修繕についても必要に応じて、順次修繕を行う。
		進捗状況	
市場活性化事業（市場事業部・市場事業部）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民イチバデーや夏休み親子市場勉強会、いちば大学、黄ニラ祭りなど、市場関係者等による食育や販売促進の一環として市場内で開催されるイベント等での旬の食材の試食・食べ比べによる岡山産食材の紹介及び魅力発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民イチバデー 9/18(日) 試食（ブドウ、サワラ）各 200 食 2/18(土) 試食（野菜のミルクスープ、タコ）各 200 食 ・夏休み親子市場勉強会 8/3(水) 99 人 ・いちば大学 12/3(土) 34 人 ・黄ニラ祭り 2/10(金) 212 食 ・イチゴの食べ比べ 3/18(土) 340 食 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで多様な世代が楽しめるイベントとなるようにするとともに、従来からの名産品に限らず様々な地元産品の PR に努めていく。
		進捗状況	

施策④ 森林の活用と水産業の振興

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)		今後の課題・方向性
林業振興事業 (産業観光局・農 林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・林業者の移動・運搬道路及び地域住民の生活道路の保全を目的とした林道の維持管理 ・市民に憩いとレクリエーションの場を提供する森林公園の維持管理 ・森林整備地域活動支援交付金等を活用した、森林境界の確認や作業道改善への補助 	<p>【林道の維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈りの実施 ・豪雨による崩土撤去や倒木撤去の実施 ・林道橋の長寿命化計画策定のための点検業務の実施（全4橋） <p>【森林公園の維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内3ヶ所の森林公園（たけべの森、瀬戸町森林公園、貝殻山市民憩いの森） ・遊歩道の草刈り等の実施 ・市ホームページに森林公園に関する情報を掲載 <p>【森林整備地域活動支援交付金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施業の集約化80haの実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・林業者や周辺住民の移動・運搬道路として、林道の適切な維持管理に努める。 ・市民の憩いとレクリエーションの場としての利用促進のため、市内3か所の森林公園の適切な維持管理に努める。
		進捗状況	概ね順調	
水産業振興事業 (産業観光局・農 林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖の安定した生産と品質向上に向けた高性能な機械・設備の導入への支援 ・漁業資源、漁獲量の回復を目的とした種苗放流や漁場環境の保全活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・漁家経営の安定を図るため、水産関係団体へ事業助成を実施（4漁協、1連合会） ・漁業後継者グループの育成と水産業の持続的な振興のため助成を実施（4漁協） ・種苗放流 ヨシエビ 107kg アユ 1,071kg モロコ 177kg フナ 852kg 		<ul style="list-style-type: none"> ・水産関係団体や漁業後継者グループへの助成を継続し、漁業経営の安定化を図る。 ・種苗放流を継続して実施し、漁業資源の回復と漁獲量の安定化を図る。
		進捗状況	概ね順調	

政策4 国内外の人を惹きつける観光・交流の推進

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
観光入込客数（千人）	7,577	8,297	9,487	↗	産業観光局
瀬戸内国際芸術祭及び岡山芸術交流の開催により観光入込客数が上昇している。					
コンベンション参加者数（人）	152,296	181,175	207,000	↗	産業観光局
日中韓の会議や全国都市問題会議、介護保険推進全国サミット等の開催、また、全国高等学校体育大会等のスポーツ大会の開催が増加したことにより基準値から上昇している。					
転入超過者数（人）	883 ※過去10年間 (H17～26)の平均	523	1,000	↘	市民協働局
移住希望者を対象に移住相談会や移住下見ツアーなどを継続して実施しているが、平成28年の転入超過者数は基準値より減少している。					

総括

総合評価

施策① 広域的な観光・インバウンドの推進

・国内観光では、岡山城と岡山後楽園の連携イベントやデスティネーションキャンペーンの実施等により、両施設の入場者数は増加し、また、おかやま桃太郎まつり等の各種イベントを開催し、岡山の魅力を国内外に発信した。引き続き、岡山城・岡山後楽園の連携事業を展開して誘客促進を図り、滞在型観光へとつなげていく。インバウンドでは、連携中枢都市圏内の真庭市・吉備中央町と連携し「岡山型ヘルスツーリズム拠点化事業」を実施した。ムスリム観光客をターゲットに、マレーシア・インドネシアでの現地プロモーション、現地メディア招請等を実施したが、誘客につながっておらず、現地への効果的なアプローチとムスリム観光客の受入体制整備を行っていく必要がある。（産業観光局）

施策② 産官学連携によるコンベンションの誘致

・鉄道路線の利便性・優位性等を活かし、コンベンション開催補助拡充のPRやコンベンションの地元主催者との関係強化の取組等を実施したことにより、国際会議等を含めたコンベンションは、件数、参加者数とも着実に増加している。今後も産官学連携により、国際会議等を含めた積極的なコンベンション誘致を行っていく。（産業観光局）

施策③ 戦略的なプロモーションによる都市ブランドの確立

・シティプロモーションにおいては、桃太郎のまち岡山創造・発信事業として「桃太郎さんの朝ごはんプロジェクト」を実施し、「元気・健康」をテーマとした朝ごはんのレシピコンテストや朝ごはんマルシェを实

施し、一定の応募総数や来場者数があった。今後も、「桃太郎」を都市イメージとして積極的に情報発信し、「桃太郎のまち岡山」としての魅力を感じることができる観光素材の充実を図ることで、本市の都市ブランドの確立を目指していく。(産業観光局)

施策④ 移住・定住の促進

・移住相談会、移住下見ツアーとも参加者から好評を得ており、移住相談件数については概ね横ばいで推移している。今後も移住相談会や移住下見ツアーと併せて住まいの確保や就職・転職に向けた支援等を継続的に実施することで、東京圏等からの移住を促進していく。また、岡山連携中枢都市圏の自治体が協力した取組を始めたところであり、状況を見ながら事業の拡充・見直しを行っていく。(市民協働局)

主な事務事業

施策① 広域的な観光・インパウンドの推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
観光資源の魅力 アップ事業 (産業観光局観 光コンベンショ ン推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山城と岡山後楽園との連携による烏城灯源郷と幻想庭園との同時開催等による、宿泊客の増加や滞在時間の延長の促進 倉敷市等他都市との連携を通じた吉備路をはじめとする広域周遊観光の促進 瀬戸内海沿岸の他都市等と連携した情報発信や、岡山をベース宿泊地とする広域周遊観光等の促進 「備前池田家」や「古代吉備の国」等、岡山連携中枢都市圏における共通のテーマに基づいた歴史・文化資源の収集及びストーリー化、情報発信等による地域への愛着と誇りの高揚、観光資源としての魅力の向上 地域文化の創造を目的とした郷土に根付いた芸能の振興と民謡の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> 岡山後楽園との連携による事業の広報・実施 岡山城入場者数 350,194人 (対前年度(292,260人)19.8%の増うち外国人44,594人 (対前年度(28,402人)57.0%の増) 各種メディア・雑誌等へ広域なエリアで連携した情報発信による観光客誘致 瀬戸内4県都市長会事業として、4都市が連携してマレーシア物産展を実施 おかやま連携中枢都市圏域内の広域周遊観光の促進のため、作家「あさのあつこ」監修によるストーリーの作成 備前池田家 3話 古代吉備の国 3話 郷土芸能補助 7件 郷土民謡普及補助 総指導回数 56件 	<ul style="list-style-type: none"> 岡山城や岡山後楽園、吉備路など既存の観光地をはじめ、連携中枢都市圏域内における歴史文化資源をストーリー化し、情報発信することにより、岡山市固有の観光資源の魅力向上等滞在型観光の推進により、宿泊地としての魅力向上を図る。
		進捗状況	

岡山まつり開催事業 (産業観光局観光コンベンション推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 夏の花火やうらじゃに代表されるおかやま桃太郎まつり、国の重要無形民俗文化財に指定された西大寺会陽など、岡山らしさを味わえるまつりや滞在を促すイベントの充実等を通じた岡山の魅力の発信 	<ul style="list-style-type: none"> 各種まつり（イベント）の実施 第16回おかやま桃太郎まつり花火大会 来場者数 87万人 秋のおかやま桃太郎まつり 来場者数 16.3万人 	岡山らしさを味わえるまつりを継続実施し、幅広く情報発信することにより岡山の顔となるまつりの位置づけを目指す。
		進捗状況	
観光施設の活用事業 (産業観光局観光コンベンション推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山城天守閣をはじめとした市内各地の観光施設等の適切な維持管理や有効活用、市内各地の歴史・文化資源の統一看板「岡山歴史のまちしるべ」の設置等による観光客の満足度向上につながる受入体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年11月3日で再建50年を迎えた岡山城とウルトラマンをコラボさせた記念事業（～11/30）の実施 来場者数 33,733人 (11/3 3,759人) 岡山城のあり方調査の実施 観光客受入体制整備のため、岡山の観光地を紹介した看板の設置 岡山歴史のまちしるべ 設置場所・設置数 足守エリア5基 西大寺エリア3基 	再建50周年を迎えた岡山城天守閣等について、岡山のシンボルである岡山城ならではの歴史・人物などをコンセプトとする空間演出や、アミューズメント的要素等を検証し、あらたな活用方法を見出す。
		進捗状況	
おかやま観光情報発信事業（インバウンド推進） (産業観光局観光コンベンション推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 真庭市、吉備中央町との共同による東南アジア方面からのムスリム（イスラム教徒）観光客の受入体制の整備 岡山連携中枢都市圏での「岡山型ヘルスツーリズム」体験メニュー等の周遊観光パッケージ化及び育成・PR 外国人団体旅行客への宿泊費の助成 	<ul style="list-style-type: none"> 【ムスリム観光客の受入体制整備】 受入体制整備として、飲食店等に対するハラール対応セミナーの実施(全4回) ピーチマーク取得店舗(21店舗増) 個別指導 15施設 調味料・器具等の提供 5施設 ムスリムツアーガイドの養成講座(全7回) 【周遊観光パッケージ化、育成・PR】 ガイドブックの作成 専用HPの配信・運営 プロモーションビデオの制作 マレーシア・インドネシア現地プロモーション・農業・農村等観光資源調査の実施(観光メニュー化に向けたアンケート、現地調査) 郷土芸能・日本文化、軽スポーツ等観光メニュー化(14件) 【外国人団体旅行客への宿泊費助成】 宿泊助成 52社 	現地における本市の認知不足から、顕著な観光誘客増に結びついていないため、今後もターゲットを東南アジアのムスリム観光客誘致を目指し、現地プロモーションとともに受入体制整備も並行して取り組み、インバウンド推進を図る。
		進捗状況	

施策② 産官学連携によるコンベンションの誘致			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
コンベンション 誘致対策事業 (産業観光局観 光コンベンショ ン推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション開催補助金の交付（国際会議加算、託児サービスを含む）をはじめとする各種コンベンション開催支援 ・情報収集、セミナーの開催、主催へのセールス等の誘致活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション開催補助金 <p>開催件数 339 件 参加者数 187,175 人 補助件数 127 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議の主催者となるキーパーソンとの関係強化等を図り、国際会議の積極的な誘致を行う。また、英語スタッフの配置等での受入整備を行う。
		進捗状況	

施策③ 戦略的なプロモーションによる都市ブランドの確立			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
都市イメージの 発信 (市長公室広報 広聴課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページや「桃太郎のまち岡山」Facebook を活用した情報発信、市が実施するイベントや事業への「桃太郎のまち岡山」のネーミング・ロゴ・イメージキャラクターの活用等、全庁的な取組による都市イメージの発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・桃太郎のまち岡山 Facebook の運営 ・桃太郎のまち岡山のロゴマーク・フレーズの活用を推進 <p>Facebook いいね数：8,500 ロゴマーク利用数：58 (庁内外合計)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの活用やフレーズ・ロゴマークの一層の活用等により、「桃太郎のまち」としての認知度向上を図る。 ・産業観光局と連携してプロモーションしていく必要がある。
		進捗状況	

<p>おかやま観光情報発信事業（シティプロモーション） （産業観光局観光コンベンション推進課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「桃太郎」をテーマとしたイベントの開催や土産物等の観光素材の創出による観光客が楽しむことができる観光地づくりの推進 ・岡山連携中枢都市圏での「岡山型ヘルスツーリズム」体験メニュー等の周遊観光パッケージ化及び育成・PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・桃太郎さんの朝ごはんプロジェクト実施 レシコンテスト（10/23） 応募レシピ数 21（7/8～8/15 募集） 来場者数 3,500 人 ・「桃太郎のまち岡山」ロゴマーク 3 種類作成 ・「桃太郎のまち岡山創造発信事業」での大学生とのワークショップを通じた提言 ・桃太郎グッズの開発 「桃から生まれたももちや箱」 ももの香り茶 旅のお供のお煎餅 ・郷土芸能・日本文化。軽スポーツ等観光メニュー化（14 件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生からの「岡山市は桃太郎のイメージは定着しているが、全国的に認知がまだまだ低い」との指摘を踏まえ、桃太郎伝説創造発信事業において、岡山市出身のタレントを起用し、岡山市の魅力を情報発信する。 ・大学生からの「桃太郎伝説が市民や観光客に十分知られていない」との指摘を踏まえ、桃太郎伝説の地吉備路周遊事業において、桃太郎伝説ゆかりの地を巡り、吉備路エリアの認知度と魅力を向上させる周遊手段を提供することにより、観光入込客数の増加を目指す。

施策④ 移住・定住の促進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
<p>移住・定住の促進 (市民協働局移住定住支援室)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「岡山市移住定住支援協議会」を中心とした、岡山県や岡山連携中枢都市圏の市町等との協力による東京での移住相談会やセミナーイベント、移住下見ツアーの開催 ・移住支援専用ウェブサイトや Facebook 等の内容の充実、移住相談東京窓口を活用した、岡山市をはじめとする県内自治体の移住支援情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京での移住相談会開催 2 回 (来場者数 348 人) ・移住下見ツアー開催 2 回 (参加者数 15 組 49 人) ・「お試し住宅」利用世帯 13 世帯 ・移住支援専用ウェブサイトページビュー数 29,956 回/月 ・移住相談件数 (本庁) 338 件 (東京) 257 件 ・メルマガ登録者数 1,620 人 		<ul style="list-style-type: none"> ・岡山連携中枢都市圏の市町等と合同で、移住相談会や移住下見ツアーなどの取組を進めていく。
	進捗状況	概ね順調		

政策5 周辺地域の拠点機能の充実と活性化

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
都市としての便利さと自然の豊かさとの調和の満足度（％）	30.8	—	32 (H31)	—	都市整備局
人口集中地区（D I D）人口密度（人/ha）	60	—	61	—	都市整備局

総括

総合評価

施策① 活力ある拠点の形成と適正な土地利用の推進

- ・岡山西部総合公園（仮称）整備事業については、隣接する民間導入施設の整備とも調整しながら、平成34年度の完成に向けて整備を進めていく。また、北長瀬みずほ住座再生事業については概ね順調に進捗している。（都市整備局）

施策② 周辺地域の活性化と交流の促進

- ・中山間・周辺地域活性化支援事業については、モデル地域を定め、地域の課題解決に向けて地域と協議を進めている。また、地域おこし協力隊については御津・建部地域以外の市域の導入に向けて調整を進めている。（政策局）
- ・地域が行う農地や農業用施設等の維持管理等の共同活動が適切に行われるよう、地元説明会を開催し、多面的機能支払交付金事業の取組面積が増加した。「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ」には、約8千人が来場し、広く市民に岡山市の農水畜産物の良さを紹介することができた。引き続きこれらの取組を推進していく。また、農業・農村資源調査の結果を基に、地域の農業資源をいかした幅広い都市農村交流を図っていく。（産業観光局）

主な事務事業

施策① 活力ある拠点の形成と適正な土地利用の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)		今後の課題・方向性
土地利用の適正誘導 (都市整備局都市計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画法、農地法等の適正な執行及び都市計画マスタープランに基づく計画的な土地利用の推進 立地適正化計画制度を活用するなど、公共交通施策等の関連施策と連携した、コンパクトでネットワーク化された都市づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 都市機能、土地利用、公共交通等の実態調査及び都市構造の分析 		<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランの修正及び立地適正化計画の策定へ向けた検討を行う。
		進捗状況	概ね順調	
岡山操車場跡地整備事業(健康・医療・福祉系施設導入区域) (保健福祉局医療政策推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 健康・医療の充実や賑わい創出に向けた施設整備・運営を行う民間事業者への定期借地方式による土地の有償貸付け 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年5月に募集要項を公表し、事業提案書を受付け、提案内容について審査し、平成29年1月に、優先交渉権者の公表し、3月に基本協定を締結。 		<ul style="list-style-type: none"> 優先交渉権者との契約締結に向け、事業調整・協議を行い、平成29年中に定期借地権契約を締結。事業者により工事着手。平成30年度末オープンを目指す。
		進捗状況	順調	
岡山西部総合公園(仮称)整備事業 (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 多目的広場、芝生広場、見晴らしの丘等の配置による健康増進及び賑わい創出に資する緑あふれる総合公園としての整備 防災公園(広域避難場所、地域防災拠点)としての機能の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 用地購入 A=1.0ha 多目的広場基盤整備 A=1.3ha 耐震性受水槽 N=1基 高圧受電設備 N=1式 		<ul style="list-style-type: none"> 既存施設を供用しながらの整備であるため、イベント等との利用調整が必要であり、事業進捗に影響がある。 隣接する民間導入施設と、境界部分の施工時期や意匠等の調整が必要である。
		進捗状況	やや遅れ	
岡山操車場跡地整備事業(市営住宅・社会福祉施設導入区域) (都市整備局住宅課)	<ul style="list-style-type: none"> 北長瀬みずほ住居の建替え、子育て支援・高齢者支援の福祉施設等の併設 	<ul style="list-style-type: none"> 用地の買い戻しの完了 PFI事業として事業者の公募(総合評価一般競争入札) 		<ul style="list-style-type: none"> 今後、落札者決定後、議会の承認を経て契約を行い、平成32年度末の完成を目指す。
		進捗状況	概ね順調	

北長瀬駅北土地 区画整理事業 (仮称) (都市整備局市 街地整備課)	・市施行による土地区画整理事業の推進	・地域の方々に対し、土地区画整理事業を実施することによって良好な住宅市街地を形成するという市の考えを説明。	・地域の方々とまちづくりの考えに相違があることから、合意形成に向けて継続して協議を進めていく。

施策② 周辺地域の活性化と交流の促進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
中山間・周辺地 域活性化支援事 業 (政策局事業政 策課)	・複数のモデル地域の設定による地域の課題解決に向けた地域住民自らの手による活動に対する支援	・北区御津宇甘西地域、東区犬島、南区小串地域の3地域をモデル地域とした、地域の課題整理、対応策の検討。	・平成28年に選定した3地域への支援を引き続き行う。
地域おこし協力 隊事業 (政策局事業政 策課)(北区役所 北区・総務・地 域振興課)	・主に中山間地域等への地域外の人材の誘致及び地域住民との協力による地域活性化の促進	・協力隊を既に導入している御津・建部地域以外の市域に、地域おこし協力隊を導入する場合の条件の整理や内部での情報共有を実施 【御津・建部地域】 ・配置隊員数：御津2名、建部2名 ・活動内容：地域住民グループ等への支援や休耕地を活用した農作物栽培などの地域振興活動	・御津・建部地域以外の地域住民への説明を実施。受入れ体制が整った地域から募集を開始する。

農村集落活性化事業 [再掲] (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付金制度等の活用による水路の泥上げや農道の砂利補充等の農地維持に向けた地域の共同活動、及び中山間地域等における耕作放棄地の発生防止や農業生産活動の維持を図る取組に対する交付金の交付 	【多面的制度】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 56 組織、2,953ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過疎化や高齢化、担い手不足に伴う集落機能の低下の状況下の中で、農地の維持、農村環境・景観の向上に加え、集落機能の再生・強化を図り、農業振興及び地域活性化の中心となる地域のリーダーの育成・確保が課題である。
		【中山間制度】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 48 集落協定、1 個別協定、309ha 	
地産地消推進事業 (農業者と消費者等の交流促進) [一部再掲] (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地産地消マルシェの開催や農業者と商工業者との異業種交流の促進 ・ 農業者と消費者の交流及び消費拡大に向けた地産地消バスツアー等の開催 	「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ」の開催。連携中枢都市圏自治体からのブース出展。農業者と飲食店のマッチング。 来場者数 8,000 人	「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ」の来場者数を増やす。農業者と飲食店のマッチングが継続取引につながるようにする。
		・ 地産地消バスツアーを実施。 年 2 回開催	
		進捗状況	概ね順調
		進捗状況	概ね順調

<p>都市農村交流施設・資源活用事業 [再掲] (産業観光局農林水産課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民農園（牧山ラインガルテン）や農業公園（岡山市サウスヴィレッジ）を活用した都市農村交流の促進 ・農業・農村体験ができる施設等の地域資源をいかした農村観光の促進 	<p>【牧山ラインガルデン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総区画数 553 区画に対して、入園区画数 274 区画、利用率 49.5% <p>【岡山市サウスヴィレッジ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレの修繕、非常用バッテリーの交換、利用者数 784 千人 <p>【農業・農村体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業・農村資源調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・牧山ラインガルデンについては、土地の賃貸借契約（H25.4.1～H35.3.31）終了時に合わせ、今後の施設のあり方について検討していく。また、施設修繕についても必要に応じて、順次修繕を行う。 ・岡山市サウスヴィレッジについては、施設の利用状況を見ながら、指定管理の更新時（平成 33 年度）に今後の施設のあり方について検討していく。また、施設修繕についても必要に応じて、順次修繕を行う。
		<p>進捗状況</p>	

政策6 人と環境にやさしい交通ネットワークの構築

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
JR市内全駅乗車数（1日当たり）（万人）	10.9	11.1	11.7	↑	都市整備局
駅前広場整備、新駅設置、改札の新設などによる鉄道利用環境の改善によって利用者が増加しているものと考えられる。					
主要バス路線利用者数（1日当たり）（人）	31,500	32,259	31,500	↑	都市整備局
減少傾向にある路線もあるが、岡山駅東口ターミナルの方面別化等によりバス利用環境が改善されたことや、第3回瀬戸内国際芸術祭の開催や市内観光客の増加もあり、利用者が微増したものと考えられる。					
生活交通導入地区数（試行運転開始地区を含む）（地区）	-	1	4	↑	都市整備局
高齢化による自動車免許返納やバス路線の衰退により日常生活に必要な異動手段を失う人が増えており、生活交通導入に取り組む意向を持つ地域が増えつつある。					
自転車利用環境の整備に対する満足度（％）	15.5	-	22 (H31)	-	都市整備局
主要渋滞箇所数（箇所）	42	42	39	→	都市整備局
現状では、主要渋滞箇所の改良事業が完了した箇所が無いことから、前年度に対し横ばいとなっている。					

総括

総合評価

施策① 公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築

・公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築に向けて、各種施策を展開している。鉄道については、駅前広場等の交通結節点強化による利用環境の改善に取り組んできたこともあり、JR市内駅乗車数（1日当たり）は順調に増加している。バスについては、サイクル&バスライド駐輪場の整備、バスロケーションシステム等の案内情報の充実等による利用環境の改善に取り組んでいる。また、公共交通マップの配布、マイカー利用自粛の呼びかけ、小学生を対象としたバス教室などのソフト施策について継続的に取り組んでいる。さらに、吉備線LRT化や路面電車の岡山駅前広場への乗り入れといった計画についての検討を行っており、引き続き公共交通利用環境改善に向けた取組を進めていく。（都市整備局）

施策② 地域における生活交通の確保

・地域における生活交通を確保するため、既存の生活交通については、地元検討組織と一緒に運行計画改善を図るとともに、新たな生活交通の導入に向けては、地元検討組織と一緒に導入検討や試験運行を実施す

るなど、着実に取組を進めている。(都市整備局)

施策③ 自転車先進都市の推進

・平成 24 年度に策定した「自転車先進都市おかやま実行戦略」に基づき、自転車走行空間整備、駐輪場整備、ももちやりの運用、自転車ルールやマナーの啓発、サイクリングロード整備等に取り組んだ。平成 29 年度は、引き続き事業を進捗させるとともに、計画の中間評価を行い、施策メニューの実施状況や数値目標の達成状況を確認し、今後に向け、目標や実施期間の見直しを行う。(都市整備局)

施策④ 道路ネットワークの充実・強化

・広域交通網の整備をはじめ、外環状道路、中環状道路、生活道路の整備は概ね順調に進んでおり、今後も主要渋滞箇所の解消に向けて各道路の整備を着実に進めていく。(都市整備局)

主な事務事業

施策① 公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
新たな総合交通 計画策定 (都市整備局交 通政策課)	・公共交通を中心とした利便性の高い交通ネットワークの構築を目指して、その具体の将来像を定め、実現化のための方策を示す岡山市総合交通計画(仮称)を策定	・学識や住民など関係者からなる「総合交通計画策定調査検討会」を 2 回開催。将来を見据えた課題整理と、本計画のコンセプトと目標を決定。		・平成 29 年度の計画策定に向けて、引き続き検討会及び作業部会を開催し検討を進める。
		進捗状況	順調	
鉄道の利用環境 改善 (都市整備局交 通政策課)	・吉備線 L R T 化の検討や駅前広場等の交通結節点強化による鉄道利用環境の改善	・平成 28 年 5 月に吉備線 L R T 化に関する 3 者会議(両市長、J R 西日本岡山支社長)を開催。役割分担、費用負担について、平成 29 年度中にも一定の目途を立てることで合意。		・役割分担、費用負担について、平成 29 年度中に一定の目途を立てる。 ・岡山市、総社市、J R 西日本 3 者において、地元への説明や議会等からの意見を広く伺いながら、基本計画を作成する。
		進捗状況	概ね順調	

まちなかの魅力 や賑わいをつな ぐ公共交通の利 便性向上 [再掲] (都市整備局交 通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 路面電車の岡山駅前広場への乗り入れに向けた取組の推進 バスロケーションシステム等の案内情報の充実等 	<ul style="list-style-type: none"> 路面電車の乗り入れに伴う岡山駅前広場のあり方について、公開会議を2回開催し、関係者等の意見を聴取 市内バス事業者の7社のうち4社が、バスロケーションシステムを導入 バスロケーションシステムの導入に併せて岡山駅デジタルサイネージの表示内容を改良に向けた検討実施 	<ul style="list-style-type: none"> 乗り入れに伴う駅前広場のレイアウト案について、関係者等と協議しながら修正案を作成し、一定の整理ができた時点で次回の公開会議を開催。 バスロケーションシステムを導入していない事業者に対し、導入を働きかけていく。
	進捗状況	概ね順調	
バスの利用環境 改善 (都市整備局交 通政策課、道路 計画課)	<ul style="list-style-type: none"> パーク&バスライド駐車場やサイクル&バスライド駐輪場の整備、バス路線の渋滞解消のための道路整備、バスロケーションシステム等の案内情報の充実等によるバス利用環境の改善 国・県とともに広域的バス路線の運行経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> サイクル&バスライド駐輪場を1か所整備（三幡農協前駐輪場） 市内バス事業者の7社のうち4社が、バスロケーションシステムを導入 バスロケーションシステムの導入に併せて岡山駅デジタルサイネージの表示内容の改良について検討（平成29年4月10日から改良した内容の表示を開始） 低床バスの導入の補助（2台分） 広域的バス路線の運行経費の一部を助成 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きサイクル&バスライド駐輪場の整備等に取り組む。 バスロケーションシステムを導入していない事業者に対し、導入を働きかけていく。 引き続き低床バスの導入の補助に取り組む。 広域的バス路線の運行経費について必要に応じて助成する。
	進捗状況	概ね順調	
モビリティマネ ジメント (都市整備局交 通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通マップの配布、マイカー利用自粛の呼びかけ、小学生を対象としたバス教室などの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 転入者を対象に公共交通マップ約2万部を配布 マイカー利用自粛の取組として、国、県と連携して「スマート通勤」への参加を呼びかけ バス専用レーン遵守を呼びかけるチラシを約1千枚配布 小学生を対象としたバス教室を市内9つの小学校で実施 大学生と外国人を対象に公共交通によるまちなかのスタンプラリーを実施し、公共交通に対する要望を聴取 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、習慣化した車利用から公共交通への転換を図るための市民参加型のソフト施策に取り組む。
	進捗状況	順調	

超小型モビリティの導入可能性検討 (都市整備局自転車先進都市推進室)	<ul style="list-style-type: none"> 産官学の連携による新たな移動手段である超小型モビリティの都市交通への活用可能性に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> 活用可能性実証実験を実施 中心部でのシェアリング 期間：10/24～12/22 利用状況：平日・休日とも7～9回弱/日の利用（利用回転数約1.2回/台・日） 企業モニター活用 5社でモニター利用を実施（10月～11月） 実験を通し、移動手段の一つとしての可能性があることが確認でき、環境負荷の低減、交通課題の解決（渋滞緩和、駐車場面積の削減）、回遊性向上への可能性があることが伺えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験結果を受け、平成29年度実証実験を引き続き行い、今後の方向性について検討を行う。

施策② 地域における生活交通の確保			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
生活交通の維持・改善 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの運行経費の一部助成や利用促進に資する運行サービスの改善 	<ul style="list-style-type: none"> 御津・建部コミュニティバスの運行改善を目的として、平成29年4月1日からの経路とダイヤを一部改正 足守生活バスの運行改善を目的として、住民アンケートを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、住民・事業者・市が一緒になって、利用促進と運行改善に取り組む。
新たな生活交通の確保 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民及び交通事業者との連携による、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> 迫川地区でデマンド型乗合タクシーの試験運行を開始 千種学区、牧山地区、馬屋上・野谷学区において地域住民が検討組織を組織し、試験運行開始に向けた検討を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 生活交通確保に主体的に取り組む意向のある地域とともに、検討を進める。

施策③ 自転車先進都市の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
自転車走行空間の整備 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用ニーズや道路状況に応じた、安全で快適な自転車走行空間の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・桃太郎大通りにおける自転車走行空間整備 (L=123m) ・中心部と郊外部を接続するアクセス路線の選定 ・路上駐車施設設置区間における整備検討および地元への説明 		<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り有利な財源を活用することを前提に事業に取り組んでいることから、今後も財源配分について総合的に判断し、事業量を調整する必要がある。 ・整備率を向上させ、ネットワーク化を進める。 ・郊外部への整備展開について、自転車先進都市おかもやま実行戦略の中間評価において検討する。
		進捗状況	やや遅れ	
駐輪場の整備 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用ニーズに応じた駐輪施設の整備及び放置禁止区域の指定・拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅元町北自転車駐輪場整備 (H29.2 供用 799 台分) ・田町一丁目自転車等駐輪場整備 (H28.11 供用 53 台分) ・民間自転車等駐輪場整備補助制度の創設 (制度活用による整備件数 1 件) ・大多羅駐輪場へのバイクスペース増設 (12 台分) ・駐輪場マップの作成 		<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪容量が不足している表町周辺への駐輪場整備を進める。
		進捗状況	概ね順調	
コミュニティサイクル「ももちゃり」の利用促進 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティサイクル「ももちゃり」の利用促進と継続性確保のための施設配置や運用に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続運用 (H28 平均利用回転数: 3.99 回/日台) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ももちゃり導入後の事業評価を通し、現在の運営課題への対策も含め、持続可能な事業となる運営内容を検討する。
		進捗状況	概ね順調	

自転車ルール・マナー向上 (市民生活局生活安全課、都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室の開催や街頭啓発活動の実施などによる自転車通行ルールや利用マナーの周知及び放置自転車の解消に向けた指導・啓発の実施 	【生活安全課】 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 72 校で自転車安全指導を実施し、計 15,020 枚の自転車安全運転免許証を交付 交通安全教室を計 887 回実施 春と秋の交通安全市民運動において街頭啓発活動を実施 【交通政策課】 <ul style="list-style-type: none"> 自転車ルールマナー啓発イベント (H28.9 月開催) 自転車ルールマナー啓発ラジオ CM 作製・放送 (H28.5 月、9 月放送) 放置自転車防止のための街頭啓発指導 (通年実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車ルールマナーの定着、放置自転車の解消に向け、今後も粘り強く継続していく必要がある。
		進捗状況 順調	
サイクリングロードの充実 (産業観光局、都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 観光振興も念頭に、関係機関と連携した、吉備路自転車道や吉備高原自転車道等におけるサイクリングに適した案内板や路面標示等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 吉備路自転車道・吉備高原自転車道における路面補修や転落防止柵修繕 (5 箇所 L=計 1,082m) 	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り有利な財源を活用することを前提に事業に取り組んでいることから、今後も財源配分について総合的に判断し、事業量を調整する必要がある。 岡山県等と連携の上、サイクリングロードの利用促進策を検討する必要あり。(マップ作成等)
		進捗状況 やや遅れ	

施策④ 道路ネットワークの充実・強化			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
広域交通網の整備 (都市整備局道路計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 主要渋滞箇所の渋滞解消、広域交流の強化、高速道路へのアクセス強化を目的とした美作岡山道路(瀬戸 JCT～熊山 IC)の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 美作岡山道路(瀬戸 JCT～熊山 IC)道路改良工事 瀬戸トンネル電気設備工事等 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も多額の事業費が必要となることから、財源の確保が課題である。
		進捗状況 概ね順調	

外環状道路の整備 (岡山環状道路) (都市整備局道路計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地に流入する交通の適切な分散・誘導による渋滞緩和や安全な通行の確保を目的とした、市道藤田浦安南町線、主要地方道岡山赤穂線、市道江並升田線の整備 	【主要地方道岡山赤穂線】 <ul style="list-style-type: none"> 道路予備設計、地質調査業務、用地補償、J R 工事委託等 【市道藤田浦安南町線】 <ul style="list-style-type: none"> 橋梁下部工等の道路改良工事 【市道江並升田線】 <ul style="list-style-type: none"> 測量業務、地質調査業務、用地補償等 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も多額の事業費が必要となることから、財源の確保が課題である。
	進捗状況	概ね順調	
中環状道路の整備 (都市整備局道路計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 都心に集中する交通の分散・誘導を目的とした、都市計画道路下中野平井線の整備 国道 53 号方面からの交通の分散・誘導を目的とした、都市計画道路米倉津島線の整備 	【都市計画道路下中野平井線】 <ul style="list-style-type: none"> 道路改良工事、地質調査業務、用地補償等 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も多額の事業費が必要となることから、財源の確保が課題である。
	進捗状況	概ね順調	
生活道路の整備 (都市整備局道路計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 踏切内の歩道設置や交通安全施設の整備等による生活道路の安全確保 狭小幅員の道路の改良による緊急車両通行困難地域の解消等 	【市道泉田 1 号線ほか 129 路線】 <ul style="list-style-type: none"> 道路改良工事、用地補償等 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も多額の事業費が必要となることから、財源の確保が課題である。
	進捗状況	概ね順調	

政策7 魅力ある景観と快適な住環境づくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
美しい都市景観の形成に対する満足度（％）	26.7	-	28 (H31)	-	都市整備局
公園・緑地の整備や緑化の推進に対する満足度（％）	40.8	-	44 (H31)	-	都市整備局
住宅や住環境の整備に対する満足度（％）	18.4	-	20 (H31)	-	都市整備局

総括

総合評価

施策① 美しく風格ある都市景観の形成

- ・都市景観形成事業については、市役所筋等で屋外広告物モデル地区の指定を行うなど、順調に進捗しており、今後も引き続き、屋外広告モデル地区及び景観形成重点地区を拡充していき、魅力ある景観づくりを進めていく。（都市整備局）

施策② 水と緑あふれる憩いの空間づくり

- ・水と緑あふれる憩いの空間づくりのうち、緑のボリュームアップ事業及び、平成28年から取り組んでいる「公園施設の長寿命化計画書」の策定のための調査・判定作業は概ね順調に進捗しており、平成30年には、公園施設の長寿命化計画を策定予定である。（都市整備局）

施策③ 快適で暮らしやすい住環境づくり

- ・平成29年3月に住生活基本計画を策定し、今後10年間の住宅行政の指針を示した。今後、社会情勢の変化に伴い、住まいのあり方の方向性や住宅施策の体系の見直し等が必要となれば、適宜見直しを行っていく。また、老朽化した市営住宅の計画的な建替えや、高齢者向け住宅の供給促進等を引き続き行い、住環境の整備に努めていく。空き家対策についても概ね順調に事業を進めており、引き続き、住宅及び住環境の整備に対する満足度を高めていく。（都市整備局）
- ・東山斎場再整備事業については、平成29年度から斎場本体の工事に着手し、平成31年度の供用開始に向けて工事は順調に進んでいる。また、市北西部で計画している新斎場整備事業については、平成29年2月に「新

齋場整備事業基本構想」を策定し、都市計画の手続きを進めている。馬屋上学区内で理解が得られていない住民の方々がいることから、丁寧な説明を行っている。引き続き、これらの取組により、快適で暮らしやすい住環境づくりを進めていく。(市民生活局)

主な事務事業

施策① 美しく風格ある都市景観の形成

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
都市景観形成事業 (都市整備局都市計画課)	・景観計画による景観形成重点地区と連動した屋外広告物モデル地区の拡充	・市役所筋、西川緑道公園筋・枝川筋、及び県庁通りの3路線について、屋外広告物モデル地区を指定	・屋外広告物モデル地区及び景観形成重点地区を拡充する。
		進捗状況	

施策② 水と緑あふれる憩いの空間づくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
緑のボリュームアップ事業 (都市整備局庭園都市推進課)	・公共空間における植樹 (H21年度からの10年間で6万本) ・岡山駅前広場や道路、公園等の重点的な個所での植樹や植栽管理 ・公共施設における緑のカーテン設置の推進	・大規模緑のカーテン1施設 (旭西排水センター) ・緑のカーテン栽培キット46セット ・植樹3,333本 (総計45,336本)	・西部総合公園 (仮称) 整備の遅れが影響している。
		進捗状況	
岡山西部総合公園 (仮称) 整備事業 [再掲] (都市整備局庭園都市推進課)	・多目的広場、芝生広場、見晴らしの丘等の配置による健康増進及び賑わい創出に資する緑あふれる総合公園としての整備 ・防災公園 (広域避難場所、地域防災拠点) としての機能の整備	・用地購入 A=1.0ha ・多目的広場基盤整備 A=1.3ha ・耐震性受水槽 N=1基 ・高圧受電設備 N=1式	・既存施設を供用しながらの整備であるため、イベント等との利用調整が必要であり、事業進捗に影響がある。 ・隣接する民間導入施設と、境界部分の施工時期や意匠等の調整を行う必要がある。
		進捗状況	

公園施設の長寿命化 (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館や管理棟など大型施設を有する総合公園等の健全度調査の実施 ・ 維持補修費用の平準化を目的とした、全ての都市公園を対象とする公園施設長寿命化計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園施設予備調査の実施 ・ 健全度調査の一部実施 ・ 長寿命化計画の対象となる都市公園全 463 公園の内、調査未実施であった 136 公園について、施設の利用状況、劣化や損傷の状態を把握するため現地での調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年度に長寿命化計画を策定する。
		進捗状況	
西川魅力にぎわい創出事業 [再掲] (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西川パフォーマー認定事業者等との協働による西川緑道公園の特色をいかした定期的なイベントの開催 ・ 西川緑道公園筋（平和橋～桶屋橋）の歩行者天国の定期開催による、西川界隈での継続的で質の良い賑わいづくり ・ パークマネジメントの取組による西川緑道公園の魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西川パフォーマー事業者と市が協働して、定期的に西川緑道公園でイベントを実施 【西川パフォーマー事業】 ・ 認定事業（パフォーマー主体）＝40 回実施 ・ 活用事業（市主体）＝4 回(9 日)実施 【西川緑道公園筋歩行者天国社会実験】 ・ 土・日のうち計 4 日間実施 ・ 歩行者通行量はイオン開業前（239 人）の 9.3 倍（2,213 人）～13.2 倍（3,166 人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西川緑道公園筋歩行者天国に関しては、民間主体の実行委員会による安定した運営と、定期開催の定着化を図る。 ・ 各事業の開催により、さらなる西川緑道公園界隈の魅力発信を行う。
		進捗状況	
旭川かわまちづくり事業 [再掲] (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに向けた、国との連携による旭川さくらみちの整備や鳥城公園（石山公園地区）の再整備等 ・ 市民、事業者、NPO、大学等との協働による、まちなかの公園の特性をいかした利活用やルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭川さくらみち歩行空間整備工事（浜樋門から下流約 460m 区間） ・ 旭川さくらみち桜並木の剪定作業 ・ 第 2 回ミズベリング岡山旭川の開催（10/16） ・ 鳥城公園（石山公園地区）改修実施設計業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント実施時の利便性向上に向け、石山公園の再整備を進める。 ・ 市民や観光客が憩い、賑わいの拠点にもなるカフェの公募を実施する。
		進捗状況	

施策③ 快適で暮らしやすい住環境づくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
岡山市住生活基本計画の策定 (都市整備局住宅課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の現状や岡山市第六次総合計画、全国計画の見直し内容等を踏まえた、新たな「岡山市住生活基本計画」の策定（平成 28 年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 29 年 3 月に策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅施策の体系の見直し等が必要になった場合は、計画期間中においても適宜見直しを行う。
		進捗状況	

高齢者向け地域 優良賃貸住宅 (サービス付き) の整備 (都市整備局住 宅課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地等の生活利便性の高い場所への高齢者向け地域優良賃貸住宅(サービス付き)の供給誘導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1事業者の応募があったが、事業計画の変更により申請取下げ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来的には、中心市街地だけではなく、今後策定予定の立地適正化計画のエリア内でも、高齢者向け住宅施策の一つとして実施していく。
		進捗状況	
岡山操車場跡地 整備事業(市営 住宅・社会福祉 施設導入区域) (北長瀬みずほ 住座の再生)[一 部再掲] (都市整備局住 宅課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化の著しい「北長瀬みずほ住座」の岡山操車場跡地整備基本計画に基づく、市営住宅・社会福祉施設導入区域内での建て替え(平成28年度に事業者募集) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用地の買い戻しの完了 ・ PFI事業として事業者の公募(総合評価一般競争入札) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、落札者決定後、議会の承認をへて契約を行い、平成32年度末の完成を目指す。
		進捗状況	
空き家対策 (都市整備局建 築指導課・空家 対策推進室)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法及び条例に基づく措置と密接に連携した助成制度を軸とした空き家等の適正管理の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家の現地調査を420件実施し、69件を特定空家と認定。除却助成と自主撤去を含めて294件の空き家を除却。 ・ 一般分のリフォーム助成を11件実施 ・ 空き家情報バンクへ12件を登録し、5件が賃貸・売買成立 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複雑な相続に伴う空き家所有者の特定等、業務効率改善のための専門家との連携を進める。 ・ 特定空家等について、「助言・指導」後に改善が見られない空き家所有者に対し、条例に基づき対応する。
		進捗状況	

東山斎場再整備事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 築後 40 有余年を経過し老朽化が進む東山斎場の建て替え整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の待合棟等の解体工事を行うとともに、建築許可などの許認可の手続きを実施 ・ 一定時間帯への火葬申込みの集中緩和を図るため、平成 28 年 12 月から「火葬炉利用状況閲覧サービス」の運用を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 29 年度からは火葬棟の建築工事を進めていることから、利用者の安全確保と円滑な斎場運営を行う必要がある。 ・ また、東山斎場の再整備完了後の斎場運営に必要なとなる人員体制や運営体制について検討する必要がある。
新斎場整備事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火葬需要ピークの必要炉数予測による、将来的な火葬炉不足及び災害時等のリスク分散を考慮した新斎場の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 28 年 5 月～6 月にかけて、馬屋上学区的全戸訪問を実施し、新斎場の必要性や候補地の安全性について説明 ・ 平成 28 年 7 月には地元で「新斎場整備事業推進協議会」が設立され、平成 28 年度は 9 回の協議を実施 ・ 平成 29 年 1 月には地元住民と明石市及び太子町の先進斎場視察研修を実施 ・ 同協議会と協議を行い、平成 29 年 2 月に「新斎場整備事業基本構想」を策定し、馬屋上学区説明会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斎場整備に理解が得られていない住民の方々へ引き続き丁寧かつ真摯に説明を行うとともに、関連部局と連携し地元要望に対して真摯な対応を行っていく必要がある。
市営墓地維持管理事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市営墓地の適正な維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓地内樹木の伐倒 57 か所 ・ 墓地内修繕の実施 27 か所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の埋葬のあり方を考えるにあたり、市民ニーズの把握方法や市営墓地のあり方を検討する必要がある。

政策8 歴史・文化による新たな魅力の創出と発信

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
歴史・文化ゾーン来訪者数（万人）	316	322	336	↗	政策局
岡山城、岡山後楽園を中心に来訪者が伸びており、目標値に向かって増加している。					
文化財施設・講演会等への来訪者数（人）	46,815	46,992	47,300	↗	教育委員会
発掘調査に関する現地説明会及び定期講座の開催、岡山城月見櫓等の公開を継続して行っており、目標値に向かって増加している。					

総括

総合評価

施策① 歴史・文化資産をいかしたまちの魅力の創造と発信

- ・岡山城周辺の歴史・文化ゾーンの魅力づくりとして、岡山城や周辺美術館など複数の会場で現代アート展「岡山芸術交流2016」を開催し、同ゾーンの新たな魅力を創出するとともに、「おかやま国際音楽祭」等の複数の事業と連携することで、多くの来場者が街中を回遊して楽しむ機会となっており、街の魅力向上や発信に向けた取組として順調に進んでいる。（市民生活局）
- ・旧内山下小学校跡地、石山公園を主な会場に、実験的な賑わい創出事業（ハイコーチャレンジ!!）や食に関するイベントを提案公募により実施し、一定の効果をj得ているところであり、引き続き議論していく。（政策局）

施策② 歴史・文化資産の活用と継承

- ・文化財施設・講演会等への来訪者数が順調に増えており、市民の歴史や文化財への興味・関心や郷土の歴史的価値への認識が深まっている。（教育委員会）
- ・歴史案内看板「岡山歴史のまちしるべ」を中心市街地に設置するとともに、地域の団体からの企画提案の仕組みをつくり、提案募集を開始したところであり、地域住民による地域固有の歴史・伝統・文化の保存・活用等の取組を進める。（政策局）

主な事務事業

施策① 歴史・文化資産をいかしたまちの魅力の創造と発信

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)		今後の課題・方向性
岡山芸術交流の開催 (市民生活局文化振興課)	・岡山城周辺の歴史文化ゾーンを主会場とした「岡山芸術交流 2016」の開催、実施結果の検証を踏まえた次回開催をめざした検討	・「開発／Development」をテーマに、旧後楽館天神校舎跡地、岡山県天神山文化プラザ、岡山市立オリエンタ美術館、林原美術館、岡山城、岡山県庁前広場等で国際的な現代アート展「岡山芸術交流 2016」を開催 来場者：延べ 234,136 人		・作品が難解という声もあり、気軽に親しむためのプログラムや鑑賞ガイド等を充実させるとともに、運営をサポートするボランティアスタッフなど市民参加を促す取組を拡大させていく。
		進捗状況	順調	
都心創生まちづくり事業 (政策局事業政策課)	・旧内山下小学校や市民会館等の跡地活用の検討等	・旧内山下小学校及び石山公園を活用した賑わい創出事業の実施 ・旧内山下小学校校庭・体育館を活用したイベント 7 種 11 回、約 2,300 人 ・校舎を活用した創作活動 7 種 217 人 ・校舎を活用したテイクアウトカフェ 約 1,000 人 ・石山公園での食に関するイベント 3 種 4 回、約 42,600 人		・実験的な事業と並行して、検討体制や進め方について庁内関係部局で横断的な議論を進める。
		進捗状況	順調	
観光資源の魅力アップ事業（岡山城と岡山後楽園のタイアップ）[一部再掲] (産業観光局観光コンベンション推進課)	・岡山城と岡山後楽園のさらなる魅力向上に向けた、烏城灯源郷と幻想庭園の連携をはじめとする各種連携イベントの開催や情報発信	・烏城灯源郷と幻想庭園における実施期間の統一や動線の強化、広報媒体の統一化による一体的な運営に加え、両施設の一体的な情報発信・PR など、岡山後楽園との連携による事業の広報・実施 岡山城入場者数 350,194 人 (対前年度(292,260 人)19.8%の増) うち外国人 44,594 人 (対前年度(28,402 人)57.0%の増)		・歴史文化ゾーンの賑わいのため、各観光施設間の連携を図り、来訪者・魅力度のさらなる増加を目指す。
		進捗状況	概ね順調	

オリエント美術館と県立美術館等との共同事業 [再掲] (教育委員会オリエント美術館)	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する県立美術館等との共同による情報発信、特別展の企画や学習プログラムの開発等 	<ul style="list-style-type: none"> チケット（半券）提示による相互入館料割引～2館で約120人/月 特別展開催記念ライブコンサートを県立美術館で開催 岡山大学、地元小学校と連携した両館学習プログラムを実施～小3 3クラス100人参加 美術館案内看板（4か国語）設置 	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する県立美術館だけでなく、エリア内の他施設とも特別展等の開催で連携していく。また、美術館学習プログラムの開発等で地元大学、教育現場との連携を図る。
	進捗状況	概ね順調	
観光施設の活用事業（岡山城の魅力アップ）[一部再掲] (産業観光局観光コンベンション推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山城天守閣の在り方をハード、ソフト両面から検討するための調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 岡山城天守閣等のあり方検討調査業務イベント時来場者への直接聞き取り・市民、観光客等へのアンケート調査実施 イベント6日 計579人 アンケート 計905人を集計 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート等あり 方検討調査の結果を踏まえ、再建50周年を経過した岡山城が、岡山のシンボルとしてどうあるべきか、またどのような活用を試みていくかを検討し、必要な見直しを具現化していく。
	進捗状況	概ね順調	
文化芸術に親しむ事業（おかやま国際音楽祭）[一部再掲] (市民生活局文化振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 多彩な音楽文化に触れることのできる「おかやま国際音楽祭」の開催 	【おかやま国際音楽祭 2016】 <ul style="list-style-type: none"> 吉備津彦神社や西大寺観音院、石山公園や表町商店街など屋外での演奏で、音楽を気軽に楽しむ機会を提供 鑑賞者数 54,877人 	<ul style="list-style-type: none"> 同時期に開催される事業と連携を図りながら、各地域の資源を活かした音楽事業を、引き続き実施する。
	進捗状況	順調	

施策② 歴史・文化資産の活用と継承

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
史跡造山古墳群保存整備事業 (教育委員会文化財課)	<ul style="list-style-type: none"> 造山古墳（全国第4位の規模で、実際に登れる古墳としては全国第1位の規模）を中心とした造山古墳群を保護・保存し活用するための整備 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡千足古墳の保存整備工事 史跡造山古墳の崖面部分の整備工事 岡山シティーミュージアムで造山古墳群の活用のための特別展を開催 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き国庫補助金の交付を受け、整備を促進する。
		進捗状況	

史跡岡山城跡の保存整備事業 (教育委員会文化財課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山城跡について、城郭としての歴史的環境の整備、破損箇所等の保存修理による岡山城跡本来の景観の復元と活用 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡岡山城本丸下段のテニスコート跡地への遺構表示 下段の発掘調査 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き国庫補助金の交付を受け、整備を促進する。
		進捗状況	
史跡公有化の推進 (教育委員会文化財課)	<ul style="list-style-type: none"> 造山古墳群、大廻小廻山城跡、彦崎貝塚、万富東大寺瓦窯跡などの史跡の長期的な保護・保存を目的とした公有化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡大廻小廻山城跡 (2,902 m²)、史跡彦崎貝塚 (399 m²)、史跡造山古墳 (1,078 m²) の公有化。史跡大廻小廻山城跡の公有化率は 24.3%、史跡彦崎貝塚は 98.9%。史跡造山古墳については開発予定地について公有化 金蔵山古墳と造山古墳の範囲確認調査 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き国庫補助金の交付を受け、整備を促進する。
		進捗状況	
文化財及び埋蔵文化財の発掘調査成果の活用 (教育委員会文化財課)	<ul style="list-style-type: none"> 発掘調査の成果や所管する文化財の公開、文化財に関する講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 発掘調査現地説明会を開催して調査現場を公開 埋蔵文化財センターでは、年間を通して毎月の定期講座(7月・8月の夏休み対応月は、子ども対象講座として、勾玉や鏡の製作体験)を開催 市役所1階市民ホールでは、前年度の調査成果を展示する発掘調査速報展を開催 通常は非公開の岡山城跡月見櫓を文化の日に合わせて公開 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを活用して、より詳細な情報発信に努めていくとともに、市民ニーズを取り入れた講座や企画展を開催していく。
		進捗状況	
「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業 (政策局事業政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史・文化の由来等を顕す統一したデザインの案内看板「岡山歴史のまちしるべ」の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地に 20 基設置 看板設置の企画提案募集を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 企画提案による看板設置を進める。
		進捗状況	

観光資源の魅力 アップ事業（歴 史・伝統・文化 の活用、継承） [一部再掲] （産業観光局観 光コンベンショ ン推進課）	<ul style="list-style-type: none"> ・「備前池田家」や「古代吉備の国」等、岡山連携中枢都市圏における共通テーマに基づいた歴史・文化資源の収集及びストーリー化、情報発信、広域周遊ルートの創出等による地域への愛着と誇りの高揚、観光資源としての魅力向上 ・地域文化の創造を目的とした郷土に根付いた芸能の振興と民謡の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山連携中枢都市圏域内の広域周遊観光の促進のため、作家「あさのあつこ」監修によるストーリーの作成 備前池田家 3話 古代吉備の国 3話 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度に創出した各市町が持つ歴史・文化資源等のストーリーを掲載するとともに、そのストーリーを追体験し、ゆかりの地や歴史・文化資源を実際に訪ねる動機づけとなるようなストーリーブックを製作する ・新聞・雑誌の活用やストーリーゆかりの地でのイベントなどにより、ストーリーを情報発信していく。

政策9 暮らしに息づく文化芸術の振興

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
過去1年間に文化芸術を体験（参加・鑑賞）した人の割合（％）	45.2	-	60 (H31)	-	市民生活局
文化活動の振興に対する満足度（％）	19.1	-	25 (H31)	-	市民生活局

総括

総合評価

施策① 文化芸術施設を核にした文化芸術の振興

- ・文化芸術施設の特徴を生かした文化振興を図るための事業は概ね順調に推移している。今後、岡山シンフォニーホールを拠点とする岡山フィルハーモニック管弦楽団については、楽団体制を強化することで演奏会の魅力向上を引き続き図っていくとともに、新しい文化芸術施設については、まちの賑わいと文化芸術の拠点となるような整備に向けて、「魅せる」「集う」「つくる」をコンセプトに引き続き整備を進めていく。（市民生活局）
- ・オリエント美術館が県立美術館と連携することにより、入館者数の増加という一定の効果があった。今後、エリア内の他施設とも連携していく必要がある。（教育委員会）

施策② 市民の文化芸術活動の推進

- ・「おかやま国際音楽祭 2016」や「第54回岡山市芸術祭」等の文化事業や子どもたちへの鑑賞・体験の充実を図る事業を順調に実施しているが、これら事業の継続とともに、さらに誰もが文化芸術に親しみ、楽しめる事業や取組を検討することで、市民の文化芸術活動を推進していく。（市民生活局）

主な事務事業

施策① 文化芸術施設を核にした文化芸術の振興

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
新しい文化芸術施設の整備 (市民生活局文化振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の文化芸術の鑑賞や活動の拠点である岡山市民会館・市民文化ホールに替わる新しい文化芸術施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 「新しい文化芸術施設の整備に関する基本計画」を策定 整備についての各関係機関との協議 	<ul style="list-style-type: none"> 平成33年度末完成に向けて整備を進める。 まちの賑わいの拠点施設としての管理運営や事業などを市民とともに考えていく。
		進捗状況	
岡山フィルハーモニック管弦楽団の活動支援 (市民生活局文化振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 県内唯一のプロオーケストラである岡山フィルハーモニック管弦楽団の運営支援を通じた、プロの演奏に触れる機会の増加や都市の魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 定期演奏会年3回を含む、年間延102公演を開催 鑑賞者数41,475人 市内小中学生に、岡山シンフォニーホールでの鑑賞機会を提供する「小中学校音楽鑑賞教室」などの事業を継続して開催 	<ul style="list-style-type: none"> プロの管弦楽団として発信力のあがる魅力の向上を図る。 市民に親しまれる楽団として鑑賞者増を目指していく。
		進捗状況	
岡山シティミュージアムの運営 (市民生活局岡山シティミュージアム)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の営みやまちの誇りを次世代へ伝える文化の醸成や教育の場としての、岡山の歴史と文化をテーマとした常設展や特別展の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 常設展内小企画(5回)、特別展・企画展(6回)、ミュージアム講座(8回)の開催 学校利用(校外学習)の実施(846人) 館内外の案内表示の設置・更新(約20か所) 常設展の英語解説表記の充実 年間入場者数138,500人 	<ul style="list-style-type: none"> 常設展入場者数のここ数年の低迷と、前年に比べ企画展持ち込み数が少なかったことなどによる特別展入場者数の減少により、年間入場者数が前年より減少している。今後、案内看板や外国語解説表記の充実、公衆無線LANの設置等の環境整備を進めるとともに、学校との連携を強化し常設展の積極的なPRに取り組む。
		進捗状況	

オリент美術館と県立美術館等との共同事業 (教育委員会オリент美術館)	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する県立美術館等との共同による情報発信、特別展の企画や学習プログラムの開発等 	<ul style="list-style-type: none"> チケット（半券）提示による相互入館料割引 2館で約120人/月 特別展開催記念ライブコンサートを県立美術館で開催 岡山大学、地元小学校と連携した両館学習プログラムを実施～小3 3クラス 100人参加 美術館案内看板（4か国語）設置 	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する県立美術館だけでなく、エリア内の他施設とも特別展等の開催で連携していく。また、美術館学習プログラムの開発等で地元大学、教育現場との連携を図る。
	進捗状況	概ね順調	

施策② 市民の文化芸術活動の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
文化芸術に親しむ事業 (市民生活局文化振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 多彩な音楽文化に触れることのできる「おかやま国際音楽祭」の開催 地域の文化活動団体の表現の場である「岡山市芸術祭」の開催 岡山市出身の坪田譲治を顕彰する「坪田譲治文学賞」と市民の創作活動を奨励する「市民の童話賞」の実施 文化芸術団体や地域等と連携した文化事業の企画・実施等を推進する「文化振興推進プロジェクト」事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各文化事業を実施し、気軽に文化芸術を楽しむ参加する機会を提供 おかやま国際音楽祭2016を開催 鑑賞者数 54,877人 第54回岡山市芸術祭を開催 鑑賞者数 50,458人 岡山市文学賞の実施 市民の童話賞応募者数 446人 岡山市文化芸術振興ビジョン改訂版の策定と、その推進のための文化振興推進プロジェクトの取組準備 	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術を活かしたまちづくりを進めるとともに、誰もが文化芸術を楽しむ、参加するための事業をNPO団体や文化芸術団体等と市民協働で推進していく。
		進捗状況	
子どもたちへの文化体験機会の提供 (市民生活局文化振興課)	<ul style="list-style-type: none"> アーティストが学校で子どもたちに授業を行うなど、子どもたちに文化体験の機会を提供する「チルドレン・ミーティング・アート・プログラム」事業等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【「チルドレン・ミーティング・アート・プログラム」】 学校アウトリーチ(ダンス・マイム)の実施 実施小中学校6校 延べ508人 文化芸術体験教室・地域資源活用事業の実施 参加者 3事業 延べ94人 【岡山フィルハーモニック管弦楽団「青少年音楽普及事業」(抜粋)】 小中学校音楽鑑賞教室1,167人 スクールコンサートなど(学校訪問)6校 1,715人 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや若者を対象とした文化事業の充実を図る。 アーティストの学校訪問や学校から文化施設に向いて鑑賞するなど、現物や実演などに触れ・体験する機会を増やしていく。
		進捗状況	

政策 10 地域の活力を育むスポーツの振興

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
成人の週1回以上のスポーツ実施率（％）	34.3	-	47 (H31)	-	市民生活局

総括

総合評価

施策① スポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成

- ・トップチームの支援事業により、フジアーノ岡山のホームゲーム平均入場者数は初めて1万人を超えることができた。また、おかやまマラソン2016については、さまざまな取組により、第1回大会よりも申込者数やボランティアの参加数、沿道応援者数、経済波及効果が伸びた。これらの取組により、今後もスポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成を図っていく。（市民生活局）

施策② 東京オリンピック・パラリンピック等を通じた地域振興と競技力の向上

- ・2020年東京オリンピック等のキャンプについては、平成28年度は3件誘致ができ、ホストタウンについては、ブルガリア共和国を相手国として、国の第三次で登録できた。今後も、岡山市のスポーツ振興、地域の活性化等に繋げていく。（市民生活局）

施策③ ライフステージに応じたスポーツの振興

- ・市民のスポーツ活動の拠点であるスポーツ施設については、老朽化施設の計画的な修繕や、多種目への対応を目的とした改修により、市民のスポーツ利用促進を図った。また、市民のスポーツ活動推進を担う岡山市体育協会は、平成28年度の法人化により組織の強化が図られ、多様化する市民のスポーツニーズに弾力的かつ積極的な対応に努めている。今後も引き続き、施設の適正管理と岡山市体育協会をはじめとするスポーツ関係団体などスポーツ関係者とともに、ライフステージに応じた全ての市民のスポーツ活動を促進していく。（市民生活局）

主な事務事業

施策① スポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
トップチーム支援事業 (市民生活局スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民デーでの各種イベントの開催や選手との交流イベント等への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームゲームのうち、年1ゲームを「市民デー」とし、各種イベントを実施 ・ホームゲーム開催時に岡山シーガルズの選手が着用するユニフォームに岡山市のPRロゴを入れた。 ・大震災の被災者をホームゲームに招待（特別招待枠） 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、トップチームの意見を聞きながら、さらに効果的な支援となるよう市の支援内容等について検討していく。
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">進捗状況</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">順調</td> </tr> </table>	
進捗状況	順調		
おかやまマラソン (市民生活局スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> ・県や関係団体との共同による「おかやまマラソン」の開催 ・各種関連事業の実施による、岡山の魅力発信 	【おかやまマラソン 2016 開催結果】 <ul style="list-style-type: none"> ・マラソン定員 15,000 人、申込者数 23,917 人 ・ファンラン定員 1,000 人、申込者数 3,150 人 ・沿道応援数、EXPO来場者数 294,000 人 ・ボランティア実参加者数 4,436 人 ・経済波及効果額 14.7 億円 	<ul style="list-style-type: none"> ・応募者数等の増加を目指したPRを行っていく。 ・女性参加者を増やす取組を行っていく。 ・制限時間拡大、スタート時間の繰り下げ、種目新設の要望がある。
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">進捗状況</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">順調</td> </tr> </table>	
進捗状況	順調		

施策② 東京オリンピック・パラリンピック等を通じた地域振興と競技力の向上

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
東京オリンピック・パラリンピック等の事前キャンプ誘致及びホストタウン事業の推進 (市民生活局スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年東京オリンピック・パラリンピック等の開催に伴う事前キャンプの誘致 ・ホストタウン交流計画に基づく事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・2020 東京オリンピック・パラリンピック等の事前キャンプ 3件 韓国女子柔道ナショナルチーム フランス柔道ジュニア強化選手 アメリカ女子柔道代表選手 ・H28年12月9日にブルガリア共和国をホストタウン相手国として国に第三次登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前キャンプ誘致については、引き続き、県や県内の競技団体等と連携しながら、誘致活動を進めていく。 ・ホストタウンについては、今後、交流計画に基づいて、ブルガリア共和国を相手国とした事業を展開していく。
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">進捗状況</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">順調</td> </tr> </table>	
進捗状況	順調		

競技スポーツの振興 (市民生活局スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市で開催される全国大会に対する負担金の支出 岡山市を代表して活躍する選手への激励金の支給や顕彰等 	<ul style="list-style-type: none"> 共催負担金支出 山陽女子ロードレース大会 全国ジュニアカヌースラローム大会 全国選抜ジュニアテニス大会 優秀選手激励金支給 150件 人見絹枝スポーツ顕彰表彰 個人：56人 団体：5団体 	<ul style="list-style-type: none"> 共催負担金交付、優秀選手激励金支給、スポーツ顕彰表彰等を通じて、さらなる競技力向上を目指す。
	進捗状況	順調	

施策③ ライフステージに応じたスポーツの振興			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
体育施設整備事業 (市民生活局スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の計画的な整備、修繕の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 安全性の確保及び水はけの改善を図るため、奥市公園野球場及び補助野球場の芝及び土を全面改修 山田グリーンパーク野球場について、硬式野球利用を目指したフェンス改修のための調査設計を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 財政負担の平準化を図りながら、老朽化施設やルール改正等に伴う修繕を行っていくが、国に対しても補助充実に向けた働きかけを行っていく。
		進捗状況	
体育施設管理事業 (市民生活局スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の適切かつ効率的な管理運営 	<ul style="list-style-type: none"> 二日市公園テニスコート修繕、神崎山公園芝修繕及び御津スポーツパークあおぞら広場水はけ修繕 指定管理委託等を通してスポーツ施設の適切な管理運営を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 財政負担の平準化を図りながら、老朽化施設やルール改正等に伴う修繕を行っていくが、国に対しても補助充実に向けた働きかけを行っていく。
		進捗状況	
体育団体等育成事業 (市民生活局スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域のスポーツ統括団体である「一般財団法人岡山市体育協会」の育成・支援 	<ul style="list-style-type: none"> 学区体協（91団体）、競技団体（41団体）及びスポーツ少年団（225団）の育成・支援 市民体育大会、西大寺駅伝競走大会、クロスカントリー大会等スポーツイベントの開催（参加者数 16,666人） 加盟競技団体の競技力向上事業に対する補助金支給（49事業） 	<ul style="list-style-type: none"> 賛助会員の確保などの自主財源確保が課題であり、週1回以上のスポーツ実施率の向上に向けて効果的な事業展開を図る。
		進捗状況	

学校体育施設開放事業 (市民生活局スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の身近なスポーツ拠点である学校体育施設の開放と管理 	<ul style="list-style-type: none"> 学校開放を行っている体育館照明の球換え、運動場夜間照明球換え、運動場整備用真砂土の購入 夜間照明設備設置（福浜小学校） 	<ul style="list-style-type: none"> 市内のほとんどの小中学校の学校開放が進んでいるが、稼働率が高く、新規に利用することが難しい。今後需要に応じた運動場夜間照明設置に努める。
	進捗状況	順調	
障害者スポーツ振興事業 (保健福祉局障害福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> 障害者体育センターの運営や障害者体育祭等の開催 全国障害者スポーツ大会への選手派遣等 	<ul style="list-style-type: none"> 【障害者体育センターの運営】 スポーツ講習会を12種目、延べ20回及び障害者親善スポーツ大会を9種目実施 【障害者体育祭等の開催】 岡山市障害者団体連合会と協力して、体育祭や水泳訓練を実施 【全国障害者スポーツ大会への選手派遣】 個人6競技について、選手18人を派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、障害者体育センターにおいて、講習会、スポーツ大会を実施するとともに、障害者体育祭等の開催、全国障害者スポーツ大会への選手の派遣等により振興を図る。
	進捗状況	概ね順調	

政策 11 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
子育て支援・児童福祉の充実に対する満足度（％）	16.7	-	30 (H31)	-	岡山っ子育て成局
保育所等の待機児童数（人）	729 (H28. 4. 1)	849 (H29. 4. 1)	0 (H33. 4. 1)	↘	岡山っ子育て成局
保育の受け皿は拡大したものの、女性の社会進出による保育ニーズの増加や、新たに保育所等を整備したことに伴う潜在的な保育ニーズの掘り起こし等により基準値よりも悪化した。					
放課後児童クラブ入所希望児童（潜在ニーズを含む見込み）に対する入所できた児童の割合（％）	87.7 (H28. 4. 1)	79.7 (H29. 4. 1)	100 (H33. 4. 1)	↘	岡山っ子育て成局
受入れ児童数は前年度より増加したが、「子ども・子育て支援事業計画」の見直しを行ったところ、入所希望児童数の見込みが当初計画より増加したため、基準値よりも悪化した。					
男性も女性も仕事と家庭を両立できるのがよいと考える市民の割合（％）	82.4	-	85 (H31)	-	市民協働局

総括

総合評価

施策① 仕事と子育ての両立のための基盤整備

・仕事と子育ての両立のための基盤整備は、保育所等の待機児童数について、保育の受け皿は拡大したものの、大幅な保育ニーズの増加により、基準値より悪化する結果となってしまった。今後も引き続き待機児童0人を目標とし、事業を推進していく。「放課後児童クラブ入所希望児童（潜在ニーズを含む見込み）に対する入所できた児童の割合について」は、利用希望者の増加に対応し、積極的に施設整備を行ったが、今後更なるニーズが見込まれるため、引き続き施設整備を行っていく。（岡山っ子育て成局）

施策② 子育てにおけるワーク・ライフ・バランスの推進

・企業を対象としたワーク・ライフ・バランス啓発シンポジウムや管理職向けセミナーは、定員に近い参加があり、男女が共に仕事と生活を両立できる環境づくりに向けた事業は順調である。今後は、地域の中小企業においてワーク・ライフ・バランスのための取組が進んでいくように、企業が取組の具体的な効果を実感できるデータや実践的な先進事例を情報発信するなど、効果的な啓発を一層進める必要がある。（市民協働局）

施策③ 母子の健康づくりへの支援

・妊娠届出時の専門職による相談は、「おかやま産前産後相談ステーション」開設により増加している。また、出産後の乳児家庭全戸訪問事業についても訪問ボランティア等による高い訪問率が維持できている。今後も引き続き、親の孤立化防止と産前・産後の切れ目ない支援ができるよう事業を継続推進していく。(保健福祉局)

施策④ 子育ての負担感や不安感をやわらげる支援

・子育ての負担感や不安感をやわらげる支援は、保護者を一時的に子育てから解放する様々な事業や子育て応援サイトの充実など概ね順調に推移しており、今後も利用の拡大をめざしていく。(岡山っ子育て局)

主な事務事業

施策① 仕事と子育ての両立のための基盤整備

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
私立保育所の施設整備 (岡山っ子育て局こども園推進課)	・私立保育所の新設・増築を実施する事業者に対する施設整備の補助金交付	・平成27年度に認可保育所整備運営事業予定者として決定した4事業者に対し、施設整備に対する補助金を交付・平成29年4月1日に3園が開園、1園が定員増(合計定員339人増)	・待機児童0人を目指し、引き続き事業を推進していく。
		・認可保育所整備運営事業者を公募し、事業予定者として4事業者を決定	
地域型保育事業の整備 (岡山っ子育て局こども園推進課)	・地域型保育事業者(小規模保育事業者、事業所内保育事業者)の公募等の実施 ・賃借物件で小規模保育事業所を開設する事業者に対する賃借料の補助金交付	・平成27年度及び平成28年度に、地域型保育事業運営事業予定者として決定した事業者のうち、対象となる5事業者に対し、賃借料に対する補助金を交付	・待機児童0人を目指し、引き続き事業を推進していく。
		・平成28年4月2日から平成29年4月1日の間に、地域型保育事業所13園が開園(合計定員285人) ・地域型保育事業運営事業者を公募し、事業予定者として14事業者を決定	
		進捗状況	概ね順調
		進捗状況	概ね順調

延長保育・病児保育事業 (岡山っ子育成局保育・幼児教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・認可保育所・認定こども園・地域型保育事業所における、保護者の勤労形態の多様化等に伴う需要に対応した開所時間の延長 ・就労者等の子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合の医療機関等における一時保育 	【延長保育】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度利用実績 5,639 人となっており、前年度比 2 割以上増加 ・補助額：83,651 千円（前年度比 1 割程度増加） 【病児保育】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度は対象児童を小学校 3 年生から小学校 6 年生までに拡充 ・市内 6 施設目を開設 ・平成 28 年度利用実績 5,299 人 ・補助額：70,096 千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの事業も引き続き利用拡大を目指す。
		進捗状況	
最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進 (岡山っ子育成局こども園推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育提供区域ごとに施設を定めた市立幼稚園、市立保育所の幼保一体化による、施設の適正化、民営化等 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年 4 月 1 日に岡南認定こども園が開園 ・平成 28 年度中に建部保育園の認定こども園への移行準備を進め、平成 29 年 4 月 1 日に建部認定こども園として開園 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立幼保連携型認定こども園 30 園の開園に向け、引き続き事業を推進していく。 ・合わせて、その他の園の民営化等を進める。
		進捗状況	
保育士確保支援事業 (岡山っ子育成局保育・幼児教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士資格を持ちながら保育所等で就労していない「潜在保育士」への、保育士・保育所支援センターにおける就職相談やハローワークと連携した就職面接会等による就職促進を通じた保育人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日の登録者数 108 人 ・実習体験研修会の実施 6 回 ・就職面接会の実施 2 回 ・保育士応援セミナーの実施 1 回 ・出張相談の実施 週 2 回（マザーズハローワーク） ・岡山市内の保育園等への就職 72 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の拡充を図り、潜在保育士の登録者数の増加を目指す。
		進捗状況	
放課後児童健全育成事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ施設の計画的な整備、運営体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成児童数 H29.4.1 現在 6,831 人（470 人増） ・施設整備数 8 クラブ（学校施設活用 3 クラブ、プレハブ建設 5 クラブ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備が必要な施設数の増加に伴い、そこに配置する支援員等の確保が課題である。
		進捗状況	

施策② 子育てにおけるワーク・ライフ・バランスの推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
子育てパパ・プレパパ応援事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・パパ (概ね 3 歳までの子どもを持つ男性)・プレパパ (これから子育てをする予定の男性)を対象とした育児・家事参加に関する意識啓発 ・赤ちゃんのもく浴指導や疑似妊婦体験、料理教室、子どもとのふれあい講座など、育児に関する具体的な技術の習得ができる研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんのもく浴実習を行い、父性の確立、育児参加意欲の高揚を目指すとともに、疑似妊婦体験を行い、妊婦の負担への理解を促し、家事参加につなげた。1 回 20 組参加 ・公民館と連携し、父親対象に料理教室と、子どもとのふれあい講座を実施。3 回 36 組参加 ・子どもの成長発達についての研修や、遊び方、ふれあい方についての講座を実施。3 回 49 組参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートや問合せから、赤ちゃんのもく浴実習はニーズも高く、また、開催時期も、妊娠後期で参加できることが求められていることから、開催時期を考慮し、回数を増やす。
		進捗状況	
女性が輝くまちづくり推進事業 (ワーク・ライフ・バランスの推進) [一部再掲] (市民協働女性が輝くまちづくり推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営者や男性管理職等を対象にした講演会やセミナーの開催、経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの重要性の啓発、企業における働き方改革などの先進事例の情報発信等、ワーク・ライフ・バランスや多様な働き方の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業向け女性活躍シンポジウム 1 回開催 325 名 (定員 300 名) ・男性管理職向けセミナー 3 回開催 計 109 名 (定員 132 名) ・企業紹介事業 リーフレット 2,900 部作成 紹介企業数 5 社 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組を促進するよう、効果的な啓発や地域の関係団体との連携が課題である。
		進捗状況	

施策③ 母子の健康づくりへの支援

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
妊産婦相談支援事業 (保健福祉局健康づくり課)	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から産後に特化した助産師等専門職による相談窓口「おかやま産前産後相談ステーション」の設置による妊産婦の相談体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出 995 件 (H28.9～H29.3) 妊娠の届出に合わせ専門職による相談を実施 ・来所者 1,736 件 (H28.9～H29.3) ・受診券交換等 612 件 (H28.9～H29.3) ・来所相談 154 件 (H28.9～H29.3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出数は概ね見込み通りだった。今後も妊娠届出時等に専門職による相談支援の充実が図れるよう周知と関係機関連携を図る。
		進捗状況	

乳児家庭全戸訪問事業 (保健福祉局健康づくり課)	<ul style="list-style-type: none"> ・生後4か月までの乳児のいる家庭への愛育委員(訪問ボランティア)の訪問による、子育てに関する情報提供や不安・悩み相談、支援が必要な家庭を適切な支援につなげるための取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問対象数 6,458人 ・訪問件数 6,309人 ・訪問率 97.7% 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年高い訪問率を維持している。引き続き、育児の孤立化防止と地域の中で子育て支援につながる訪問に努める。
		進捗状況	

施策④ 子育ての負担感や不安感をやわらげる支援			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
子育て応援サイトの運営 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠から出産、育児に関する子育て支援情報の官民共同型のポータルサイトへの集約、一元化及び対象者へのタイムリーな発信による、いつでもどこでも必要な情報を得られる環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・月当たりの閲覧者数：平均 29,303人 ・年間アクセス数：1,081,588件 ・新規コンテンツの追加：17件 ・サイト運営関係者の確保：85者 ・子育てイベントでの周知広報：年2回 ・民間団体との協働イベントの開催：年1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長につれ、サイト利用から離れていくユーザーがいること及び前年度に比べて年間アクセス数が若干減少したことを踏まえ、周知・広報手段の工夫や、更新スケジュールの見直しを行い、また、情報提供等していただける関係者の確保に努め、よりよいサイト運営を行う。
		進捗状況	
一時預かり事業 (岡山っ子育成局保育・幼児教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭において保育を受けることが困難となった乳幼児について、保育園・認定こども園で一時的に預かり、必要な保護を行う事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・育休退園を制度的に見直し、出産した子どもが満1歳の誕生日を迎える月の月末まで通常保育の利用継続を認める取扱いとしたため、結果的に利用児童数が減ったが、ニーズにはきちんと対応している。(利用者数延べ62,569人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一時的に家庭での保育が困難になった就学前の乳幼児については、引き続きニーズが見込まれることから事業の維持を図っていく。
		進捗状況	

ファミリーサポート事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー・サポート・センターでの、地域において育児の援助を受けたい者(依頼会員)と育児の援助を行いたいもの(提供会員)との仲介による会員間での育児の相互援助活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポート事業活動件数 9,061 件 会員数 3,107 人 (内訳) 依頼会員 2,357 人 提供会員 507 人 両方会員 243 人 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の周知及び提供会員の確保を図っていく。
		進捗状況	
シルバー世代産前産後応援事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センターの登録者による、事前登録した産前1か月から産後5か月の妊産婦を対象にした育児・家事支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 利用登録者数 107 人 支援者数 58 人 利用件数 479 件 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の周知及び支援者の確保を図っていく。
		進捗状況	
子ども医療費助成制度 (保健福祉局医療助成課)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに係る医療費の一部助成並びに小児救急医療の適正な受診についての啓発 	<p>【子ども医療費助成制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年4月から、通院医療費について小学生を助成対象とし、3割負担を1割負担(月額上限額44,400/月)に軽減 平成28年度受給資格証所持者数 <ul style="list-style-type: none"> 就学前児 41,648 人 小学生 36,327 人 中学生 2,320 人 合計 80,295 人 <p>【小児救急医療適正受診啓発事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出前講座「こんなときどうする？」の開催(親子で学ぶ救急法…30講座 489人) 啓発グッズの配布等 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、適正受診の啓発に努める
		進捗状況	

政策 12 子どもの健やかな成長と若者の自立の支援

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
心豊かな岡山っ子応援団賛助団員（団体）	11	11	60	→	岡山っ子育成局
賛助団員の確保に向け、広報活動を行ったが団員数は横ばいであった。今後は、支援の輪を広げられる工夫と一層のPRに努め、団員の増加を図っていく。					
社会参加プログラムに参加して就職に至った発達障害者数（人）	-	4	25 (H28～32の合計)	↗	岡山っ子育成局
社会参加プログラムへの参加により、就労への動機づけにつながったことから、目標値である年間5人に概ね達することができた。引き続き、プログラムの充実を図っていく。					
里親等委託率（％）	13.3	12.6	23	↘	岡山っ子育成局
里親制度の普及啓発事業に力を入れ、新規里親登録数は増加したものの、里親等委託児童数は横ばいで、前年度に比較し、施設の退所児童が少なかったことから、委託率は若干の低下となっている。					
青少年の健全育成に対する満足度（％）	11.1	-	20 (H31)	-	岡山っ子育成局

総括

総合評価

施策① 子どもが安全で健やかに育つことができる環境づくり

・「心豊かな岡山っ子応援団賛助団員数（団体）」が、基準値から横ばいで推移しているため、今後は事業の見直しを行うとともに、事業の広報活動を積極的に行い、子育て支援に賛同し参加協力できる団体数を増やしていく必要がある。また、プレーパークや防災キャンプについて地域住民の育成、協力体制づくりをさらに進める。（岡山っ子育成局）

施策② 困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援

・困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援については、子ども相談主事の配置により、子どもの心配な状況を早期発見し、必要な支援に早期に結びつけることが期待できる。発達障害者への支援や社会的養護体制の充実も概ね順調に推移している。里親等委託率は若干低下したが、新規里親登録数は増加しており、引き続き制度の普及啓発や里親等への支援を進める。（岡山っ子育成局）

施策③ 若者の健全な成長と自立の支援

- ・若者の健全な成長と自立の支援は、青少年の健全育成や、子ども・若者の支援について概ね順調に推移しており、関係機関との連携をさらに目指していく。(岡山っ子育成局)

主な事務事業

施策① 子どもが安全で健やかに育つことができる環境づくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)		今後の課題・方向性
心豊かな岡山っ子応援団 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て・子育てを社会全体で支えていく気運の醸成に向けた、家庭、地域、事業者、学校園、行政の代表24団体で構成する応援団による、官民協働での子育て支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「岡山市こんにちは赤ちゃん事業」で約6,500世帯配付する絵本及び子育て情報チラシを提供 ・イベント会場で展示による啓発活動や募金活動を実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・社会全体で子育てを支援する気運の醸成の加速化を図るため、応援団の趣旨に賛同し事業に参加する賛助団員の確保が必要である。賛助団員数が横ばいであったことから、広報活動により事業自体の認知度をあげるとともに、賛同者が寄附以外でも応援団活動に参加できるよう、賛助団員の要件見直しを検討する。
		進捗状況	やや遅れ	

<p>プレーパーク普及事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自発性を引き出し豊かな外遊び体験につながるノウハウを持った者（プレーリーダー）を中心とした地域住民との協働による、地域の公園等での、子どもたちが自然の素材を使った遊びや季節を感じる遊びなどの豊かな外遊びを体験できるイベント（プレーパーク）の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレーパークを市内 6 か所で開催するとともに、地域住民をプレーリーダーとして育成するために、各プレーパーク開催地域でプレーリーダー養成講座を実施 ・外遊びの重要性と、地域ぐるみでの子育て支援環境の充実について、普及啓発するために、研修会を 2 回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが豊かな外遊びができる場を地域に作るるとともに、それを見守る地域住民を育成することが目標であり、平成 29 年度から、地域住民の自主開催を支援する補助金を創設した。しかし、継続的な開催のためには、財源の確保の他に、地域の人材の確保や開催を支援する仕組み作りが必要である。
	進捗状況	順調	
<p>次世代育成体験活動促進事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・被災した際に、自らの生命を守る防災技術や知識について、具体的な疑似体験を通じて学ぶことができる機会の提供（防災キャンプ推進事業） ・外国人と英語でコミュニケーションをとりながら、外国や日本の文化・生活体験や自然体験活動ができる機会の提供（おかやまイングリッシュビレッジ事業） 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災キャンプ推進事業を 13 公民館 19 会場で実施。参加児童・生徒数はそれぞれ 992 人、179 人 ・中国学園大学・中国短期大学を中心に旧福谷小の地域からも協力をいただき、おかやまイングリッシュビレッジ事業を旧福谷小で夏・秋の 2 回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災キャンプ推進事業の参加児童・生徒数は目標値に近づくまで増加した。今後も地域での協力体制づくりを進める。 ・おかやまイングリッシュビレッジ事業参加者の満足度は 95%であり、今後も市民協働を進める。
	進捗状況	概ね順調	

施策② 困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
<p>子ども相談主事の配置 (岡山っ子育成局こども福祉課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各福祉事務所への子ども相談主事の配置による、問題行動や不登校、虐待等に関する保護者や教職員からの相談への対応（学校園や家庭に向いでの対応） 学校園と福祉等の関係機関との橋渡しによる問題解決の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士や教員OB等の福祉、教育の専門家を6福祉事務所に2名ずつ、計12名配置。岡山市版SSW(スクールソーシャルワーカー) 課題を抱える子ども及び保護者への支援、学校園の対応への助言、教育機関と福祉機関の連携への支援等に従事 相談件数：6,299件 		<p>平成29年度から、貧困対策の一環として、各所1名ずつ増員し、月に1回市立の小中学校へ勤務することで、学校現場での子どもの心配な状況を早期に発見し、必要な支援へ早期に結び付ける。</p>
		進捗状況	順調	
<p>発達障害者支援センター事業 (岡山っ子育成局発達障害者支援センター)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに不安のある家庭への相談対応及び関係機関と連携した就労支援等による発達障害者の自立及び社会参加の促進。 発達障害者が安心して暮らすための支援人材の育成や地域支援体制の構築 	<p>【社会参加プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間23回開催 実支援人数22人のうち4人が就職 <p>【市民講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間2回開催 第1回目「自立をかなえる！ライフスキルの獲得と将来への見通し」 284人が参加 第2回目「すべての子どもの育ちを支える岡山市を目指して」 421人が参加 		<ul style="list-style-type: none"> 体験を伴う社会参加プログラムは有効であると考えられるため、引き続きプログラムを充実していくとともに、関係機関との連携・ネットワークを構築していく。 障害の有無にかかわらず、市民すべてが安心してこころ豊かに暮らせるために、一人でも多くの市民の方に発達障害について知ってもらうことが必要であるため、参加者への周知をより一層図っていく。
		進捗状況	概ね順調	

入所施設児童等福祉対策 (岡山っ子育成局 子ども福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> 入所施設児童、里親等への委託児童及び自立援助ホーム入所者の福祉の向上を目的とした、施設の設置者又は運営者及び里親に対する補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> 行事費、見学旅行費、自転車・遊具購入費、球技会参加費、運転免許取得費等に対して補助金を交付 対象入所施設数 15 施設 対象里親数 16 人 対象自立援助ホーム数 1 施設 	<ul style="list-style-type: none"> 困難を抱える子ども・家庭支援のため、引き続き事業を推進していく。
		進捗状況	
退所児童等アフターケア事業 (岡山っ子育成局 子ども福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> 児童養護施設等を退所した子どもたちの地域社会における社会的自立の促進を目的とした、生活や就業に関する相談、居場所の提供、住居支援等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援延べ件数 581 件 居場所の提供延べ利用者数 377 人 住居支援延べ件数 22 件 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問支援や就職活動への同行等を行うことが出来るよう、困難を抱える子どもの支援のため、体制を強化していく。
		進捗状況	
里親委託等家庭養護の推進 (岡山っ子育成局 子ども総合相談所)	<ul style="list-style-type: none"> 里親制度についての社会の制度理解の促進や一般家庭からの里親の開拓 保護を要する子どもの家庭的環境の中での安全・安心な生活に向けた、里親・ファミリーホームへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> 市単独及び市民団体との協働により里親制度の普及啓発事業を実施 市主催里親制度説明会 3 回（参加者数 11 人） 市主催里親フォーラム 1 回（参加者数 47 人） 市民協働による里親講座等 3 回（参加者数 149 人） 市民協働による施設入所児童との交流事業 4 回（参加者数 70 人） 一時里親事業の実施（利用児童数 16 人） 	<ul style="list-style-type: none"> 里親制度の普及啓発事業に力を入れ、新規里親登録数は増加したが、里親等委託児童数は横ばいであり、里親等委託につながるように積極的に取り組んでいく。
		進捗状況	
ひとり親家庭支援事業 (岡山っ子育成局 子ども福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> 母子・父子家庭等の生活の安定に向けた生活相談や就労支援等の実施 子どもの基礎学力の向上、高等学校進学等を促進するための、児童扶養手当全額支給世帯の中学生に対する学習支援 	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭相談件数 7,929 件 自立支援教育訓練給付金受給者数 4 人 高等職業訓練促進給付金受給者数 31 人 修了支援給付金受給者数 8 人 ひとり親家庭学習支援事業利用者数 38 人 	<ul style="list-style-type: none"> 相対的貧困率が高い傾向にあるひとり親家庭への支援を推進していく。
		進捗状況	

施策③ 若者の健全な成長と自立の支援

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
青少年健全育成事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市青少年育成協議会、警察、学校、その他関係機関及び団体等との連携による、補導活動、相談活動、健全育成活動等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 巡回補導活動 補導回数 491 回、声かけ件数 5,403 回、駅前巡回パトロール 59 回、地域合同補導 17 回 健全育成活動 将棋大会 191 人、明るい家庭づくり作文、絵・ポスター4,590 編 広報・啓発活動 広報紙「いくせい」6 回発行、パネル展 環境浄化活動 有害図書等調査 地域教育懇談会 市内 253 か所、9,874 人参加 その他 研修会等 6 回、「SOS子どもかけこみ 110 番」ステッカー760 枚配布 		<ul style="list-style-type: none"> 例年通りの活動を確実に実施することができた。問題行動が複雑・多岐にわたることが多く、情報を共有するため、関係機関との連携をさらに目指す。
		進捗状況	順調	
子ども若者育成支援事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> 「子ども・若者育成支援推進法」に基づく「子ども・若者支援地域協議会(仮称)」の設置 39 歳までのニート、ひきこもり、不登校などの諸課題を抱える子ども・若者の円滑な社会生活を支援するための、複数の実施機関の連携による支援体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市の関係機関が行っている、子ども・若者に関する支援をとりまとめた支援機関マップを作成し、市内小中学校、関係機関に 2,500 部配布 「子ども・若者支援地域協議会(仮称)」の設置に向けて準備会を開催 		<ul style="list-style-type: none"> 子ども・若者支援地域協議会の設置に向けて、効果的かつ円滑な支援が実施される仕組みづくりを構築するための協議を、関係機関と進める。
		進捗状況	概ね順調	

政策 13 女性や若者が活躍できる社会づくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合（％）	10.7 (H24)	-	16 (H29)	-	市民協働局
固定的な性別役割分担意識の解消度（％）	65.4	-	73 (H31)	-	市民協働局
若者（20歳代）の地域活動への参加割合（％）	17.9	-	30 (H31)	-	市民協働局

総括

総合評価

施策① 男女共同参画の推進

・企業を対象としたシンポジウムやセミナー、市内企業で働く女性のためのキャリアアッププログラム、女性の再就職を支援する講座は、いずれも定員に近い参加があり、職業生活における女性の活躍推進に向けた事業は順調である。社会のあらゆる場での男女共同参画を進めるため開催した講演会やイベント等は概ね順調であるものの、一部の事業では、受講者や市と協働する市民が固定化する傾向があり、より一層幅広い市民の参加を促進する必要がある。DV等の人権侵害の根絶に向けて相談業務等の支援や啓発を実施したが、多様化するDV等の相談に適切に対応するため、今後は相談員の育成や関係機関との連携を一層進めていく。（市民協働局）

施策② 若者の力をいかした地域づくり

・地域活動を担う人材の育成につながる講座を37全公民館で開催し、そのうち若者を対象とした講座は平成27年度の4館から9館に増加している。安全・安心ネットワーク等地縁組織は高齢化や後継者不足の課題を抱えていることから、持続可能な組織として地域課題の解決ができるよう、引き続き、若者の地域活動への参加を促進する必要がある。（市民協働局）

・ESDに関するインターンシップ・プログラムに対する大学や学生の関心が高まり、学生の社会貢献活動への参加や学びの機会が増えており、地域コミュニティにおける担い手の育成につながっている。引き続き、大学や学生に対して積極的に情報発信を行うとともに、公民館、NPOなどの受入先の確保を図る。（市民協働局）

・雇用対策等事業は、若者の市内企業への就職を支援することで岡山への定着を図っており、今後も中高生などにも事業対象を広げ、市内企業への就職促進を行い、若者の活躍の場を広げていく。(産業観光局)

主な事務事業

施策① 男女共同参画の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
女性が輝くまちづくり推進事業 (市民協働局女性が輝くまちづくり推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 企業の経営者や男性管理職等を対象にした講演会やセミナーの開催、経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの重要性の啓発、企業における働き方改革などの先進事例の情報発信等、女性活躍促進に向けたワーク・ライフ・バランスや多様な働き方の啓発 離職した女性のスキルアップや再就職支援、女性社員のキャリア形成の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 企業向け女性活躍シンポジウム1回開催 325名(定員300名) 男性管理職向けセミナー 3回開催 計109名(定員132名) 企業紹介事業 リーフレット 2,900部作成 紹介企業数5社 女性の再就職支援事業(補助事業) 11回開催 計219名(定員220名) 女性活躍プログラム(女性向け3回連続講座と上司向け講座1回) 女性26名、上司19名(定員各26名) 	<ul style="list-style-type: none"> 企業における女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組を促進するよう、効果的な啓発や地域の関係団体との連携が課題である。
男女共同参画推進事業(さんかくウイーク) (市民協働局女性が輝くまちづくり推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 「男女共同参画推進週間(さんかくウイーク)」の期間を中心とした、市民協働による講演会や講座、コンサートなど多彩な催しの実施 	<ul style="list-style-type: none"> さんかく岡山を中心に、市内37地区公民館等で、約3週間にわたり男女共同参画の理解を深めるためのイベントを実施。4,782人が参加し、さんかくプランの数値目標である「さんかくウイークへの参加者数毎年3,000人以上」を達成 	<ul style="list-style-type: none"> 市民公募の実行委員が固定化する傾向があり、幅広い市民の参画を促進するとともに、市民協働での効果的な事業実施のあり方を検討する必要がある。
男女共同参画推進事業(さんかく岡山) (市民協働局女性が輝くまちづくり推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関する啓発講座や気軽に参加できる多彩なイベント、子どもを対象とした体験型プログラム、男女共同参画を推進する人材の養成を目的とした講座等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に参加できる多彩なイベント等(さんかくマルシェ)19回、子ども向け体験プログラム(コドモさんかくゼミ)15回、男女共同参画を推進する人材養成講座(さんかくカレッジ)27回を開催し、計2,008人が参加 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者が固定化する傾向があり、幅広い年代の多くの市民の参加を促進するように、市民ニーズを踏まえた魅力的なプログラムや効果的なPRが課題である。

男女共同参画相談支援センター運営事業 (市民協働局女性が輝くまちづくり推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家や関係機関との連携による、DV、セクハラ、その他の性別に起因する差別等に関する相談業務や必要な支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談件数 2,797 件 (うち DV 相談 818 件) ・ 特別相談 28 回 (弁護士:14 回、心理カウンセラー:12 回、精神科医:2 回) ・ DV 被害者自立支援事業 5 回 ・ DV 啓発事業 5 回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様化する DV 相談等に適切に対応するため相談員の育成及び関係機関と連携した被害者への効果的な支援が課題である。

施策② 若者の力をいかした地域づくり			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
安全・安心ネットワーク支援事業 (若者の地域活動への参加促進) [一部再掲] (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動を担う人材の育成につながる講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各公民館に地域担当職員を配置し、「地域応援人づくり講座」を開催。若者を対象とした講座を 9 館で開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な組織として地域課題の解決ができるよう、若者を対象とした講座をより多く開催していく。
岡山 ESD プロジェクト推進事業 (学生の ESD 活動への参加促進) [一部再掲] (市民協働局 ESD 推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生を対象とした ESD に関するインターンシップ等のプログラムの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が社会課題解決に向けて取り組む岡山の NPO や公民館の取組を体験するインターンシップを実施 【夏季】8 月 23 日 (火)～9 月 9 日 (金) 参加学生 9 名 【春季】2 月 21 日 (火)～3 月 7 日 (火) 参加学生 11 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者数を安定的に集める。 ・ 参加を一度だけの体験でなく、継続的な参加につなげるようにする。 ・ 若者を受け入れる公民館や NPO 等を増やす。 ・ 参加学生の周りの学生への発信を高める。

雇用対策等事業 [再掲] (産業観光局産 業振興・雇用推 進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者やU I J ターン希望者を対象とした合同企業説明会の開催、若年求職者への市内企業での就業体験機会の提供等 ・市内企業の企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への提供による情報発信支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者等合同企業説明会等の開催 10/24 就活フェスタ秋の陣 (参加求職者数 155 人) ・U I J ターンを意識した合同企業説明会の開催 8/8, 9 岡山に合説あり。夏の陣 (参加求職者数 475 人) ・就業体験先を決めるための合同企業説明会を開催後、マッチングされた企業と求職者で就業体験を実施 8/22 ジョブマッチング (参加求職者数 54 人、内就業体験者数 24 人) ・159 社の企業情報を掲載した企業情報冊子を 5,000 部作成し、県内県外大学、関係機関等へ配布 ・人事担当者向けセミナー等の開催 2/15, 21 スキルアップセミナー (参加企業数 57 社) 個別訪問指導の実施 (参加企業 6 社) ・マザーズハローワーク出張相談を岡山ふれあいセンター等市内 6 カ所で開催 (参加者数計 70 人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後若手人材確保がより困難になることが想定され、事業対象者の範囲を拡大させることで市内企業の人材確保を推進する。
	進捗状況	概ね順調	
学校支援ボランティア事業 [再掲] (教育委員会生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生や保護者、地域住民が、学校支援ボランティアとして様々な特技等をいかして行う教育活動への支援 ・学生同士の連携をいかした授業や放課後学習等への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生をグループ化して活動支援を行うモデル事業 (学習活動サポーターズの取組) を 2 小学校と 1 中学校で実施 ・学校支援ボランティア連絡協議会を設立。事業全体の進め方や課題等を協議 (H28. 6、H29. 3 開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業を継続して実施。課題に応じた改善や見直し、計画した企画の実施に取り組み。平成 30 年度以降の事業モデルを構築し、持続可能な推進体制づくりを進める。
	進捗状況	概ね順調	

政策 14 知・徳・体の調和のとれた自立する子どもの育成

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
「学校に行くのが楽しい」と答えた子どもの割合（％）	小：85.8 中：83.5	小：85.4 中：83.4	小：90 中：88	↓	教育委員会
授業改善や学級集団づくりを推進しているが、小学校、中学校ともに基準値からわずかに下落している。					
全国学力・学習状況調査のB問題（主として「活用」に関する問題）の偏差値	小6国語：50 小6算数：50 中3国語：48 中3数学：48	小6国語：50 小6算数：50 中3国語：48 中3数学：48	小6国語：51 小6算数：51 中3国語：50 中3数学：50	→	教育委員会
授業改善に向けた取組を進めているが、小学校、中学校ともに基準値から横ばいで推移している。					
「人が困っている時に進んで助けている」と答えた子どもの割合（％）	小：85.5 中：80.2	小：86.4 中：81.4	小：92 中：90	↑	教育委員会
道徳の授業研究や講演会の実施等により、児童生徒の道徳的価値の理解や実践行動につながり、目標値に向けて上昇した。					
1週間の総運動時間が60分以上の子どもの割合（％）	中2男子：91.9 中2女子：75.3	中2男子：92.3 中2女子：76.3	中2男子：93 中2女子：79	↑	教育委員会
運動習慣の取組の普及に努めた結果、目標値に向けて上昇した。					

総括

総合評価

施策① 主体的な学びの推進による確かな学力の育成

- ・学力向上については、授業改善に向けた取組が進んでいるが、全国学力・学習状況調査の結果は、小学校で全国平均並み、中学校では全国平均を下回っている。岡山市学力アセスの結果と合わせて、全国調査の結果の有効な活用で、児童生徒の学力等の経年的な把握、授業改善を図るPDCAサイクルの確立を行っていく必要がある。また、英語教育については、教員及び児童生徒の英語力の向上を図ってきたが、まだ十分とはいえない。英語に触れ、使う機会を増やすことで、英語力を高める必要がある。（教育委員会）
- ・一人ひとりの課題に応じた学習支援については、習熟度別サポート事業や岡山っ子スタート・サポート事業等が効果的に行われている。また、学校支援ボランティア事業では、学生グループによる学校支援により、児童生徒の学習の理解度や意欲の向上などの効果が認められるが、一方で、学生のグループ機能を充

実させる難しさなどの課題もわかってきている。(教育委員会)

施策② 人や自然との関わりを通した豊かな心の育成

- ・豊かな心の育成については、はぐくむ心・あったかハート事業による研究協議会の実施や芸術体験活動等が順調に進捗している。また、キャリアスタートウィークやユネスコスクール推進事業についても、概ね順調な進捗状況で、地域の方々との交流や体験活動等により、社会の担い手として主体的に学ぶ児童生徒の育成につながっている。(教育委員会)

施策③ 健康教育の充実による健やかな体の育成

- ・運動習慣の定着については、体育の授業時間以外で体を動かす重要性や子どもの運動習慣の定着に関する取組方について、体育担当者の研修等を通じて周知を図った結果、小学校、中学校ともに、運動習慣の定着が進んでいる。(教育委員会)

施策④ 一人ひとりの育ちを支える指導・支援の充実

- ・スクールカウンセラーや支援員の配置の拡大等により、一人ひとりの特性や課題に応じた指導・支援が充実してきているが、ニーズの増加と多様化が進んでおり、さらなる対応が求められている。(教育委員会)

主な事務事業

施策① 主体的な学びの推進による確かな学力の育成

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
<p>学力向上推進プロジェクト (教育委員会指導課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の結果分析と授業づくりへの活用 ・子どもの課題を踏まえた独自問題による岡山市学力アセスの実施と結果分析 ・大学等との連携による「中学校区を単位とした学校園一貫教育～岡山型一貫教育～」の推進及び授業改善等に向けた取組の実施等 	<p>【岡山市学力アセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの課題を踏まえ、本市の教員が平成28年度試行実施の問題及び平成29年度実施の問題を作成。平成28年度試行実施の結果については市HPに掲載 <p>【いきいき学校園づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区での学力向上と学校評価を組み合わせ、「岡山型一貫教育」を推進 ・指導主事や大学教員が参加する公開授業や研修を行うことで、授業改善を推進(14園、22小学校、10中学校、1高等学校で公開保育・授業を実施) <p>【授業これだけは！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力調査の結果をもとに、授業改善の方向性や具体例をまとめた「岡山市のよりよい授業へのアプローチ vol.2」を作成 <p>【指導教諭の活躍】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上先進県に指導主事と指導教諭を派遣し、取組を学ぶとともに市内に普及させることで学力向上を推進 <p>【学力向上プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教員によるプロジェクトチームが、本市の実態に応じた学力向上のための取組を実施(8/24 ますかっと夏季講座「学力向上フォーラム」を開催) 		<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査及び岡山市学力アセスの結果をもとに、小4から中3までの児童生徒の学力状況を経年的に把握することで、岡山市の子どもにの学力に係る課題を明確にするとともに、授業改善を図るPDCAサイクルの確立を目指す。
<p>習熟度別サポート事業 (教育委員会教職員課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校2～6年生の授業における10人未満の小集団による習熟度別授業や放課後学習指導の実施 	<p>進捗状況 概ね順調</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1クラスの平均児童数10名以上の小学校で2年生から6年生が対象。81校に習熟度別サポーター95人を配置 ・10人未満の小集団で習熟度別授業や放課後学習指導を行うことで、基礎・基本の確実な習得を図った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・講師不足の中、資格を有する人材の確保が難しくなっている。
		<p>進捗状況 概ね順調</p>		

岡山っ子スタート・サポート事業 (教育委員会教職員課)	<ul style="list-style-type: none"> ・小1プロブレム解消を目的とした一定規模以上の学校への教育支援員配置による円滑な義務教育のスタートの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生1クラスに30名以上の在籍がある学級が存在する学校(32校)に岡山っ子スタートサポーターを103人配置 ・具体的に児童一人ひとりの課題を把握し、円滑な義務教育のスタートやつまずきの早期発見・早期解消を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数の増減により、昨年度配置校だった学校でも未配置になることがあり、安定した児童支援が行われないという課題がある。
英語教育推進事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導力・英語力向上のための校内研修への支援 ・英語教育推進指定校事業の実施による指導方法と教材開発研究の推進 ・小中学校へのALT(外国語指導助手)の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを38人配置 ・英語教育推進者研修講座を受講した中核教員が各校で実施する校内研修へ講師を派遣 ・英語教育推進指定校(小学校1校、中学校1校)を指定し、授業公開及び研究協議会を実施 ・国の動向を踏まえた指導力向上を目指して、文部科学省教科調査官等を招聘しての研修会を10月に実施 ・次期学習指導要領に向けて、先進的な研究成果を広げるため、公開授業研究会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標として設定している生徒の英語力には依然として課題がある。教員・子どもたちとも英語に触れ、使う機会を増やすことにより、子どもたちが身近なことについて外国人とコミュニケーションをとることができる英語力を高める必要がある。
教育課題別研究事業 (教育委員会教育研究研修センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究協力校と連携した具体的な授業実践と指導方法の研究 ・研究成果資料の作成と研修等での活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究協力校2校において、主体的・対話的で深い学びの実現の研究に取り組み、実態把握アンケート、指導主事・大学教員等による校内研修での出前講座、検証授業等を実施 ・研究成果物を全校に配付 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善に関しては、指導課と連携し教員の授業力を向上させる必要がある。 ・研修とリンクした効果的な発信の場を工夫し、研究成果の普及を図る必要がある。

学校支援ボランティア事業 (教育委員会生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生や保護者、地域住民が、学校支援ボランティアとして様々な特技等をいかして行う教育活動への支援 ・学生同士の連携をいかした授業や放課後学習等への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生をグループ化して活動支援を行うモデル事業（学習活動サポーターズの取組）を2小学校と1中学校で実施 ・学校支援ボランティア連絡協議会を設立。事業全体の進め方や課題等を協議（H28.6、H29.3開催） 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業を継続して実施。課題に応じた改善や見直し、計画した企画の実施に取り組む。平成30年度以降の事業モデルを構築し、持続可能な推進体制づくりを進める。

施策② 人や自然との関わりを通した豊かな心の育成			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
はぐくむ心・あったかハート事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の教科化に向けた道徳教育担当者の研究協議会及び授業研究の実施 ・子どもが地域等の様々な人の多様な生き方を学ぶ講演会の実施 ・小学校第6学年を対象とした演劇鑑賞会の実施等 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究協議会の実施 道徳教育推進教師約130人参加 ・あの人の生き方に学ぶ講演会 19校に講師を派遣 ・道徳授業のプロデューサー事業 初年度7校、2年次5校、3年次2校で実施 ・芸術体験活動 62校約4,000人第6学年の児童が鑑賞 ・道徳教育郷土資料集の活用 小中学校の各学級に配付 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施校が研修を通して得た成果を実施校以外の学校にも広げていくために、公開授業及び研究協議会の参加者を増やしていくことが必要である。
岡山キャリアスタートウィーク事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生を対象とした職場体験活動等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全38中学校の2年生を対象に、職場体験活動を実施（受け入れ事業所：2,100箇所超） ・キャリア教育の推進を図るための研修会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動期間を4日以上にしたいが、授業時間の確保から難しい。

ユネスコスクール推進事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外のユネスコスクールや各地域のコンソーシアムとの交流と学校間ネットワークの充実 ・地域との協働による地域の自然環境や歴史等に関わるESD活動の推進 ・ESD実践の成果と課題の共有を目的とした発表会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・全市立小中学校を対象にESDに係る研修会を8月に実施 ・ユネスコスクール推進校を対象の研修会を年3回実施 ・「岡山子どもESDフォーラム」を10月に実施 ・市立学校各校のESDに係る校内研修会への講師派遣を実施 ・ユネスコスクール推進校が地域とともに行う活動に対する費用助成を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての市立学校において、学校教育基本計画の中にESDの推進が位置付けられている。しかし、その取組内容は学校によりさまざまであるため、よりESDの取組を浸透させていくことが今後の課題である。

施策③ 健康教育の充実による健やかな体の育成			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
運動習慣定着化事業 (教育委員会保健体育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動するきっかけづくりとなる体育の宿題等の取組の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校中学校体育担当者の研修会において、運動習慣の取組についての資料による説明とグループ協議を実施 ・協力者会議委員による実践の成果を、市作成の指導資料冊子に掲載し、市内全ての小中学校に配付 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校中学校間での接続・連携を強めていく必要がある。 ・実践方法について担当教員の理解と共有を図る。
子どもの命を守る岡山市立学校におけるAED整備及び応急手当普及員研修事業 (教育委員会保健体育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校へのAEDの設置 ・応急手当普及員講習への教頭等を中心とした参加の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校・高等学校の管理職31名が応急手当普及員の資格を取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当普及員研修と一次救命研修をうまくリンクさせていきたい。
学校保健事業 (教育委員会保健体育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家と連携した薬物乱用防止教室等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導連絡等の機会をとらえて、薬物乱用防止教室実施を啓発。薬物乱用防止教室の実施率83.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止教室の指導ができる外部講師を確保していく必要がある。

スーパー食育スクール事業における成果の普及事業 (教育委員会保健体育課)	<ul style="list-style-type: none"> 客観的数値を活用した指導の実施と家庭等と連携した食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の取組事例を整理して、全校に示すとともに、ヘモグロビン測定器を1台増やして事業展開の拡大と迅速化を図った。 身体測定機器を活用した保護者対象の試食会等を実施した。(身体測定機器延べ使用者数5,576人) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業における児童生徒を対象とした身体測定機器の活用を図る。

施策④ 一人ひとりの育ちを支える指導・支援の充実			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
共に生きる子どもを育てる障害児支援事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員、看護支援員の配置 実践研究校の指定による「特別支援教育の視点を生かした授業づくり実践研究」の実施 「特別支援連絡協議会」、「合理的配慮検討会議」の開催 特別支援教育相談窓口による相談・支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員配置事業 特別支援教育支援員338名配置 看護支援員12名配置 特別支援教育関係事業 3校指定 特別支援教育相談支援事業 特別支援教育相談窓口受理件数190件 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員の配置について、毎年10名の増員を見込んでいるが、それ以上にニーズが高い。 特別支援教育相談窓口の利用について、受理件数の増加だけでなく、継続支援の内容の深化等を進める。
共に成長し合う学級集団づくり推進事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校における学級適応感測定のための質問紙調査等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 質問紙調査「hyper-QU」又は「ASSESS」を全小中学校で年3回実施 調査結果を活用した学級集団づくりを全小中学校で実施 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の見取りによる児童生徒理解と合わせて、共通指標を用いることで、更に児童生徒理解を進め、学級集団づくりに活かす。

スクールカウンセラー配置事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高等学校へのスクールカウンセラーの配置による、子どもや保護者のカウンセリング、教職員への助言及びカウンセリングの技法の研修等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高等学校に「心の専門家」であるスクールカウンセラーの配置 配置校…36 小学校、37 中学校、1 高等学校、計 74 校 ・スクールカウンセラー 1 校当たりの配置時間…年 40 週、週 1 回、3.5 時間勤務、計 140 時間 ・スーパーバイザー（市内 7 校に配置）1 校当たりの配置時間…年 40 週、週 1 回、5.5 時間勤務、計 220 時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区で S C の配置がない小学校へ S C が定期的に勤務し、カウンセリング等を行う。 ・相談体制の充実のため、臨床心理士の割合を増やす。
	進捗状況	概ね順調	
不登校児童生徒支援員配置事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校への不登校児童生徒支援員配置による、不登校の未然防止と深刻化する前の早期解決への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 56 校、中学校 35 校、合計 91 校配置 ・不登校児童生徒支援員の活動が不登校児童生徒への対応や未然防止に非常に役立っていると答えた学校の割合 92.9% 	<ul style="list-style-type: none"> ・別室登校の児童生徒をより効果的に支援できるよう配置を進める。
	進捗状況	概ね順調	
教育相談室・適応指導教室整備事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市教育相談室・岡山市適応指導教室の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・操山地区公民館の建物設計が終了 ・ラポート牧山の耐震設計完了 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラポート牧山の耐震改修工事の完了。 ・平成 30 年 4 月より岡山市教育相談室及び岡山市適応指導教室を操山公民館にて開室。 ・南部に適応指導教室設置。（施設は暫定）（予定）
	進捗状況	概ね順調	
日本語指導講師派遣事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の能力が十分でない外国人児童生徒への日本語指導及び適応指導等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国・外国人児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童生徒 29 名に対して、日常生活及び教科学習に必要な日本語指導及び適応指導のため、日本語指導支援員を延べ 473 回派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国・外国人児童生徒の出身国が多様化しており、帰国・外国人児童生徒の母国語に対応できる日本語支援員の人材の確保が難しい。
	進捗状況	概ね順調	

政策 15 家庭・学校・地域が協働で進める教育力の向上

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
「子どもと向き合う時間が充足している」と答えた教職員の割合（％）	50.2 (H28)	-	60	-	教育委員会
全 38 中学校区のうち、地域協働学校に指定した中学校区数（中学校区）	30	31	35	↑	教育委員会
1 中学校区を新たに指定し、目標値に向けて着実に増加している。					

総括

総合評価

施策① 教職員の資質能力の向上と支援体制の充実

- ・教員の採用については、平成 28 年度から市単独で問題作成や選考、広報活動を行ったが、全国的な傾向もあり、昨年度より受験者数は減少した。今後、さらに広く岡山市の教育を P R して受験者数を増加させていくことが必要である。また、教職員の育成については、若手の育成に重点を置いた取組が順調に進んでいる。今後は各校が O J T で若手を育てる体制の強化を図っていく必要がある。（教育委員会）
- ・教職員の支援体制については、学校業務アシスト事業により、教職員の約 6 割が「子どもと向きあう時間が昨年と比べて増えた」と回答しており、当該事業の効果が表れている。また、部活動サポート事業は、部活動の充実と教員の精神的、時間的負担の緩和につながっている。（教育委員会）

施策② 安全・安心で快適な教育環境の整備

- ・安全・安心で快適な学校施設については、平成 29 年度に耐震化完了予定の学校耐震改修整備事業及び平成 30 年度完成予定の高島小学校校舎増築事業が順調に進捗している。（教育委員会）

施策③ 家庭・学校・地域の連携強化

- ・家庭・学校・地域の連携については、地域協働学校の指定及び家庭を支える社会全体への働きかけなどが進んだことにより、強化されてきている。また、地域コーディネーター配置校が増えることにより、学校園へのボランティアの導入が促進され、子どもの地域での多様な経験や地域の人と触れ合う機会などが増えている。（教育委員会）

主な事務事業

施策① 教職員の資質能力の向上と支援体制の充実

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
教職員研修事業 (教育委員会教育研究研修センター)	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の資質能力の向上を目的とした、キャリアステージに応じた系統的・継続的な教職員研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 144 講座の教職員研修を実施 教職経験 5 年までの経験年数別研修等の充実により、若手教職員の指導力向上を支援 授業公開等の実践的な研修を増やし、教科指導力を育成 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアステージに沿った育成指標を研修計画に反映させる。 若手教職員と中堅教職員の合同研修をより充実させ、相乗的に資質能力を向上させる。
		進捗状況	
教職員の力量を高める教育研究事業 (教育委員会教育研究研修センター)	<ul style="list-style-type: none"> 市の教育課題や学校のニーズに対応する実践的な調査研究の実施 教職員への教育情報の提供、調査研究の成果の普及や指導助言等 	<ul style="list-style-type: none"> 各学校で先輩教職員が若手教職員を育成することができる仕組みづくり（OJTの推進、先輩教職員から若手教職員への学校現場での「技・思いの伝達」が進むような支援）等 	<ul style="list-style-type: none"> 若手教職員育成の取組には、学校により差がある。様々な研修でOJTの必要性を周知し、研究成果物の活用を通じて、推進を図っていく必要がある。
		進捗状況	
若手教職員育成事業 (教育委員会教育研究研修センター)	<ul style="list-style-type: none"> 若手教職員育成に関する OJT の研究及び推進 若手教師フォローアップ研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 指導教諭 3 名の示範授業DVDを制作し全校へ配付 若手教職員の育成につなげるための OJT の研究及び冊子作成等を進めた。OJT 冊子は全校へ配付 若手教員の学びの充実と、先輩教職員のメンターとしての自覚の促進を図るため、初任研と 5 年研の合同研修、2 年目研と指導教諭研との合同研修、若手教師フォローアップ研修等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 校内 OJT による組織的な若手教職員育成が軌道に乗るように、具体的な OJT の方法の周知や効果的な実践例の紹介を、引き続き行う必要がある。
		進捗状況	

特色ある岡山市 教職員採用試験 実施事業 (教育委員会教 職員課	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市が求める「情熱」「力量」「人間力」のある教職員の確保を目的とした市単独での教職員採用試験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市教職員採用試験実施に向け、広報活動として一般説明会と大学説明会を実施 <p>【一般説明会】 県内会場 1 回、 県外会場 3 回（広島、大阪、神戸） のべ 246 名が参加</p> <p>【大学説明会】 県内 12 大学、 県外 32 大学 のべ 452 名が参加</p> <p>結果として 698 名が出願</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に教員採用試験の受験者数は減少傾向にあり、岡山市でも、H28 年度実施より単独で実施しているため、昨年度と単純に比較はできないが受験者数は減少している。岡山市の求める人材を確保していくために、広く岡山市の教育を P R する必要がある。
	進捗状況	概ね順調	
学校業務アシスト事業 (教育委員会教 職員課	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の事務処理等の業務改善と、児童生徒と向き合う時間の確保を目的とした、小中学校への学校業務アシスト職員の配置 	<ul style="list-style-type: none"> 週当たり大規模校 25 時間、中規模校 20 時間、小規模校 10 時間、極小規模校 5 時間配置 学校へのアンケート 「勤務負担軽減につながっている」…81.6%、 「子どもと向き合う時間が昨年度より増えた」…61.9% 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員のワークライフバランス実現に向けた取組の一つとして、大規模校への配当時間の拡充を行う。
	進捗状況	順調	
部活動サポート事業 (教育委員会保 健体育課	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の充実発展と部活動顧問教職員の負担軽減を目的とした、中学校及び市立高等学校への外部指導者の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の 38 の高校・中学校から、のべ 115 名の外部指導者を登録(募集予定人数 100 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動指導員制度導入の必要性について、他都市の状況を把握し、制度変更のメリットとデメリットを分析する。
	進捗状況	概ね順調	

施策② 安全・安心で快適な教育環境の整備

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)		今後の課題・方向性
学校耐震改修整備事業 (教育委員会学校施設課)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度までの完了に向けた学校施設の耐震化工事の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修工事実施設計の完了 小学校 3 校 5 棟 (前年度からの繰越) 耐震改修工事の実施 小学校 18 校 31 棟 (うち 16 校 28 棟は前年度からの繰越) 中学校 8 校 11 棟 (全て前年度からの繰越) 耐震改築工事の実施 H28 完成 西小、桑田中、岡北中、瀬戸中 H29 完成予定 (継続事業) 鹿田小、小串小、岡輝中 		<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度ですべての学校園耐震化完了を予定しており、工事の進行管理等を適切に行うことが必要である。
		進捗状況	順調	
校舎等増改築事業 (教育委員会学校施設課)	<ul style="list-style-type: none"> 将来的に児童生徒数の増加が見込まれる学校の校舎等の増改築の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 高島小学校校舎増築工事の実実施設計と地質調査 増築校舎 鉄骨造 3 階建 延床面積 2,937 m² 		<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度の完成に向けて、工事の進行管理等を適切に行うことが必要である。
		進捗状況	順調	
ICTを基盤とする情報活用能力アップ事業 (教育委員会就学課・指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 教育ネットワークの最適化 情報教育カリキュラムの作成等 	<ul style="list-style-type: none"> 教育用・校務用パソコンのリース契約一本化に向けた段階的なリース契約を実施 (H30 年度に一本化の予定) ネットワーク通信速度の向上や、セキュリティを強化させるための資産管理システムの導入により、教育ネットワークの最適化を進めるに当たり、全学校のネットワーク調査を実施 		<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領実施に向け、児童生徒の情報活用能力の育成を目指す中で、児童生徒や教員がストレスなく、効果的な ICT 活用ができるようにする必要はある。さらに、研修の充実や ICT 活用事例集の作成によって、よりよい実践の共有を図るとともに、新たな指導法の研究を図りたい。
		進捗状況	概ね順調	

学校図書館の充実 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の教育内容と子どもの興味関心に合った図書資料の計画的な整備 	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館図書標準未達成校に、重点的な図書費の配当を行い、H28年度末には、H21年度開校の緑ヶ丘中以外の全小・中学校で学校図書館図書標準を達成 学校図書館システムにより正確な蔵書冊数を把握し、利用価値の低くなった図書の廃棄・更新を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各学校が保有する古い図書資料の更新を進める。
	進捗状況	概ね順調	

施策③ 家庭・学校・地域の連携強化			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
地域協働学校の推進と学校評価の充実 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域住民が学校運営に参画・評価できる「学校運営協議会」の設置促進による地域協働学校指定数の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 1 中学校区（1 中学校、3 小学校、3 幼稚園）を新たに指定 8月に地域協働学校フォーラムを学校園長、地域の方を対象に実施 2月に全学校園長及び学校運営協議会委員を対象に研修会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 未設置の中中学校区では、学校運営協議会のメンバー選定に苦慮しているところもある。 平成 37 年度までに全校指定する。
		進捗状況	
家庭教育支援事業 (教育委員会生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育に関するリーフレットの配付や啓発イベント等の実施 地域や企業等が実施する研修会等への家庭教育支援アドバイザーの派遣 	<ul style="list-style-type: none"> リーフレットの配付やイベントの開催、アドバイザーの派遣などによる保護者や支援団体への啓発、支援を実施 家庭教育支援アドバイザー派遣回数 14 回 家庭教育支援フェア参加団体及び参加人数 21 団体／730 人 	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザー派遣のより一層の拡充を行う必要がある。 関連施策を行う庁内の関係課との共同事業実施や情報交換、互いの役割の明確化を進めていく。
		進捗状況	
地域コーディネーター事業 (教育委員会生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> 小学校区又は中学校区単位での「地域コーディネーター」の配置促進 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校区または中学校区に、地域コーディネーターを配置し、地域コーディネーターが中心となって、学校関係者や地域の代表、地域住民・学生等のボランティア、保護者等が連携・協働しながら、学校支援活動を幅広く実施 14 団体 46 校園で実施 	<ul style="list-style-type: none"> 実施学校園数のより一層の拡充を行う必要がある。 地域コーディネーターの機能を十分発揮させていくために、資質向上を図る必要がある。
		進捗状況	

スーパー食育スクール事業における成果の普及事業[再掲] (教育委員会保健体育課)	<ul style="list-style-type: none"> 客観的数値を活用した指導の実施と家庭等と連携した食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の取組事例を整理して、全校に示すとともに、ヘモグロビン測定器を1台増やして事業展開の拡大と迅速化を図った。 身体測定機器を活用した保護者対象の試食会等を実施した。(身体測定機器延べ使用者数 5,576 人) 		<ul style="list-style-type: none"> 授業における児童生徒を対象とした身体測定機器の活用を図る。
		進捗状況	概ね順調	

政策 16 生涯にわたる豊かな学びの充実

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
市立図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数(冊/人)	6.3	6.2	6.4	↓	教育委員会
全国的な読書離れが、基準値からの下落の要因と推察できる。					
公民館主催講座・クラブ講座における利用延べ人数(人)	815,750	823,498	816,000	↑	教育委員会
主催講座数の増加及び吉備公民館の新築開館などから利用者数が増加し、目標値を達成した。					

総括

総合評価

施策① 豊かな学びの機会と場の提供

- ・図書館サービスの充実について、インターネット予約図書を受取・返却窓口拡充事業は、モデル事業として実施している3か所の公民館での予約数が約1.3倍に伸びており、順調に進捗している。目標値を達成できるよう、利便性の向上に努める必要がある。(教育委員会)
- ・生涯学習の機会や場の提供については、公民館において、地域の多様化する学習ニーズに対応するための多彩な主催講座を開催しており、主催講座数・利用人数ともに増加している。(教育委員会)

主な事務事業

施策① 豊かな学びの機会と場の提供

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
公民館運営事業 (教育委員会中央公民館)	・市民の様々な学習ニーズに対応した各種講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・主催講座数 1,221 講座 ・利用人数 298,001 人 (内訳) 共生のまちづくりの促進 226 講座、環境意識の高揚 117 講座、健康づくりの支援 103 講座、子育て・青少年の健全育成 227 講座、パソコン教室 232 講座、その他 316 講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの分野別の課題を E S D の視点から見直したり、地域課題解決の糸口となる学びの機会(講座)を充実させる。
		進捗状況	
公民館建設事業 (教育委員会生涯学習課)	・地区公民館の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・操山地区公民館 平成 29 年 3 月末 建物設計終了 平成 29 年 1 月 用地の買い戻し 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事スケジュールが非常にタイトなため、常に進捗状況を把握し、適切な進行管理に努めていく。 ・新設館のため、7 月には、地元の運営委員会準備会を設立し、開館に向けた地元運営体制を構築する。
		進捗状況	
公民館耐震改修整備事業 (教育委員会中央公民館)	・耐震診断結果に基づく公民館の耐震改修整備	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修工事 地区館 2 館、分館 2 館 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の分館の在り方について、地元協議を進めながら「個別施設計画」を早期に策定するよう調整する。
		進捗状況	

公民館ESD活動推進事業 (教育委員会中央公民館)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館における地域ESD活動講座、ワークショップ等の開催 ・ESD活動に取り組むアジア地域CLC（コミュニティ学習センター）との交流の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ESD講座・地域再発見フィールドワークや地域ワークショップを開催 ・課題解決に取り組む公民館活動を共有し、発展させるため、ESD公民館プレ大会を開催 ・アジア太平洋地域教育会議での公民館の取組事例の発表、CLC関係者との交流 ・インドネシア・パキスタンからの視察団の受入れ（6公民館）及び交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアのCLCネットワーク会議へ参加し、岡山市の取組を紹介する。また、公民館とCLCとの連携を深めるためアジアからの視察を受け入れ、住民との意見交換や交流を通じて、お互いの実践を高め合い学び合う交流を促進させる。
	進捗状況	概ね順調	
インターネット予約図書受取・返却窓口拡充事業 (教育委員会中央図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館におけるインターネット予約図書の受取・返却窓口拡充モデル事業の実施・検証及び実施方針の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業として3公民館で実施、予約数が約1.3倍に増加 <p>7/21～ 高松公民館・福田公民館で開始</p> <p>10/20～ 高島公民館で開始</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル実施期間（H28～H29）での成果や課題を検証し、H30年度以降の方針を決定する。
	進捗状況	概ね順調	
図書館業務システム活用による市民サービスの向上及び蔵書の適正管理 (教育委員会中央図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館業務システムの保守点検業務の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に向けた、仕様書の検討、他都市調査、関係課との協議を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果を勘案しながら、市民サービスの向上を図っていく。
	進捗状況	概ね順調	
図書館施設の改修及び修繕 (教育委員会中央図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館の計画的な修繕の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年1月に財産活用マネジメントが実施した劣化調査の結果を踏まえて、危険度の高い個所や市民サービスに影響のある個所から優先的に修繕を実施 <p>中央図書館 エアコンインバーター取替工事 瀬戸町図書館 外壁目地修繕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の安全や建物寿命に影響する、劣化度が重度、中度の個所を中心に順次修繕を行う。
	進捗状況	概ね順調	

郷土資料の保存 と活用 (教育委員会中 央図書館)	・郷土資料の適切な保存と展示 など幅広い活用の推進	【郷土資料の保存】 ・2万件の貴重書のうち、古文書600 件と貴重書100冊のデジタル化終了 【資料の活用】 ・古文書を含む郷土資料の展示・紹介5 回 ・図書館所蔵の古文書について、美術 館等での講演会2回	・郷土資料の保存作 業を進めている が、劣化の進行に 保存対策が追い ついていない。将 来にわたり資料 が適切に保存で きる環境の整備 が必要。
		進捗状況	

政策 17 多様な主体による協働のまちづくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
ESDプロジェクト参加団体数(団体)	246	260	300 (H31)	↑	市民協働局
平成 28 年度も主に活動支援助成をすることなどによって、ESDプロジェクト参加団体数は目標値に向けて着実に増加している。					
地域活動への参加割合（％）	39.9	-	52 (H31)	-	市民協働局
企業・NPO法人等が参加した安全・安心ネットワーク数(団体)	23	27	50	↑	市民協働局
企業や地縁組織以外の団体等が参加する安全・安心ネットワーク数は増加傾向にあり、事例報告会の開催等活動の学び合いや情報を共有する取組等が寄与しているものと考えられる。					

総括

総合評価

施策① ESD活動の拡大と質の向上

- ・ ESDの啓発活動や活動団体の支援、地域で取り組むESD活動の情報発信などにより、ESDの認知度向上に取り組み、岡山ESDプロジェクト参加団体の拡大につながった。今後も引き続き、岡山ESD推進協議会の取組を促進し、より質の高いESD活動の推進を図る。(市民協働局)
- ・ ESDの推進については、学校教育では、多様な研修やフォーラム等の実施により、ESD活動の充実が図られるとともに、全ての市立学校において、教育計画に位置付けたESDの取組が定着してきている。公民館では、全公民館で「草の根ESD事業」を取り組んできたことにより、ESD活動の主体者が徐々に育成されてきている。(教育委員会)

施策② 地域における主体的な活動の促進

- ・ 安全・安心ネットワークや町内会等地縁組織による防犯、防災、環境美化等の社会課題解決の取組が継続され、また、地域活性化イベント等の区づくり推進事業の採択件数も概ね増加傾向にあるなど、地域活動はある程度活発に行われている。一方で、組織の高齢化や後継者不足等の課題もあることから、地域における主体的な活動が持続可能なものとなるよう、担い手の育成や活動経費の一部助成など様々な支援を行っていく。(市民協働局)

施策③ 多様な主体による協働の推進

- ・改正した協働のまちづくり条例に基づき、協働推進計画の策定をはじめ、協働推進委員会や市民協働推進本部の設置等推進体制の構築、表彰制度の創設等の仕組みづくりなど、協働を推進していくための環境整備に努めた。今後、こうした体制や仕組みを活かしながら、E S D・市民協働推進センターのコーディネート機能を一層強化し、条例に定める協働推進施策等を計画的かつ具体的に実施していくことにより、多様な主体の協働による社会課題解決の取組を促進していく。(市民協働局)
- ・平成 28 年度に発足した「おかやま地域発展協議体」において研究等を進めるとともに、地方創生に係る民間事業者との包括連携協定も締結先を増やし、大学や民間企業等との連携の枠組を構築した。今後は、これらの枠組を活用して連携事項の具体化を図っていく。(政策局)

主な事務事業

施策① E S D 活動の拡大と質の向上

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
岡山 E S D プロジェクト推進事業 (市民協働局 E S D 推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種フォーラムの開催、E S D コーディネーターの育成、学生を対象とした E S D に関するインターンシップ等のプログラムの提供、優良事例の顕彰等を実施する岡山 E S D 推進協議会の経費への助成、E S D 活動等の情報発信等 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が E S D 活動について理解を深め、話し合う場を提供する岡山 E S D フォーラムや、E S D 優良事例を顕彰する E S D 岡山アワードを開催 E S D フォーラム / E S D 岡山アワード 10/29 参加者：約 120 名 ユネスコ / 日本 E S D 賞受賞記念岡山 E S D フォーラム 2017 1/22 参加者：約 400 名 ・E S D の学習プログラムを企画できる人材育成のため E S D コーディネーター研修を実施 11/11、11/24、12/15、1/19 参加者各 20 名 ・学生が社会課題解決に向けて取り組む岡山の N P O や公民館の取組を体験するインターンシップを実施 夏季 8/23～9/9 参加学生 9 名 春季 2/21～3/7 参加学生 11 名 ・岡山 E S D プロジェクト活動支援助成金を 36 団体に交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山 E S D プロジェクト 2015-2019 基本構想をもとに、今後も E S D 推進協議会を中心として各組織・機関・団体が主体的に取り組むとともに、協働で事業を実施し、地域での E S D 活動の拡大を図っていく。
		進捗状況	

公民館 E S D 活動推進事業[再掲] (教育委員会中央公民館)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館における地域 E S D 活動講座、ワークショップ等の開催 ・ E S D 活動に取り組むアジア地域 C L C (コミュニティ学習センター) との交流の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域 E S D 講座・地域再発見ワールドワークや地域ワークショップを開催 ・課題解決に取り組む公民館活動を共有し、発展させるため、 E S D 公民館プレ大会を開催 ・アジア太平洋地域教育会議での公民館の取組事例の発表、 C L C 関係者との交流 ・インドネシア・パキスタンからの視察団の受入れ (6 公民館) 及び交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアの C L C ネットワーク会議へ参加し、岡山市の取組を紹介する。また、公民館と C L C との連携を深めるためアジアからの視察を受け入れ、住民との意見交換や交流を通じて、お互いの実践を高め合い学び合う交流を促進させる。 	進捗状況	概ね順調
				進捗状況	概ね順調
ユネスコスクール推進事業[再掲] (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外のユネスコスクールや各地域のコンソーシアムとの交流と学校間ネットワークの充実 ・地域との協働による地域の自然環境や歴史等に関わる E S D 活動の推進 ・ E S D 実践の成果と課題の共有を目的とした発表会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・全市立小中学校を対象に E S D に係る研修会を 8 月に実施 ・ユネスコスクール推進校を対象の研修会を年 3 回実施 ・「岡山子ども E S D フォーラム」を 10 月に実施 ・市立学校各校の E S D に係る校内研修会への講師派遣を実施 ・ユネスコスクール推進校が地域とともに行う活動に対する費用助成を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての市立学校において、学校教育基本計画の中に E S D の推進が位置付けられている。しかし、その取組内容は学校によりさまざまであるため、より E S D の取組を浸透させていくことが今後の課題である。 	進捗状況	概ね順調
				進捗状況	概ね順調

施策② 地域における主体的な活動の促進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成 各公民館への地域担当職員の配置 公民館等での地域活動を担う人材の育成につながる講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付（96 学区・地区中 92 学区・地区） 各公民館に地域担当職員を配置し、地域応援人づくり講座の開催による人材育成、地域活動のサポート等を実施（37 全公民館で 151 回開催） 		<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心ネットワーク等地縁組織は高齢化や後継者不足等の課題を抱えていることから、持続可能な組織として、より地域課題の解決ができるよう、若者をはじめとした担い手の育成等必要な支援を行う。
	進捗状況	概ね順調		
電子町内会推進事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 電子町内会システムの講習会や意見交換会、パネル展等による普及啓発 スマートフォンやタブレット端末からの閲覧・更新が可能なシステムの再構築 	<ul style="list-style-type: none"> 講習会の開催 26 回、延べ 266 人が受講 岡山市連合町内会の中にある ICT 推進専門員会と協力し、パネル展を開催 電子町内会システムの構築から 10 年以上が経過していたため、利活用状況に応じたシステムにリニューアル 		<ul style="list-style-type: none"> 新しくなったシステムを多くの町内会に利用していただけるように、より一層の普及啓発に努めていく。
	進捗状況	概ね順調		
住民自治組織育成事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 学区・地区連合町内会の活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市内の 96 学区・地区連合町内会の活動を援助するため、予算の範囲内において補助金を交付 町内会活動の充実や環境の美化等暮らしやすい地域づくりの推進に資するために、1,718 町内会に対し、自治振興報償金の支払い 町内会集会所新築等補助金の交付 新築 3 件、修繕 20 件 		<ul style="list-style-type: none"> 地域の活動が継続的に行われるように支援していく。
	進捗状況	順調		

区づくり推進事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> 各区の区づくり推進事業審査会の審査を経て事業採択を行い、補助金を交付（4区合計83事業） 各区のホームページやフェイスブック等で事業の情報を発信 事例報告等を行うフォーラムを開催（町内会長ら61人が参加） 地域活動のリーダーを養成する講座を開催（町内会長ら23人が参加） 	<ul style="list-style-type: none"> 区づくり推進事業の事例に学び合う機会を増やすなどして、事業件数の増加や内容の充実を図る。
		進捗状況	
コミュニティ推進事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の交流の場となるコミュニティハウスの適正な維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修が必要な11館のうち2館の耐震改修工事を実施、残りの9館は耐震改修設計を実施 コミュニティだよりの発行やコミュニティ協議会会長・事務局長会議における事例発表等活動促進に資する情報を提供 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修の実施等適正な維持管理や活動事例の共有により、コミュニティハウスを拠点とした地域住民の交流をより一層促進する。
		進捗状況	

施策③ 多様な主体による協働の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
ESD・市民協働推進センター運営事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働事業の事業化支援 市民活動のリーダー養成講座や研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体の協働による社会課題解決の取組への支援（相談298件） 市民活動のリーダーを養成する講座を開催（17名が参加） 公民館職員と地域担当職員の研修会を開催（4回） 課題の解決方法を検討するワークショップの開催（4回開催 297名参加） 市民協働推進モデル事業の事業化支援（マッチング25件、協働事業化9件）や伴走支援（モデル事業7件中3件が一般施策化）を実施 	<ul style="list-style-type: none"> センターの認知度を高めるとともに、体制強化を図る。
		進捗状況	

市民協働推進モデル事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市の社会課題を市民と行政の協働で解決するモデル事業への経費の一部助成 市民と行政双方から課題を提案し、解決方法を検討するワークショップの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働推進モデル事業報告会を開催 (121名参加) 平成28年度市民協働推進モデル事業7件実施。そのうち3件は一般施策化 課題の解決方法を検討するワークショップを4回開催 (297名参加) し、協働事業化の支援を行い、平成29年度モデル事業8件とニーズ調査事業1件を採択。 	<ul style="list-style-type: none"> 協働の効果の高いモデル事業の実施を促進するため、ESD・市民協働推進センターによる伴走支援を強化する。また、報告会等を通じて情報を共有し、協働の手法の広がりを図る。
	進捗状況	順調	
市民協働推進専用ウェブサイトの運営 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> NPO、ボランティア、市民協働等に関する市民と行政両方の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア募集、市民活動支援制度、市民協働事業、若者の活動、企業の社会貢献活動等の情報を発信 市民活動団体等の情報を発信 (約600団体の情報を掲載) ページビュー数 (月平均29,899)、ユニークユーザー数 (月平均5,693) 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市民協働に関する市民と行政の情報発信に努めるとともに、利用の促進を図る。
	進捗状況	順調	
協働のまちづくり条例普及・啓発事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体の協働による社会課題解決の取組を促進するためのフォーラムの開催や優れた取組の表彰 協働のまちづくり条例普及のための啓発パンフレットの作成等 	<ul style="list-style-type: none"> 協働推進計画案についての意見を聴くフォーラムを開催 (64名参加) 協働による優れた取組の表彰制度「おこやま協働のまちづくり賞」を創設し、表彰を実施。20の取組の応募があり、1件の大賞と4件の入賞を表彰。表彰式には170名が参加 市民のひろばおこやま特集号「市民協働」を発行 市民協働推進本部を4月に設置。協働推進員を63課に配置、研修を6回実施 協働推進委員会を7月に設置 (6回開催) し、協働推進計画を2月に策定 	<ul style="list-style-type: none"> 優れた取組の表彰、フォーラムの開催、ウェブサイトによる情報発信等により、引き続き、市民への協働の普及・啓発を図る。
	進捗状況	順調	
大学等との連携 (政策局政策企画課)	<ul style="list-style-type: none"> 「おこやま地域発展協議体」をプラットフォームとした市内大学や経済界との各政策分野での連携の推進 大学の知識や技術、経済界の資源・知見をいかした、地域が抱える種々の課題の解決に資する検討・研究 	<ul style="list-style-type: none"> おこやま地域発展協議体の4月発足後、委員会を3回開催し、産官学言が連携して研究等を実施 民間事業者との連携では、地方創生に係る包括連携協定を4事業者と締結 (累計7事業者) 	<ul style="list-style-type: none"> 各民間事業者と定期的に協議の場を設け、包括連携協定の各連携事項の具体化を図る。
	進捗状況	順調	

施策④ 特色ある区づくりの推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
区別計画の推進	<div data-bbox="440 412 1086 479" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto;"> ※取組実績報告（区別計画編）に記載 </div>		
		進捗状況	

政策 18 国際的に開かれた多文化共生のまちづくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
国際交流・国際化について満足している市民の割合（％）	11.1	-	13 (H31)	-	市民協働局
岡山市に住み続けたい外国人市民の割合（％）	83.1	83.8	88	↑	市民協働局
外国人市民への支援や国際理解促進のための交流事業等を行っており、前年度と比較すると微増となっているが、過去5年間で比較するとほぼ横ばいである。					

総括

総合評価

施策① 国際交流の促進とグローバル人材の育成

- ・国際友好交流都市・地域を中心とした交流や子どもの相互派遣等の事業は順調に進み、国際交流の機運の高まりや子どもたちの国際感覚の醸成につながっている。今後も、国際友好交流都市・地域、市民や関係団体との連携を図るとともに、より魅力的な事業を企画しながら、施策を推進していく。（市民協働局）
- ・学校教育における海外の学校との交流は、平成28年度に交流先の学校を新たに1校指定するなど、ユネスコスクールを中心に概ね順調に進んでいる。英語教育については、研究協議会の実施や研修の充実等により、教員及び児童生徒の英語力の向上を図ってきたが、まだ十分とはいえない。英語に触れ、使う機会を増やし、英語力を高める必要がある。（教育委員会）

施策② 多文化共生の環境づくり

- ・岡山市外国人市民会議から提言をいただき、施策や事業の検討に生かしながら、順調に多文化共生の環境づくりを推進している。今後も国籍、民族等の異なる人々が、地域の生活に溶け込み、地域社会の構成員としてともに生きることができるよう地域や関係団体等と協力しながら取り組む必要がある。（市民協働局）

主な事務事業

施策① 国際交流の促進とグローバル人材の育成

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性	
国際交流推進事業 (市民協働局国際課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民や民間の積極的な参加を図りながら、国際友好交流都市・地域を中心とした海外の都市と、教育、文化、防災、医療、経済等の重点分野を絞った国際交流活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【サンノゼ 60 周年準備】 岡山市・サンノゼ市姉妹都市締結 60 周年記念事業実行委員会を立ち上げ、平成 29 年度に実施する各種記念事業を企画・検討 【洛陽 35 周年】 岡山市公式訪問団を洛陽市へ派遣 日中民族音楽演奏会を洛陽市で開催 洛陽市文化財写真展を岡山市で開催 洛陽市文化財視察訪日団が来訪 【富川市】 岡山市民友好親善訪韓団を派遣 【新竹市】 新竹市消防局訪問団が来訪 		<ul style="list-style-type: none"> より多くの市民に参加してもらうため、魅力的な事業となるよう内容を工夫するとともに、情報提供の方法も考えていく必要がある。 	
		進捗状況	順調		
子どもたちに重点を置いた国際理解の促進事業 (市民協働局国際課)	<ul style="list-style-type: none"> 国際友好交流都市の子どもたちのホームステイや、海外子ども派遣事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【サンノゼ・シリコンバレー中高生親善大使ホームステイ受入】 サンノゼ・シリコンバレー中高生親善大使 10 人が来訪。市内の家庭にホームステイし、文化体験や企業・学校訪問を通じて交流。 【国際サマーホームステイ】 洛陽市（中国）10 人、富川市（韓国）10 人、グアム準州（米国）3 人が市内の家庭にホームステイ。市内の小・中学校 5 年生～高校生と交流。 		<ul style="list-style-type: none"> 受入事業、派遣事業とともに市民の関心は高く、継続して事業を実施するためには、国際友好交流都市・地域との連携が不可欠であり、今後も丁寧な連絡調整に努めていく必要がある。 	
		進捗状況	順調		

英語教育推進事業[再掲] (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導力・英語力向上のための校内研修への支援 ・英語教育推進指定校事業の実施による指導方法と教材開発研究の推進 ・小中学校へのALT（外国語指導助手）の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを38人配置 ・英語教育推進者研修講座を受講した中核教員が各校で実施する校内研修へ講師を派遣 ・英語教育推進指定校（小学校1校、中学校1校）を指定し、授業公開及び研究協議会を実施 ・国の動向を踏まえた指導力向上を目指して、文部科学省教科調査官等を招聘しての研修会を10月に実施 ・次期学習指導要領に向けて、先進的な研究成果を広げるため、公開授業研究会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標として設定している生徒の英語力には依然として課題がある。教員・子どもたちとも英語に触れ、使う機会を増やすことにより、子どもたちが身近なことについて外国人とコミュニケーションをとることができる英語力を高める必要がある。
	進捗状況	概ね順調	
次世代育成体験活動促進事業 (おかやまイングリッシュビレッジ事業)[一部再掲] (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人と英語でコミュニケーションをとりながら、外国や日本の文化・生活体験や自然体験活動ができる機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国学園大学・中国短期大学を中心に旧福谷小の地域からも協力をいただきながら、おかやまイングリッシュビレッジ事業を旧福谷小で夏・秋の2回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・おかやまイングリッシュビレッジ事業参加者の満足度は95%であり、今後も市民協働で進める。
	進捗状況	概ね順調	
ユネスコスクール推進事業[再掲] (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外のユネスコスクールや各地域のコンソーシアムとの交流と学校間ネットワークの充実 ・地域との協働による地域の自然環境や歴史等に関わるESD活動の推進 ・ESD実践の成果と課題の共有を目的とした発表会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・全市立小中学校を対象にESDに係る研修会を8月に実施 ・ユネスコスクール推進校を対象の研修会を年3回実施 ・「岡山子どもESDフォーラム」を10月に実施 ・市立学校各校のESDに係る校内研修会への講師派遣を実施 ・ユネスコスクール推進校が地域とともに行う活動に対する費用助成を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての市立学校において、学校教育基本計画の中にESDの推進が位置付けられている。しかし、その取組内容は学校によりさまざまであるため、よりESDの取組を浸透させていくことが今後の課題である。
	進捗状況	概ね順調	

施策② 多文化共生の環境づくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
多文化共生のまちづくりの推進事業 (市民協働局国際課)	<ul style="list-style-type: none"> 行政情報の多言語化とホームページでの情報発信 外国人市民会議の開催及び提言書のとりまとめ 地域・学校・NPO等との協働による外国人市民との交流会の開催や、就学前の子どもたちに対する外国語での絵本の読み聞かせ等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 第4期岡山市外国人市民会議を開催し、岡山市の魅力の発信、教育支援の充実、外国人市民の地域社会への参加促進について審議、市長へ提言書を提出。提言書の内容を本市の施策に反映させるため、庁内で周知を図った。 就学前の子どもたちに対して外国語での絵本の読み聞かせ、小学生に対して学校へ出前講座等を実施 		<ul style="list-style-type: none"> 第5期岡山市外国人市民会議を開催する。 外国人市民が地域の生活に溶け込み、自ら地域活動等に積極的に参加してもらうための施策や事業を考えていく必要がある。
		進捗状況	順調	
日本語指導講師派遣事業[再掲] (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の能力が十分でない外国人児童生徒への日本語指導及び適応指導等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 帰国・外国人児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童生徒29名に対して、日常生活及び教科学習に必要な日本語指導及び適応指導を行うため、日本語指導支援員を473回派遣 		<ul style="list-style-type: none"> 帰国・外国人児童生徒の出身国が多様化しており、帰国・外国人児童生徒の母国語に対応できる日本語支援員の人材の確保が必要である。
		進捗状況	概ね順調	

政策 19 誰もが個性と能力を発揮できる人権尊重の社会づくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
人権問題に関する講演会・研修会などに参加したことがある市民の割合（％）	45.9 (H25)	-	47 (H30)	-	市民協働局

総括

総合評価

施策① 人権意識の高揚

- ・人権フェスティバル岡山でのイベントや展示コーナーの工夫をはじめ、人権研修や講演会等では幅広いテーマを取り扱うことで参加者が増加しており、また、人権啓発活動補助金では交付団体も新たに4団体増えるなど、人権意識の高揚に向けた取組が着実に進んでいる。今後は、LGBTなど性的マイノリティへの差別や偏見など、複雑・多様化する人権課題に対応した取組を進めていく。（市民協働局）
- ・学校教育における人権教育については、研修講座や学校における研修の内容は充実してきており、教職員の資質向上や児童生徒の人権に関する知的理解の深化、人権感覚の育成に向けた取組が概ね順調に進んでいる。（教育委員会）

施策② 平和を大切にする意識の醸成

- ・岡山市平和の日である6月29日に毎年举行している岡山市戦没者追悼式や岡山シティミュージアムで開催をしている岡山戦災の記録と写真展参加者、来場者は遺族の高齢化に伴い減少傾向である。戦争体験者そのものが減少しており、より若い世代へ戦争体験等をどのように継承していくのが今後の課題である。（保健福祉局）

主な事務事業

施策① 人権意識の高揚

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
人権フェスティバル岡山 (市民協働局人権推進課)	・人権フェスティバル岡山の開催	・岡山市、岡山市教育委員会、岡山人権啓発活動ネットワーク協議会、岡山市国際交流協議会の共催で第21回人権フェスティバル岡山を12月4日に岡山ドームで開催（来場者 12,000人）	・人権課題の複雑・多様化に伴い、ステージでのイベントや展示コーナーを工夫していく。
		進捗状況	
人権啓発推進事業 (市民協働局人権推進課)	・憲法週間における啓発イベント、各区等を単位とした講演会、映画会等の実施、企業等の人権研修への講師派遣	・岡山市・岡山市教育委員会の主催で憲法週間を記念した行事等を開催 5/11 市民のつどい（来場者 1,000人） 9/24 ハートフル映画会（来場者 190人） 1/7 ハートフル映画&講演会※人権のまちづくり塾との連携講座（来場者 330人） 10/15、11/6、12/10、1/7 人権のまちづくり塾（参加者計 423人）	・人権課題の複雑・多様化に伴い、講演会・研修会の内容を工夫し、多くの市民の参加を促していく。 ・企業への講師派遣などについては、人権課題が複雑・多様化しているため、幅広いテーマを取り扱っていく必要がある。
		進捗状況	
人権啓発活動補助金 (市民協働局人権推進課)	・人権活動団体が行う啓発事業に対する経費の一部助成	・人権意識の高揚を目的とした団体が創意工夫をこらして行う人権啓発活動 14 団体、17 事業に対して、補助金を交付	・人権課題が複雑・多様化しているため、幅広く人権啓発を行う必要がある。そのため、新たな補助事業者を掘り起こし、様々なテーマを取り扱うことができるよう工夫していく。
		進捗状況	

人権教育推進事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育に関わる教職員の研修や授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園と中学校区の教職員対象の人権教育研修会、児童生徒対象の外部講師による人権学習 311 回に対し、開催支援を実施 ・幼稚園 2 園・小学校 3 校・中学校 2 校に対し、人権教育推進指定事業を実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・研修講座等で担当者や参加者が学んだ内容を学校園の全教職員へ伝達する。
		進捗状況	概ね順調	

施策② 平和を大切にすることを意識の醸成				
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性	
岡山市戦没者追悼式 (保健福祉局福祉援護課)	<ul style="list-style-type: none"> ・戦死者並びに戦災死者の顕彰と哀悼の意を表すための、岡山市主催による無宗教献花方式の戦没者追悼式の挙行 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度岡山市戦没者追悼式 日時：H28. 6. 29 場所：岡山市市民会館 参加規模：1,600 人 (遺族、来賓、その他参加者) 		<ul style="list-style-type: none"> ・遺族関係の参加者は減少傾向。戦没者追悼式そのものは今後も継続するが、より幅広い年齢層が参加できるような工夫が必要である。
		進捗状況	概ね順調	
岡山空襲展示室事業 (保健福祉局福祉援護課)	<ul style="list-style-type: none"> ・戦災資料等の散逸を防ぎ、次世代に平和の尊さを伝えることを目的とした「岡山空襲展示室」を活用した情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山戦災の記録と写真展 日時：H28. 6. 10 ～H28. 6. 30 場所：岡山シティミュージアム 入場者：2,851 人 		<ul style="list-style-type: none"> ・資料展示のあり方について、戦争体験者の減少などに対応し、より若い世代へ戦争体験等をどのように継承していくのかという視点での検討が必要である。
		進捗状況	概ね順調	

政策 20 生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
健康寿命（歳） 上段：男性 下段：女性	71.6 73.4 (H25)	71.6 74.3	72.2 75.3 (H31)	↗	保健福祉局
健康寿命は延伸したが、さらなる延伸をめざして引き続き、保健施策・介護予防施策の実施が必要である。					
生涯現役応援センターに活動希望の登録を行った高齢者数（人）	61	180	660	↗	保健福祉局
事業の積極的なPR活動等により、登録会員は順調に増加している。					

総括

総合評価
<p>施策① 健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命延伸に向けて、地域においては健幸ポイント事業をはじめとして、各地区組織や健康ボランティアと連携しウォーキング大会の開催や市民体操を実施することでの日々の活動量増加を図った。また新たに企業と健康づくりイベントを一緒に取り組むことで企業における健康づくりへの意識向上を図ることができた。（保健福祉局）
<p>施策② いきいきと活躍できる生涯現役社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯現役社会づくりを進めるにあたっては、生涯現役応援センターやシルバー人材センターの取組を通して、高齢者の就労や社会貢献活動の機会拡大を図っている。特に、生涯現役応援センターについては、生涯現役社会の機運醸成のためのシンポジウムの開催や各種セミナー、出張相談会等を開催することにより、同センターに登録して地域で活躍する高齢者の拡大に努めており、登録者は着実に増加している。今後も事業の効果的なPR活動等により、意欲ある高齢者の登録を促進するとともに、幅広い分野の活動先を確保していく必要がある。（保健福祉局）
<p>施策③ 介護予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護予防の推進にあたっては、介護予防センターにおいて、各中学校区での介護予防教室の開催や、オリジナル体操（あっ晴れ！もも太郎体操）の普及を通じた地域活動グループの立ち上げ支援等を積極的に行ったことで、活動グループは現在 190 以上にまで拡大するなど、住民主体の介護予防への取組は広がりをみせている。今後も同センターの専門性を生かし、高齢者の自主的な介護予防活動を促進する必要がある。（保健福祉局）

主な事務事業

施策① 健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
健康ポイント事業(仮称) (保健福祉局保健管理課)	・健康づくり無関心層を含めた多くの市民の健康づくりの取組を促すことを目的とした、歩くことや運動すること等に対してインセンティブを付与する事業の実施	・健幸ポイントプロジェクト参加者数 4,431人 ・1日あたりの平均歩数 参加時：6,468歩 →18ヶ月後：8,620歩	・無関心層を含む多くの市民に対して広げていくことが課題である。
		進捗状況	
桃太郎のまち健康推進応援団 (保健福祉局保健管理課)	・自社の従業員の健康づくりを進める企業や、市が実施する健康づくり関連施策に積極的に参加する企業を増やすなど、市全体の健康づくりの気運を高めることを目的とした事業の実施	・「桃太郎のまち健康推進応援団」登録事業所数 95事業所 ・イベントへの協力 28事業所 ・健康講座への講師派遣 5事業所	・従業員の健康づくりに取り組む企業を拡げていくことが課題である。
		進捗状況	
「健康市民おokayama 21(第2次)」推進事業 (保健福祉局健康づくり課)	・市民との協働による、日常的な運動習慣の推進や栄養・食生活改善、喫煙対策等の健康づくり活動の推進	・「ええとこ発見図(ウォーキングマップ)」を活用したウォーキング大会の企画・実施 77回 4,275人 ・「OKAYAMA!市民体操」の普及 679回 66,896人 ・各地域推進会議体制状況 中学校区：25組織 小学校区：14組織	・推進会議で地域の健康課題を共有し、解決に向けた話し合いを行い、地域特性に応じた普及啓発を行っていく。 ・企業・職域との連携を推進していく。
		進捗状況	
依存症対策推進事業 (保健福祉局こころの健康センター)	・壮年期のアルコール依存症への移行防止を目的とした、企業での依存症予防プログラム出前講座の実施 ・アルコール依存症者の支援や適正な医療連携の確保を図るためのネットワークシステムの構築	・おいしくお酒を飲むための教室 実施回数：16回 参加者数(延べ)：441人 ・アルコール専門研修 実施回数：4回 参加者数：421人 ・ネットワーク会議 実施回数：5回 出席者数(延べ)：55人	・「おいしく飲むお酒の教室」実施事業所の新規開拓を図るとともに、ネットワークの周知、ネットワークのメンバー拡充に努める。
		進捗状況	

自殺予防対策 (ゲートキーパー講習会等普及啓発活動) (保健福祉局健康づくり課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民を対象とした心の健康づくりに関する意識の高揚及び自殺予防について知識の普及啓発を目的としたゲートキーパー講習会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ゲートキーパー講習会 実施回数：4回 受講者数：512名 		<ul style="list-style-type: none"> 講習の対象団体や対象者の拡大を図る。
		進捗状況	概ね順調	

施策② いきいきと活躍できる生涯現役社会づくり			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
生涯現役社会づくり事業 (保健福祉局地域包括ケア推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 生涯現役応援センターにおける高齢者と地域における活躍の場のマッチング支援 退職高齢者の社会参加の動機付けに向けたセミナー等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数 180 人 (H29.3月時点) 各種広報 (市民のひろば、社協だより、山陽新聞 ほか) 生涯現役応援隊の結成 福祉単位の出張相談 10 回 行政区単位のセミナー4 回 全市単位の1周年セミナー1 回 	<ul style="list-style-type: none"> 登録者や、1周年セミナーの参加者は、概ね見込みどおりだったが、今後は、さらなる登録者及び活動先の拡大に向け、事業のPR方法を工夫する必要がある。
		進捗状況	
シルバー人材センター事業 (保健福祉局地域包括ケア推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 会員として登録した高齢者に対する、経験や能力をいかせる、臨時的かつ短期的・補完的な就業機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 経営安定化のための補助金交付 市発注業務のセンター活用 773件 223,046千円 財務の健全化や業務円滑化のための人的支援として嘱託職員1名配置 会員拡大や業務効率化のための技術的助言等 会員数 1,705 人(対前年度 25 人増) 	<ul style="list-style-type: none"> 会員数は最近の数年間はほぼ横ばいの状態が続いており、会員数拡大に向けた取組を推進する必要がある。
		進捗状況	

施策③ 介護予防の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
介護予防センター事業 (保健福祉局地域包括ケア推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の一般高齢者を対象とした、各中学校区での介護予防教室の開催 介護予防体操の普及を通じた地域活動組織の育成支援 	<ul style="list-style-type: none"> 全中学校区で毎月介護予防教室を実施（延べ参加者数：17,181人） オリジナル体操（あっ晴れ！もも太郎体操）の普及及び地域の通いの場の立ち上げへの支援 実施団体 H26年度末 88団体 H27年度末 128団体 H28年度末 177団体	<ul style="list-style-type: none"> 住民主体の体操教室等の通いの場のさらなる拡大が課題であり、センターの強みを生かしたりハ職等による立ち上げ支援を今後も積極的に行う。
		進捗状況	
「健康市民おかやま21（第2次）」推進事業 [再掲] (保健福祉局健康づくり課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民との協働による、日常的な運動習慣の推進や栄養・食生活改善、喫煙対策等の健康づくり活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 「ええとこ発見図（ウォーキングマップ）」を活用したウォーキング大会の企画・実施 77回 4,275人 「OKAYAMA！市民体操」の普及 679回 66,896人 各地域推進会議体制状況 中学校区：25組織 小学校区：14組織 	<ul style="list-style-type: none"> 推進会議で地域の健康課題を共有し、解決に向けた話し合いを行い、地域特性に応じた普及啓発を行っていく。 企業・職域との連携を推進していく。
		進捗状況	
生涯現役社会づくり事業 [再掲] (保健福祉局地域包括ケア推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 生涯現役応援センターにおける高齢者と地域における活躍の場のマッチング支援 退職高齢者の社会参加の動機付けに向けたセミナー等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数 180人（H29.3月時点） 各種広報（市民のひろば、社協だより、山陽新聞 ほか） 生涯現役応援隊の結成 福祉単位の出張相談 10回 行政区単位のセミナー4回 全市単位の1周年セミナー1回 	<ul style="list-style-type: none"> 登録者や、1周年セミナーの参加者は、概ね見込みどおりだったが、今後は、さらなる登録者及び活動先の拡大に向け、事業のPR方法を工夫する必要がある。
		進捗状況	

政策 21 豊富な医療・介護資源をいかした安心の暮らしづくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
かかりつけ医がいる市民（60～80歳代）の割合（％）	63 (H24)	62	70 (H31)	↘	保健福祉局
在宅医療・介護連携推進の取組として在宅基盤の整備や多職種連携に加え、出前講座等により市民への普及啓発を行っているが、意識調査の結果としてはほぼ横ばい（微減）で推移している。					
生活・介護支援サポーター養成数（人）	822	986	1,550	↗	保健福祉局
地域の生活支援の担い手を確保するための事業を実施するとともに、住民同士の支え合いによる地域づくりに向けた機運醸成や活動支援を進めた結果、養成数は順調に増加している。					
認知症サポーター数（人）	28,924	34,298	49,000	↗	保健福祉局
認知症について正しい知識を持ち、認知症を正しく理解することができるよう普及啓発に取り組んでおり、その取組の一つである認知症サポーター養成講座の受講者は、目標に向けて順調に増加している。					

総括

総合評価
<p>施策① 地域包括ケアシステムの構築</p> <p>・団塊の世代が75歳以上となる2025年（H37年）を見据えた、地域包括ケアシステムの構築に向けては、在宅医療と介護の連携、認知症施策、地域住民等の多様な主体が参画して様々なサービスを提供する新しい総合事業の取組などを重点的に進めている。今後についても、今年度中に策定する第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30～32年度）において、中長期的な視点に立ちながら、総合的・体系的な施策展開の方向性を示し、H30年度以降、各種取組を着実に推進していく必要がある。（保健福祉局）</p>
<p>施策② 在宅医療・介護の推進</p> <p>・在宅基盤整備（在宅医療を行う医師、看護師、薬剤師などの人材育成）、多職種連携事業、市民への普及啓発を3本柱に据えて在宅医療・介護連携推進の取組を行ってきたが、市民が実際にかかりつけ医を持つところまでにつなげられていない。今後、地域ごとの特性（課題等を含む）に合わせた在宅医療・介護サービス提供体制のあり方を検討した上で、在宅基盤整備や多職種連携事業に取り組むとともに、引き続き市民への普及啓発を続けることで、指標の底上げを図る。（保健福祉局）</p>
<p>施策③ 認知症対策の推進</p> <p>・認知症サポーターの養成については順調に進捗している。今後は、事業のPR方法を工夫するとともに、認知症サポーター養成講座を受講する機会の拡大を図り、認知症サポーターの養成を推進していく。（保健福祉局）</p>

施策④ 持続可能な保険制度の運営

- ・国民健康保険制度の安定的な運営を目指し、保険料収納率向上や医療費適正化等の保険者努力に取り組んだ。平成30年度からの国民健康保険の財政運営責任主体の都道府県化も視野に入れ、給付と負担のバランスのとれた国保財政の安定的な運営を目指していく。(保健福祉局)
- ・介護保険制度については、認定調査員・介護認定審査会委員等を対象に研修を実施し、要介護認定に関する知識、技能の向上を図っている。また、ケアプランチェック、介護給付実績の縦覧点検及び医療情報との突合、住宅改修等の点検、介護給付費通知等を継続して実施しており、適正な認定及び給付に努めている。介護保険制度を持続可能な制度として、安定的な運営を実現するために、継続的に効率化を図りながら事業を進めていく必要がある。(保健福祉局)

主な事務事業

施策① 地域包括ケアシステムの構築				
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)		今後の課題・方向性
在宅医療介護連携推進事業[再掲] (保健福祉局医療政策推進課)	・地域ケア総合推進センターにおける、市民や専門職を対象とした医療・介護の相談・支援、地域包括支援センターの活動支援及び認知症ケアの推進、在宅医療・介護の人材育成、多職種連携等と情報共有の促進、市民向け講座による普及啓発等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア総合推進センター在宅医療・介護総合相談実績：441件 ・岡山市認定在宅介護対応薬局数：90件 ・多職種意見交換会回数：63回 ・市民向け講座等参加者数：2,276人 		・地域ごとの特性・課題に合わせた在宅医療・介護サービス提供体制のあり方を検討する。
		進捗状況	概ね順調	
生涯現役社会づくり事業[再掲] (保健福祉局地域包括ケア推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯現役応援センターにおける高齢者と地域における活躍の場のマッチング支援 ・退職高齢者の社会参加の動機付けに向けたセミナー等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者数180人(H29.3月時点) ・各種広報(市民のひろば、社協だより、山陽新聞 ほか) ・生涯現役応援隊の結成 ・福祉単位の出張相談10回 ・行政区単位のセミナー4回 ・全市単位の1周年セミナー1回 		・登録者や、1周年セミナーの参加者は、概ね見込みどおりだったが、今後は、さらなる登録者及び活動先の拡大に向け、事業のPR方法を工夫する必要がある。
		進捗状況	順調	
生活・介護支援サポーター養成事業 (保健福祉局地域包括ケア推進課)	・高齢者を地域で支える担い手の養成を目的とした、市民向けの生活介護・支援サポーターの養成研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・養成講座修了者164名(H28年度) ・フォローアップ講座修了者62名 ・H27年度養成講座修了者の活動状況 既存の団体での活動：34名 新たな団体での活動：12名 その他(個人的活動等)：7名 		・引き続き受講者の確保に努めるとともに、講座修了後においても担い手としての地域活動が実践されるよう、必要な支援を行う。
		進捗状況	順調	

認知症サポーター、サポートリーダー等養成事業[再掲] (保健福祉局高齢者福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」の養成 ・認知症の人やその家族への適切なサポート、地域住民に対する自発的な啓発活動及びネットワーク活動の実践ができる「認知症サポートリーダー」の養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人や家族を支援する認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進 ・認知症サポーター養成事業(養成数: 5,374人・累計 34,298人) ・認知症サポートリーダー養成事業(養成数: 55人・累計 142人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターを量的に養成するだけでなく、養成されたサポーターが地域でのやさしい見守り体制づくりを強化するために様々な場面で活躍できるように支援していく。
	進捗状況	順調	
高齢者施設の整備 (保健福祉局高齢者福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業計画に基づく、特別養護老人ホームや認知症対応型共同生活介護(グループホーム)などの日常生活圏域ごとの整備状況等を踏まえた計画的な整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームの整備は平成28年度募集において予定数を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・第7期介護保険計画の策定において、平成30年度～32年度の整備数について検討を行う。
	進捗状況	概ね順調	
地域包括支援センター運営事業 (保健福祉局地域包括ケア推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合相談・支援」、「介護予防ケアマネジメント」、「虐待防止・権利擁護」、「包括的ケアマネジメント」のサービス提供を通じた、地域で暮らす高齢者に対する介護・保健・医療・福祉など様々な面からの総合的な支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に不安のある高齢者やその家族からの総合相談を受付(42,848件) ・利用者の意思を尊重し、利用者の立場に立った介護予防ケアマネジメントを提供(プラン作成件数76,855件) ・高齢者虐待(180件)や、権利擁護・成年後見に適切に対応(156件) ・多職種と連携し、在宅医療・介護の連携、認知症対策等を行い、高齢者一人ひとりの状況に応じた支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑・多様化する高齢者の課題に対応できる地域包括支援センターのあり方について検討していく必要がある(地域包括支援センター体制の充実・強化)。
	進捗状況	順調	

施策② 在宅医療・介護の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
在宅医療介護連携推進事業 (保健福祉局医療政策推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア総合推進センターにおける、市民や専門職を対象とした医療・介護の相談・支援、地域包括支援センターの活動支援及び認知症ケアの推進、在宅医療・介護の人材育成、多職種連携等と情報共有の促進、市民向け講座による普及啓発等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア総合推進センター在宅医療・介護総合相談実績：441件 岡山市認定在宅介護対応薬局数：90件 多職種意見交換会回数：63回 市民向け講座等参加者数：2,276人 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ごとの特性・課題に合わせた在宅医療・介護サービス提供体制のあり方を検討する。
		進捗状況	
在宅介護総合特区推進事業 (保健福祉局医療政策推進課)	<ul style="list-style-type: none"> デイサービス改善インセンティブ事業や介護機器貸与モデル事業、介護予防ポイント事業の実施による、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 【デイサービス改善インセンティブ事業】参加事業所数：164事業所 指標達成事業所数：72事業所 【介護機器貸与モデル事業】延べ利用者数：約490人 介護予防ポイント事業利用者：約80人 	<ul style="list-style-type: none"> 現行の総合特区指定は平成29年度末で終了。今後の取組の方向性を検討する。
		進捗状況	

施策③ 認知症対策の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
認知症初期集中支援チーム (保健福祉局高齢者福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> 医療・介護の専門職で構成する支援チームによる、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族への訪問、必要な医療や介護の導入・調整、家族支援などの初期の支援の包括的・集中的な実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア総合推進センターに認知症支援チームを設置し、支援対象者を支援（支援対象者38人） 	<ul style="list-style-type: none"> 市民への事業PRと支援対象者の早期発見ができる仕組みの検討、地域での医療介護連携、特に認知症サポート医と連携ができる体制を検討する。
		進捗状況	

認知症高齢者見 守り事業 （保健福祉局高 齢者福祉課）	<ul style="list-style-type: none"> ・行方不明になった認知症高齢者の早期発見を目的とした、捜索協力者や捜索協力事業者に対するメールによる捜索協力依頼 ・徘徊により警察に保護された認知症高齢者のうち、身元不明で警察署から老人福祉施設へ保護依頼のあった人の一時的保護 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人の徘徊・見守りSOSネットワークを構築し、行方不明高齢者さがしてメール事業を開始（登録者数：59人・協力者数：1,171件・メール配信数：3件） ・認知症身元不明高齢者の緊急一時保護体制を整備（一時保護数：0件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・行方不明高齢者さがしてメール事業を広く周知し、地域での見守り体制づくりを強化する。
	進捗状況	概ね順調	
認知症サポーター、サポートリーダー等養成事業 （保健福祉局高 齢者福祉課）	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」の養成 ・認知症の人やその家族への適切なサポート、地域住民に対する自発的な啓発活動及びネットワーク活動の実践ができる「認知症サポートリーダー」の養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人や家族を支援する認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進 ・認知症サポーター養成事業（養成数：5,374人・累計34,298人） ・認知症サポートリーダー養成事業（養成数：55人・累計142人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターを量的に養成するだけでなく、養成されたサポーターが地域でのやさしい見守り体制づくりを強化するために様々な場面で活躍できるように支援していく。
	進捗状況	順調	
認知症カフェ等 運営事業 （保健福祉局高 齢者福祉課）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に応じた、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき集うことができる場所の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹型カフェ運営事業者を公募し、6事業者を決定し、各福祉区1ヶ所に基幹型カフェを設置（カフェ設置数：6ヶ所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェを基幹型カフェ（各福祉区1ヶ所）と地域型カフェに機能分化し、開設・運営を広く支援する。 ・地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員と連携を図りながら、カフェ設置数の増加を推進する。
	進捗状況	概ね順調	
市民後見人養成 研修実施事業 （保健福祉局福 祉援護課）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人としての活動が期待できる知識等の習得を目的とした研修の実施 ・研修修了者が活動することにより経験を積み、市民後見人としてのスキルアップできる仕組みづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修実施回数：10回 ・受講済者：48名 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に策定された国の成年後見制度利用促進基本計画も考慮した研修を行う。
	進捗状況	順調	

施策④ 持続可能な保険制度の運営

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)		今後の課題・方向性
国民健康保険財政健全化推進事業 (保健福祉局国保年金課)	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険財政の安定的な運営に向けた、歳出面では効果的な医療費適正化対策、歳入面では収納率向上対策の積極的な推進 	<ul style="list-style-type: none"> 保険料収納率(現年度分) 89.87% 特定健康診査受診率 集計中 		<ul style="list-style-type: none"> 国保財政運営の都道府県化に伴い、決算補填目的の法定外繰入の解消・削減が求められており、そのためにも、保険料収納率の向上や医療費適正化への取組がさらに求められる。
		進捗状況	順調	
要介護認定研修事業 (保健福祉局介護保険課)	<ul style="list-style-type: none"> 認定調査員、介護認定審査会委員及び市職員の要介護認定に関する知識・技能の向上のための研修の実施 要介護認定の資料である主治医意見書を作成する医師を対象とした研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 認定調査員研修：4回(214人) 介護認定審査会委員研修：3回(14人) 主治医研修：2回(102人) 		<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な介護保険制度の構築に向けて、常に効率化を図りながら事業を進めていく。
		進捗状況	順調	
介護給付費適正化事業 (保健福祉局介護保険課)	<ul style="list-style-type: none"> 要介護認定の適正化、ケアプランチェック、介護給付実績の縦覧点検及び医療情報との突合、住宅改修等の点検、介護給付費通知等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 委託先の認定調査員に対する調査表チェック 100% (12,939件) ケアプランチェック 40事業所 (184件) 縦覧点検・医療情報との突合 (6,160件) 住宅改修等の点検 現地確認 (76件) 軽度者に対する対象外種目の福祉用具貸与について、事業者からの居宅介護サービス計画の提出により確認 (185件) 介護給付費通知 (62,253件) 		<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な介護保険制度の構築に向けて、常に効率化を図りながら事業を進めていく。
		進捗状況	順調	

政策 22 ともに生き、ともに支え合う地域社会づくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
障害者の福祉施設から一般就労への移行者数（人）	86	95	120	↗	保健福祉局
就労移行支援事業所の活性化等により、数年の増加傾向と同程度ではあるが基準値から増加している。					
就労支援を行った生活保護受給者数（人）	833	836	860	↗	保健福祉局
ハローワークとの連携や就労準備支援等、対象者の状態に応じた支援が進んだこと等から、対象者数が堅調に増加している。					
就労支援を行った生活困窮者数（人）	144	193	170	↗	保健福祉局
「岡山市寄り添いサポートセンター」の周知が進み、就労に関する相談が増加傾向にあり、その相談に対して、着実に支援を実施していることから、H28年度は、実績値が目標値を上回る成果をあげている。					

総括

総合評価
<p>施策① 障害者の自立支援と社会参加の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者に対する就労支援については、就労移行支援事業所の活性化、関係機関が連携した障害者就労支援等の効果及び岡山市が実施した就職面接会等により、福祉施設から一般就労への移行実績が着実に伸びており、今後は職場への定着に対しても取組を検討していく。また、障害者が地域で安心して生活するための地域生活支援拠点の整備や訪問入浴については、実施に向けて取り組んでいく。（保健福祉局）
<p>施策② 重層的なセーフティネットの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就労支援を行った生活保護受給者と生活困窮者は、着実に増加している。引き続き、生活保護受給者に対する様々な角度からの就労支援を行うことにより、世帯の自立を推進するとともに、生活困窮者に対しては、支援拠点となる「岡山市寄り添いサポートセンター」の周知や関係機関等との連携を進め、就労支援のほか一人ひとりの状況に応じた支援を行う。また、生活保護受給者の健康診査受診を促進するとともに、後発医薬品の使用を促進すること等により、医療扶助の更なる適正化を進める。（保健福祉局）
<p>施策③ 地域福祉の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉を進める中心となる（社福）岡山市社会福祉協議会や（公財）岡山市ふれあい公社は、地域での支え合い活動やふれあいセンターの運営等を行う中で、人材育成にも力を入れている。両団体を始めとする団体等と連携しながら引き続き地域福祉を推進していく。（保健福祉局）

主な事務事業

施策① 障害者の自立支援と社会参加の促進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
障害者就労支援事業 (保健福祉局障害福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者を雇用する企業の開拓、就職面接会、就労支援研修会等による、障害者雇用の促進及び職場への定着の支援 ・雇用者の工賃向上に向けた、障害者就労施設が製作する商品の開発や販路拡大等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職面接会 2 回実施 (7 月、1 月) 就職した障害者数 39 人 ・中小企業課団体との懇談会 3 回実施、就労支援セミナー 3 回実施 ・福祉施設から一般就労への移行者数 95 人 ・働く障害者のための交流拠点 利用登録者累計 92 人のうち離職者 3 人 ・障害者就労施設商品ブラッシュアップ事業対象 3 事業所 	就	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設から一般就労への移行を促進する。 ・一般就労する障害者が増加している中で、職場定着支援の現状を把握し、必要な施策を検討する。 ・障害者を雇用する企業の開拓を促進する。 ・非雇用型の障害者就労支援施設の工賃向上の支援を実施する。
障害者差別の解消の推進 (保健福祉局障害福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉課及び各区役所への手話通訳者配置による、聴覚障害者に対する意思疎通の支援 ・「障害者差別解消支援地域協議会」における、障害を理由とする差別についての事案の共有、解決に向けた協議の実施 ・障害者虐待の防止と早期発見に向けた、障害者虐待防止法の周知及び虐待通報に対する迅速な対応 	進捗状況	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・差別解消のための取組が十分かどうか、必要に応じて協議会等の意見を参考にしつつ検討する必要がある。
		進捗状況	概ね順調	

施策② 重層的なセーフティネットの構築			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
生活困窮者自立 支援事業 (保健福祉局生 活保護・自立支 援課)	・複合的な課題を抱える生活困窮者の自立に向けた、住宅確保や就労準備、家計相談、学習支援等の包括的・継続的な支援の実施	・生活困窮者に対する相談支援の実施 新規相談人数 1,076 人 就労支援人数 193 人	・関係機関等と連携構築を進め、早期の相談支援を推進する。
		進捗状況	
生活保護適正実 施の推進 (保健福祉局生 活保護・自立支 援課)	・就労可能な生活保護受給者に対する、関係機関や事業者との連携による就労支援を通じた能力活用及び世帯の自立の促進 ・生活保護受給者への適正受診指導や、健康面に着目した指導を通じた生活習慣病等の重症化予防及び自立の促進	・生活保護受給者に対する就労支援の実施 就労支援人数 836 人 ・保健師資格を有する嘱託職員の配置 ・保健師による健康管理支援の実施 ・後発医薬品の使用促進（数量ベース使用割合 70.3% H28.6 審査分）	・対象者の状態に応じた就労支援を行い、自立を促進する。 ・生活保護受給者の健康診査の受診者数を増やすとともに、後発医薬品の使用を更に促進する。
		進捗状況	

施策③ 地域福祉の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
地域福祉基盤づ くり事業 (保健福祉局福 祉支援課)	・保健・福祉・生涯学習に関する施策を市民協働で進めていくための拠点である「ふれあいセンター」や「ウェルポートなださき」等の維持管理 ・民生委員・児童委員、社会福祉協議会、(公財)岡山市ふれあい公社等、地域で様々な活動を行う団体への支援	・施設の機能を維持するため、必要な修繕を実施 ・3年に一度の民生委員・児童委員の一斉改選を行い、新任者に対し研修を実施 1回(参加者約300人) ・地域福祉活動の中心となる団体の活動に対し、補助を実施 3件	・岡山市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画を平成32年度までに策定する。
		進捗状況	
生活困窮者自立 支援事業[再掲] (生活保護・自 立支援課)	・複合的な課題を抱える生活困窮者の自立に向けた、住宅確保や就労準備、家計相談、学習支援等の包括的・継続的な支援の実施	・生活困窮者に対する相談支援の実施 新規相談人数 1,076 人 就労支援人数 193 人	・関係機関等と連携構築を進め、早期の相談支援を推進する。
		進捗状況	

政策 23 災害に強く安全・安心な都市基盤の整備

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
下水道浸水重点対策整備率（％）	20	38.4	53	↗	下水道河川局
事業が予定どおり完工し、整備率が向上した。					
住宅・建築物等の耐震化率（％）	83	84	95	↗	都市整備局
上段：住宅	87	88	95		
下段：避難路沿道建築物					
既存建築物の解体や耐震改修、建替等が進み、耐震化率が向上した。					
水道の基幹管路（口径 400 mm 以上）の耐震適合率（％）	41.8	41.9	45.8	↗	水道局
計画に基づき事業を実施し、耐震適合率が向上した。					
市中心部の下水道管きよの老朽化点検率（％）	30	46.5	71	↗	下水道河川局
予定していた老朽管の調査を 21 k m 実施した。					

総括

総合評価
<p>施策① 総合的な浸水対策の推進</p> <p>・浦安排水区、芳田排水区のうち、73.8ha の下水道浸水対策整備が完了し、着実に事業が進んだことで、整備率が 18.4 ポイント増加し、38.4% となった。「岡山市浸水対策の推進に関する条例」を制定し、平成 29 年 4 月に施行したことから、今後はこれに基づいて、市、市民、事業者三者で連携して総合的な浸水対策に取り組んでいく。（下水道河川局）</p>
<p>施策② 市有施設等の耐震化・長寿命化の推進</p> <p>・市有施設等の耐震化・長寿命化の推進のうち民間の建築物の耐震化については、平成 32 年度の目標値に向けて、概ね順調に進んでいる。今後も継続して取り組み、耐震化の向上を図っていく。橋りょう長寿命化に向けた点検については、当初の計画どおり順調に実施することが出来た。今後も点検を着実に進めるとともに、対策が必要な橋りょうについて、優先順位の高い箇所から順次補修を実施していく。（都市整備局）</p>

施策③ 都市施設の安全・安心の確保

- ・都市施設の安全・安心の確保のうち、用水路等の転落防止対策については、危険箇所の一斉点検を町内会等と連携・協力し、実施するなど順調に進捗しており、引き続き優先度が高い箇所から集中的に対策工事を実施していく。市有建築物の耐震化については、計画どおり順調に進捗している。今後は「岡山市公共施設等総合管理計画」と整合を図り、効率的・効果的に耐震化を進める。(都市整備局)

施策④ ライフラインの計画的な整備・管理

- ・水道の基幹管路（口径 400mm 以上）の耐震適合率は、平成 27 年度実績値に対して 0.1 ポイント上昇した。引き続き、大規模災害発生時における被害軽減を図るとともに、将来にわたって安定給水を確保するため、岡山市水道事業総合基本計画（アクアプラン 2017）に基づき、計画的な更新、耐震化に取り組む。(水道局)
- ・下水道の老朽管の点検を 21 km 実施したことで、点検率が 16.5 ポイント増加し、老朽化点検率が 46.5% に向上した。また、管きよの耐震化調査及び処理場、ポンプ場の長寿命化、耐震化工事にも着手したところであり、今後も平準化を図りながら優先順位に基づき順次取り組んでいく。(下水道河川局)

主な事務事業

施策① 総合的な浸水対策の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
浸水対策事業 (下水道河川局 下水道河川計画 課)	<ul style="list-style-type: none"> 旭川や笹ヶ瀬川、砂川等、国や県が管理する河川の改修促進等 浦安、芳田排水区等の雨水きよ及び雨水幹線の継続的な整備 倉安川などの河川改修等の推進 河川・水路等既存施設の活用、可搬式ポンプの配置などによる浸水対策の推進 老朽化した農業用水路、農業用排水機場、ため池等の整備及び管理の強化 公共施設及び民間開発等に係る雨水流出抑制施設の設置の推進 洪水及び内水ハザードマップの普及啓発や土のう袋の配布等 タイムラインによる防災関係機関の横断的連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 国や、県に期成会等により要望活動を実施 国や、県による旭川堤防整備、笹ヶ瀬川、砂川など、河川改修工事及び堤防工事を実施 芳田排水区の雨水幹線整備について概ね完了 浦安排水区の雨水渠は、104mの整備が完了 倉安川の河川改修工事 L=147m整備 水路等の浚渫、用排水路の改修工事等を実施 台風等の浸水被害に備え、緊急時内水排除ポンプの配備を3回実施 浸水対策特別事業により、農業用水路の浚渫及び局所的な改良工事等を実施 雨水流出抑制施設設置の推進等に向けた「岡山市浸水対策の推進に関する条例」を制定 洪水、内水ハザードマップの公表により、公民館等での出前講座を実施し、市民への浸水対策への意識啓発を図った。また、台風接近時に備えた土のう袋の配付等を4回実施した。 旭川水害タイムラインを平成29年3月に完成 		<ul style="list-style-type: none"> 今後実施予定の浦安排水区の浸水対策において、ハード整備は効果が出るまでに時間と経費が必要。このため、関係部局と連携し、局所的な対策も実施ながら、ハード対策、ソフト対策併せて浸水対策に取り組む。 「岡山市浸水対策の推進に関する条例」に基づいて、市、市民、事業者と連携し、雨水流出抑制に積極に取り組む。
	進捗状況	概ね順調		

施策② 市有施設等の耐震化・長寿命化の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)		今後の課題・方向性
橋りょう耐震補強事業 (都市整備局道路港湾管理課)	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路上の橋りょうや鉄道・高速道路等にかかる跨線・跨道橋の耐震補強 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強が必要な橋梁について、詳細設計1橋や補強工事5橋を実施 		<ul style="list-style-type: none"> 財源となる交付金の確保に向け、橋梁耐震補強を予算が手厚く配分される重点計画の対象とするよう、国に対して求めていく。
		進捗状況	概ね順調	
橋りょう長寿命化対策事業 (都市整備局道路港湾管理課)	<ul style="list-style-type: none"> 橋りょうの長寿命化に向けた計画的な点検及び補修・補強 	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市が管理する橋梁のうち、3,452橋について定期点検を実施 長寿命化対策が必要な橋梁について、詳細設計10橋や修繕工事6橋を実施 		<ul style="list-style-type: none"> 定期点検や、長寿命化修繕計画に基づく修繕工事を着実に実施するため、継続的な予算確保に努める。
		進捗状況	概ね順調	
市有建築物の耐震改修事業 (都市整備局公共建築課)	<ul style="list-style-type: none"> 市有建築物における合理的・効率的な耐震化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修設計26棟 耐震改修工事61棟 早急な対応が必要な施設(学校園や避難・防災拠点施設)の耐震化進捗率63.4%(168棟/265棟) 		<ul style="list-style-type: none"> <その他の施設・別途検討施設>の耐震化スケジュールについては、「岡山市公共施設等総合管理計画」に基づく個別施設計画に移行する。
		進捗状況	順調	
住宅・建築物耐震改修等補助事業 (都市整備局建築指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 住宅及びその他の建築物の耐震化のための経費の補助 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断補助事業：計162件 耐震改修補助事業：計13件 耐震化率：住宅84% 避難路沿道建築物88% 		<ul style="list-style-type: none"> 木造住宅の耐震改修補助制度を継続し、耐震化率の向上を図る。 要安全確認計画記載建築物の補強設計、耐震改修の補助制度を創設し、避難路沿道の建築物の耐震化率の向上を図る。
		進捗状況	概ね順調	

施策③ 都市施設の安全・安心の確保			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
用水路等安全対策事業 (都市整備局道路港湾管理課)	・用水路等の危険箇所に対する安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに把握していた61箇所の危険箇所のうち、53箇所について、対策工事を実施 ・用水路等危険箇所の一斉点検を行い、約2,500箇所の危険箇所のうち、緊急に対策を実施すべき48箇所について、対策工事に着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に緊急性が高い約900箇所の危険箇所について、平成30年度までに集中的に対策工事を実施する。
		進捗状況	
道路新設改良事業 (都市整備局道路港湾管理課)	・道路の改修や交通安全施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・道路パトロールや町内会等からの要望等に基づき、防護柵の設置や区画線の補修などの交通安全施設の整備や、道路改修工事を実施 ・路肩整備工事 161件 ・排水路整備工事 102件 ・舗装工事 200件 ・安全施設設置工事 96件 	<ul style="list-style-type: none"> ・区画線等の交通安全施設や舗装面の不具合等を早期に発見し、速やかに対策を実施する。
		進捗状況	

施策④ ライフラインの計画的な整備・管理			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
水道管路耐震化等更新事業 (水道局配水課)	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽管の更新、耐震化 ・災害時に拠点となる施設へ至る管路の耐震化 	<ul style="list-style-type: none"> ・約30kmの老朽管を含む約46kmの水道管を布設・更新 ・災害時に拠点となる5施設への管路を耐震化 	<ul style="list-style-type: none"> ・口径100mm以上の老朽管を重点的に更新する。併せて災害時に拠点となる施設への管路耐震化を推進する。
		進捗状況	
水道施設耐震化等更新事業 (水道局配水課)	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した水道施設の更新、耐震化 	<ul style="list-style-type: none"> ・三野浄水場薬品沈でん池や富山配水場の築造など、基幹となる水道施設の更新、耐震化を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備計画に基づき、本市最大の三野浄水場を中心に更新、耐震化を推進する。
		進捗状況	

下水道管きよの 長寿命化、耐震化 (下水道河川局 下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合地震対策計画の策定 ・管きよの老朽化調査及び対策工事 ・重要路線下の管きよ及びマンホールの調査、耐震工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合地震対策計画の改定に向けた検討 ・管きよの老朽化調査は、21 km実施、対策工事は1.5 kmが完了 ・管路及びマンホールの調査は、6 kmを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続的に総合地震対策計画に沿って事業を実施する。
	進捗状況	順調	
下水道施設(処理場、ポンプ場) の長寿命化、耐震化 (下水道河川局 下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・処理場、ポンプ場の老朽化調査及び改築更新工事 ・旧耐震基準(昭和56年以前)の施設の耐震化や津波対策工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・処理場、ポンプ場の老朽化工事は、旭西排水センター、巖井ポンプ場ほか2ポンプ場の長寿命化工事に着手 ・耐震対策は、旭西排水センターの放流渠(場外)の耐震化工事(2期)に着手。また、岡南ポンプ場の基本設計が完了。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もポンプ場等の長寿命化対策が増加することから、平準化を図るなど、優先順位を決めた上で取り組む。
	進捗状況	概ね順調	

政策 24 地域防災力の強化と消防救急体制の充実

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
自主防災組織率（％）	62.4	63.4	75	↑	危機管理室
地域防災リーダーの育成、防災資機材の支給制度の改善や防災訓練の支援等、自主防災会への支援強化を図ったことにより、自主防災組織率が1ポイント上昇した。今後ともさらなる結成促進を図る。					
住宅用火災警報器の設置率（％）	67.7	70.4	85	↑	消防局
上段：設置率	53.8	58.2	70		
下段：条例適合率					
消防団員及び消防職員による初めての戸別訪問事業、町内会加入の約28万世帯全戸にリーフレット配布事業、その他広報の強化を実施したことにより、設置率は2.7ポイント、適合率は4.4ポイント上昇したが、H28年度目標値である設置率75%、適合率60%には到達できなかったため、今後、市民へのさらなる周知を図っていく。					

総括

総合評価

施策① 地域防災力の強化

- ・ 備蓄の推進、総合防災訓練の実施については、概ね順調に事業が進んでいるが、自主防災会育成事業については結成団体数が低調であり、市民の防災意識の高揚を図る必要がある。（危機管理室）

施策② 消防救急体制の充実強化

- ・ 施設整備、消防車両更新、消防指令システム更新等のハード面においては計画的に具現化している。一方で、住宅用火災警報器の設置推進については、消防職員及び消防団員による戸別訪問指導を実施しているが、目標の達成には至っておらず、市民に対しダイレクトかつシンプルに訴える手段の構築が必要である。また、高齢者対象の救急需要対策についても、効果的な広報手段の検討と、他機関との連携を強化した継続的な取組が必要である。（消防局）

主な事務事業

施策① 地域防災力の強化			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
自主防災会育成 事業 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の結成促進、防災資機材の給付 ・防災まちづくり学校や公民館職員等への防災講習会の開催、男女ともに地域防災リーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会資機材給付（結成）18件 ・自主防災会資機材給付（訓練）178件 ・自主防災会地域防災マップ給付18件 ・防災まちづくり学校受講生55人 ・公民館職員等防災講習会（防災士養成研修）受講生 30人 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の結成数は18件と低調であり、支援制度を改善する等により今後さらに市民の防災意識を高め、結成を促進する必要がある。
		進捗状況	
備蓄の推進 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内備蓄の周知啓発 ・分散備蓄の推進、備蓄物資の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄場所のない小中学校26か所に備蓄倉庫を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄場所のない小中学校への対応を継続して実施する。
		進捗状況	
総合防災訓練等 の実施 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加による避難所運営訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練は台風のため中止 ・水防訓練の実施（H28.6.5 中区沖元百間川河川敷） ・図上訓練は国民保護訓練として実施（H29.1.27 災害対策本部室） 	<ul style="list-style-type: none"> ・4区すべてで住民参加による避難所運営訓練を実施する。
		進捗状況	
岡山市業務継続 計画（BCP） の推進 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害発生時に、非常時優先業務を早期に復旧するための計画（BCP）の継続的な改善 ・大規模災害時に、応援部隊や救援物資を円滑に受け入れるための受援計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・発災後の応急対応を迅速かつ効率的に実施するため、未作成の部署における災害時対応マニュアルの作成を依頼（7月） ・庁内におけるマニュアル作成状況を確認（1月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本地震の対応を参考にするため作業が遅くなったが、業務を早期復旧するために作成した災害時対応マニュアルで訓練を行うことにより、より実践的なマニュアルを作成していく。
		進捗状況	

施策② 消防救急体制の充実強化			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
消防署所適正配置 (消防局消防企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急車両の現場到着時間の短縮を目的とした、市街地における消防力のバランスに配慮した消防署所の適正配置の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 消防サービスの地域間の均衡化を図るため、また、大規模地震発生時でも防災拠点として消防力を最大限に発揮できるよう、2つの出張所を新設更新整備（これにより全ての消防署所が耐震基準を満たした） 北消防署建部出張所 西消防署高松出張所 (旧吉備津出張所) 	<ul style="list-style-type: none"> 時代の要請や環境の変化により、今後も変化し続ける岡山市において、消防サービスの均衡化を進めていく。また、防災拠点としての役割を最大限に果たせるよう、老朽化、経年劣化等を考慮し、計画的に消防署所を整備する。
		進捗状況	
消防団機庫整備 (消防局消防企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時等に地域防災の拠点となる消防団機庫の機能強化と整備 	<ul style="list-style-type: none"> 伊島分団、灘崎第3分団、瀬戸第3分団の3機庫を建築 	<ul style="list-style-type: none"> 機庫整備に係る土地取得について困難が予想され、他の市有施設との合築などについて検討が必要である。
		進捗状況	
消防団装備整備 (消防局消防企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員が災害現場等で活動するために必要不可欠な装備品（防火衣、耐切創性手袋、防火帽、防火長靴）の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 防火衣 167 着、防火帽 200 個、耐切創性手袋 1,600 双、防火長靴 200 足を整備 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の更新予定を考慮し、予算の平準化を図ることが必要である。
		進捗状況	
住宅用火災警報器の設置推進 (消防局予防課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防職員及び消防団員による戸別訪問での設置・維持管理指導 イベントや街頭でのパンフレット配布、地域コミュニティ及び関係業界団体への広報 	<ul style="list-style-type: none"> 2万世帯を対象に消防職員・消防団員が市民の住宅を訪問し、設置及び点検を指導 設置率 2.7%、適合率 4.4%の上昇（消防団員及び消防職員による初めての戸別訪問事業、町内会加入の約 28 万世帯全戸にリーフレット配布事業、その他広報の強化を実施） 平成 28 年度目標：設置率 75%、適合率 60%には到達できず 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度は対象を 3 万世帯に増やし、継続実施する。
		進捗状況	

消防法令違反の 是正推進 (消防局予防課)	<ul style="list-style-type: none"> 立入検査により覚知した違反対象物のうち、放置することにより特に人命危険度が高い対象物の是正指導と違反の改修 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度違反対象の残数 386 (目標 400) にし、28 年度の目標は達成 立入検査による新たに確認した重大違反対象物は並行して是正指導を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 危険度を重視した優先順位をつけ、計画的に実施する。
	進捗状況	順調	
住宅防火対策推進 (消防局予防課)	<ul style="list-style-type: none"> 住宅火災の怖さを伝える資料の作成と公開、保存版火災予防パンフレットの作成と配布 市民による初期消火訓練、通報訓練を実践的に行うための訓練資器材の充実 火災調査専用車両の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の基礎教養を実施 各消防署で講習 13 回対象 200 人 岡山ガスでのガス機器に関する講習会へ参加 3 回 延べ 23 人 火災調査書作成に関する資料を作成し各署へ配布 火災調査書(紙)から発生原因、延焼拡大要因、人の行為などの文字情報を文字データ化(300件実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 早期に訓練機器等の導入を行う。 火災調査書に裏付けされた火災になった原因や人の行為の分析結果により、わかりやすい市民広報を行う。
	進捗状況	順調	
消防車両更新 (消防局警防課)	<ul style="list-style-type: none"> 常備、非常備消防が保有する車両の更新整備、適切な出動体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 常備車両 6 台(指揮支援車 1 台、救急車 1 台、ポンプ車 1 台、タンク車 1 台、救助工作車 1 台、小型化学車 1 台)、非常備車両 8 台(ポンプ車 2 台、可搬積載車 3 台、軽可搬積載車 3 台)を更新 	<ul style="list-style-type: none"> 各種災害への対応力を強化するため、消防車両等更新計画に基づき、順次車両を更新する(現有:常備車両 113 台、非常備車両 173 台)。 車両の状態等を総合的に勘案して情勢に合わせた計画的な更新を図る。
	進捗状況	順調	
消防ヘリコプター 操縦士養成 (消防局警防課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防ヘリコプター操縦士の計画的な採用と訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 操縦士採用選考試験を実施し、1 名を採用 平成 28 年 9 月合格発表 平成 29 年 4 月 1 日採用 	<ul style="list-style-type: none"> 消防ヘリコプター機長認定基準を踏まえ、採用操縦士に養成計画を作成し、効率的な訓練を実施する。
	進捗状況	順調	

救急救命士養成・教育 (消防局救急課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民病院の救急救命室における、救急救命士の再教育病院実習の充実強化や長期病院実習の継続実施、救急救命士の教育指導を行う指導救命士の養成 拡大した救急救命処置を実施できる認定救命士の計画的な養成 救急活動のレベルアップに向けた、救急救命士以外の救急隊員教育の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 処置拡大認定救急救命士 35 名を養成 再教育病院実習では、80 名の救急救命士に対して指導救命士が統一したカリキュラムの下、指導を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 指導救命士が少なく指導者に対する負担が生じている。また、教育内容は、医学の現状に合致したカリキュラムに各年で計画的に更新して行く必要がある。
高齢者対象の救急需要対策 (消防局救急課)	<ul style="list-style-type: none"> 熱中症と転倒・転落による事故を重点対象事案とした、高齢者施設での出前講座 消防音楽隊による高齢者施設訪問（予防救急広報コンサート） 予防救急ポスター及びチラシの作成配布、ラジオ、テレビ及び広報誌による広報 	<ul style="list-style-type: none"> 一般負傷に占める割合が多い転倒・転落及び熱中症を重点的に、バス車両へのポスター掲示や音楽隊とのコンサート等により広報。搬送者数は減少していないが、増加率については、転倒・転落は 7.4%から 4.4%、熱中症は 56.7%から 19.2%に減少。 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な広報手段（媒体等）を検討しながら、継続的に取り組む必要がある。 予防救急の認知度を調査し、取組が伝わっているか把握する必要がある。
消防指令システム更新整備 (消防局情報指令課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防指令システムの適時・適切な更新、維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> 安定したシステム運用を図るため、点検・障害報告等を含めた保守を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 機器の老朽化等を考慮し、平成 29 年度にコンピュータ系機器の更新整備を実施する。
消防・救急無線更新整備 (消防局情報指令課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急無線の適時・適切な更新、維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> 安定した設備運用を図るため、点検等を含めた保守を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 当設備の故障率や他都市の動向を注視し、設備の更新時期を考慮する。

政策 25 安全・安心な市民生活の確保

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
安全・安心な地域社会と感じる市民の割合（％）	82	-	86 (H31)	-	市民生活局
刑法犯認知件数（件）	7,186	6,293	5,500	↗	市民生活局

様々な防犯啓発を通して地域防犯意識が浸透したこと等により、前年に比べ1割以上の減少となり、目標値に順調に近づいている。

総括

総合評価

施策① 地域防犯力の強化と交通安全対策の推進

・安全・安心な地域社会を構築するため、各種事業施策を展開しており、刑法犯認知件数は平成28年度において着実に減少している。地域防犯ボランティア支援事業は、地域に密着した講座や指導を行い、次第に効果を上げつつある。また特殊詐欺等被害対策電話機設置支援事業は、高齢者世帯への特殊詐欺被害の一定の抑止に繋がっており、今後より効果的な成果が得られるよう改善を図りつつ、交通安全施策等その他事業も含め、着実に継続実施していく。（市民生活局）

施策② 消費生活の安全・安心の確保

・自立した消費者を育成するため、従来からの地域における消費生活出前講座の開催に加え、平成28年度から新たに消費者教育推進員を配置し、学校園向けの消費者教育出前講座を実施した。また、既存の安全・安心ネットワークの枠組みを活用し、県下に先駆け消費者安全法に基づく消費者安全確保地域協議会の立ち上げを支援する等、地域における見守り力の向上に努めており、引き続き、消費生活の安全・安心の確保のため消費者教育の担い手の育成を推進していく。（市民生活局）

主な事務事業

施策① 地域防犯力の強化と交通安全対策の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
地域防犯ボランティア支援事業 (市民生活局生活安全課)	・地域防犯ボランティア活動の活性化及び地域の防犯意識向上を目的とした、地域防犯ボランティアへの講習、啓発、防犯講座等の実施	・防犯講座 31 回 ・地域での現地指導 63 回	・地域防犯ボランティア団体の活動状況の把握を行い、必要な支援を行っていく。
		進捗状況	
防犯灯設置支援事業 (市民生活局生活安全課)	・町内会が新たに設置する防犯灯の取付け費用の一部助成等	・通学路防犯灯設置数（市設置）60 灯 ・防犯灯設置費補助数（町内会設置）611 灯	・町内会への防犯灯の設置支援及び町内会の設置要望に基づく通学路防犯灯の設置を行っていく。
		進捗状況	
特殊詐欺等被害対策電話機設置支援事業 (市民生活局生活安全課)	・市内の 65 歳以上の高齢者のみの世帯を対象とした、特殊詐欺等被害防止機能付き電話機の購入費用の一部助成の実施	・電話機の設置台数 123 台	・町内会等の協力を得ながら、広報を幅広く行っていく。
		進捗状況	
交通安全対策事業 (市民生活局生活安全課)	・春秋の交通安全運動期間を中心とした街頭啓発活動や保育園・幼稚園・小中学校における交通安全教室等の実施	・交通安全フェア実施（H28.9.24） 来場者数約 1,100 人 ・交通安全教室（幼稚園）492 回 〃（小中学校）105 回	・警察や地域関係団体との連携を図り、交通事故発生件数の減少に繋がるよう啓発や各種行事を行っていく。
		進捗状況	
自転車安全運転免許証交付事業 (市民生活局生活安全課)	・交通安全教室における自転車実技講習の実施及び自転車に本格的に乗り始める小学 4 年生から 6 年生への自転車安全運転免許証の交付	・72 校において実施	・実技講習について、今後より多くの児童が受講できるよう体制を整えていく。
		進捗状況	

施策② 消費生活の安全・安心の確保

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
消費者教育推進事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活センターの機能強化に向けた相談員の能力強化や事例検討会の充実等 ・消費者の視点に立った事業者向けの研修会の実施 ・学校と連携した消費者教育、消費者団体等との連携強化による消費者教育の担い手育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座 115 回 ・夏休み計量講座（小学校）18 回 ・消費者教育研修講座（高校生）2 回 ・消費生活講演会 3 回（5 月、11 月、2 月） ・相談員の専門研修参加 5 回、専門家との事例検討会実施 2 回 ・消費者トラブルの事例やイベント情報を市広報紙やホームページ、メールマガジンなどで情報提供（随時） ・地域の見守り力強化に向けた協議会の立ち上げ（消費者安全法に基づく消費者安全確保地域協議会）1 団体 ・センターに寄せられた未成年者の事例を小・中学校に情報提供（毎月） 		・消費者教育推進計画を本年度中に策定し、SNS等の様々な媒体を活用し、迅速な情報発信を行うとともに、消費者教育の担い手の育成を推進し、様々な場で消費者教育を受けることができる環境を整備していく。
		進捗状況	順調	

政策 26 岡山から広げる地域に根ざした環境づくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
ホタルの生息地（地点）	200	-	200 (H31)	-	環境局
多様な主体による自然体験プログラム開催数（回）	420	422	450	↗	環境局
<p>生物多様性についての啓発事業を開催したこともあり、多様な主体が前年度並みにプログラムを実施しているが、さらなるプログラムの活発化に向け、仕組みや支援方法の検討・構築、取組団体の連携促進を図っていく。</p>					
美化推進重点区域内のごみのポイ捨て数（1主要通り当たりの1日平均）（個）	106	106	100	→	環境局
<p>美化推進重点区域でのごみのポイ捨てを減少させるため、巡回指導や広報・啓発を行っているが基準値からほぼ横ばいで推移しており、なお一層の広報・啓発を推進していく。</p>					

総括

総合評価

施策① 生物多様性の保全と環境との共生

・平成 29 年 3 月に「岡山市生物多様性地域戦略」を策定した。平成 29 年度以降、戦略の周知を図るとともに、戦略記載の重点プロジェクトを中心に、身近な生きものの里事業や環境教育推進事業等の他事業とも関連させながら、総合的・計画的に生物多様性の保全と活用に係る取組を推進していく。環境影響評価制度については、平成 28 年度に基本的な事項について整理・検討を行ったので、今後関係機関と丁寧な調整を行い、大規模な開発事業と生活環境・自然環境との調和が図れ、かつ、本市の地域特性に応じた制度の設計・導入を目指す。（環境局）

施策② 環境教育・学習の推進

・いきものいろいろ交流プロジェクト事業については、夏休みに「いきものフェスタ」を開催し、多数の来場者に対して、生物多様性に関する市民理解の向上を図った。水辺教室等の環境教育活動については、多様な主体が積極的に実施しているが、さらなるプログラム活発化に向けて、仕組みや支援方法の検討・構築、取組団体の連携促進等を図っていく。（環境局）

施策③ 市民、事業者との協働による美しく快適なまちづくり

・美化推進重点区域でのごみのポイ捨て数の減少対策については、巡回指導を行うとともに路面標示や看板設置、啓発用ティッシュの配布等の広報・啓発を行っているが、今後さらに広報・啓発していく必要があ

る。(環境局)

主な事務事業

施策① 生物多様性の保全と環境との共生				
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
生物多様性地域 戦略策定推進事業 (環境局環境保全課)	・生物多様性保全の方向性を示す「岡山市生物多様性地域戦略」の策定及び戦略に基づく多様な主体と連携した保全活動の推進	・タウンミーティング等での市民意見を取り入れ、平成 29 年 3 月に「岡山市生物多様性地域戦略」を策定		・戦略に基づく生物多様性の保全と活用に係る取組を促進するための効果的な仕組みの構築を進める。
		進捗状況	概ね順調	
身近な生きもの の里事業 (環境局環境保全課)	・地域住民等が身近な野生生物をシンボルにして主体的に生物多様性の保全活動を行っている地域について、「身近な生きものの里」として認定する活動への支援	・既存の 14 認定団体に対して、保全活動に対する謝礼や資材提供などの活動支援を実施		・既存の里の担い手高齢化に対処するため、支援策の検討・実施、及び新規の里の発掘・育成・認定を進める。
		進捗状況	概ね順調	
ホタル調査および希少種保護事業 (環境局環境保全課)	・市民参加によるホタル調査(隔年事業)及び保護団体と連携した希少種保護事業	・ホタル調査は未実施。アユモドキ、スイゲンゼニタナゴ等の希少種について、保護団体と連携して保護活動を 3 回実施。		・引き続き、ホタルを含む希少種の生息環境の保全を図る。
		進捗状況	概ね順調	
開発事業に対する環境配慮の推進 (環境局環境保全課)	・一定規模以上の開発事業に対する、「共生地区環境配慮届出制度」や「環境影響評価制度の導入」を通じた、岡山市の地域特性に応じた環境配慮の推進	・環境影響評価制度について、業務委託を行い、先進事例や関係資料の収集、制度に係る基本的な事項の整理・検討を実施		・岡山市の地域特性に応じた環境影響評価制度の構築・導入を進める。
		進捗状況	概ね順調	

大気保全対策事業、水質保全対策事業 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・大気や水質等の常時監視の継続、法令排出規制基準の適合調査の実施、未規制化学物質の調査の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・規制基準遵守状況検査（大気 5 地点、騒音・振動 24 地点、悪臭 1 地点、水質 224 地点） ・環境基準常時監視（大気及び気象測定局 14 地点、自動車騒音 22 地点、有害大気汚染物質 6 地点、ダイオキシン類（大気）3 地点、公共用水域水質 76 地点、地下水質 8 地点、ダイオキシン類（水質）24 地点） ・悪臭の地域拡大に向けた調査(7 地点) ・化学物質リスクコミュニケーションの環境保全協定への取り込み(4 事業所) ・土壌汚染指定区域内作業の現地確認(11 件) ・児島湖流域水質保全活動に対する支援(15 件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌汚染対策法の改正により調査件数の増大が見込まれているため、執行体制の強化について検討を要する。
	進捗状況	概ね順調	

施策② 環境教育・学習の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
いきものいろいろ交流プロジェクト事業 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然体験プログラムの実施 ・生物多様性の保全と活用に関する「仕組み」と「担い手」づくりの実施 ・「身近な生きものの里」認定の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・足守水辺教室などの自然体験プログラム(3 回、総参加者 159 人)を実施 ・「いきものフェスタ」(8/23～27 来場者約 10,000 人)を開催し、生物多様性に関する担い手づくりを推進 ・身近な生きものの里の新規認定は無 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の保全と活用に係る取組を促進するための効果的な仕組みと担い手づくりを進める。
	進捗状況	概ね順調	
水辺教室等の環境教育推進事業 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や生物多様性についての意識向上を目的とした、多様な主体が行う水辺等での環境教育に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・足守水辺教室(8/5、参加者 91 人)を実施したほか、公民館やNPO等が行う水辺教室等の環境教育事業に対して、講師派遣や資材貸与等の支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体による自然体験プログラムの更なる充実を目指しての仕組み・支援方法を検討し実施する。
	進捗状況	概ね順調	

環境パートナーシップ事業<エコボランティア活動> (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で自発的に環境を保全・創造する活動を実践する市民や団体等に対する、「エコボランティア」としての位置づけ及び活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録団体に資材貸与を行い活動支援。 年 2 回、活動紹介等を掲載したニュースレターを発行し、環境保全活動の促進・啓発		<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体数が横ばい傾向であるため、なお一層の広報・啓発を推進する。
		進捗状況	概ね順調	

施策③ 市民、事業者との協働による美しく快適なまちづくり			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
環境美化推進事業 (環境局環境事業課)	<ul style="list-style-type: none"> ・美化推進重点区域・路上喫煙制限区域での巡回指導や広報・啓発活動 ・一斉清掃など美化イベントの実施や地域での美化活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導や広報・啓発を実施したほか、一斉清掃等の美化イベントを 14 回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定喫煙場所の位置及び構造について、受動喫煙防止の観点から対策に取り組む必要がある。
		進捗状況	

政策 27 低炭素型の環境にやさしいまちづくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
温室効果ガス排出量（千 t - CO ₂ ）	6,476 (H25)	6,270 (H26 暫定)	6,000 (H30)	↗	環境局
前年度に比べ、夏季の冷房需要の減少に伴う電力使用量の減少及び中国電力の火力発電量の減少に伴う排出係数の低減により、平成 26 年度の暫定値は、平成 25 年度の実績値に対し 3.2%減少している。					
環境にやさしいライフスタイルの実践度（%）	46	—	56 (H31)	—	環境局

総括

総合評価

施策① 再生可能エネルギーの活用と省エネルギー化の促進

- 平成 28 年度には、5 月に閣議決定された地球温暖化対策計画も踏まえて、「岡山市地球温暖化対策実行計画」を改訂し、2030 年度に 2013 年度比で 26%の温室効果ガス削減を目標として設定した。また、平成 28 年 6 月に改訂した「岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、温室効果ガス削減目標を重要業績指標として設定した。目標の達成に向けて、徹底した省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの最大限の導入など地球温暖化の防止に向けて取り組む。（環境局）

施策② 環境にやさしいライフスタイルへの転換

- 環境負荷の低減に向けて、岡山市地球温暖化対策実行計画に基づき、クールビズ・ウォームビズの普及促進など、温暖化防止に向けた各種啓発活動等を実施しており、概ね順調に進捗している。今後も、国民運動「COOL CHOICE」と連動し、市民・事業者一人ひとりが常に環境負荷の低減に配慮したライフスタイル、ビジネススタイルを選択する”賢い選択”を無理なく実施できる低炭素社会を市民と協働で構築する。（環境局）
- 環境にやさしいライフスタイルへの転換を図るため、公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築、並びに自転車先進都市の実現に向けた各種施策を展開しており、今後も引き続きこれらの取組を進めていく。（都市整備局）

主な事務事業

施策① 再生可能エネルギーの活用と省エネルギー化の促進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
地球温暖化対策事業 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・徹底した省エネルギーの推進 ・再生可能エネルギーの最大限の導入 ・電気自動車等の普及促進 ・次世代エネルギー導入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市地球温暖化対策実行計画改訂 ・スマートエネルギー導入事業の推進 (太陽光発電設備等 1,801 件) ・市有施設への太陽光発電設備の導入 (H28 年度末 94 施設) ・公用自動車として電気自動車の導入 (H28 年度末 28 台) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「水素社会の構築」に向けた施策の創設・拡充を図る。 ・スマートコミュニティ構築に向けた調査・検討を行う。
		進捗状況	
バイオ燃料地域利用事業 (環境局産業廃棄物対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオディーゼル燃料（BDF）の普及促進、啓発事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディラッピングバスの運行による、廃食用油使用拡大及び廃食用油回収の普及啓発の実施 ・夏休みこどもエコツアーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市有車両が減少し BDF 使用量の増加が伸び悩み状態。使用量増加に向け、車両用燃料以外の、他用途での使用促進を図る。
		進捗状況	

施策② 環境にやさしいライフスタイルへの転換

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
温暖化防止に向けた意識改革と行動喚起 (環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・温暖化の防止に向けた実践を促す重層的・波動的な広報の実施 ・ノーマイカーデーの推進 ・ライトダウンキャンペーンやエコドライブ講習等による意識の転換 ・環境負荷低減に向けた市民の継続的な取組への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市地球温暖化対策実行計画改訂 ・クールビズ・ウォームビズの普及促進 ・ノーマイカーデーの実施 (2 回実施、削減通勤距離 9,877km) ・ライトダウンキャンペーンの実施 (7/7 来場者約 500 人) ・エコドライブ講習会の開催 (3 回実施、参加人数 38 人) ・グリーンカンパニー活動の支援 (H28 年度末 564 団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例的で限定的となっている啓発活動を、新たな手法も検討し、より一層の情報発信を図る。
		進捗状況	

人と環境にやさしい交通ネットワークの構築 [一部再掲] (都市整備局交通政策課)	・「政策 6 人と環境にやさしい交通ネットワークの構築」の施策①～施策③の主な事務事業が該当 ※P 54～58 参照		
		進捗状況	概ね順調

政策 28 みんなで進める循環型社会の構築

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
ごみの資源化率（％）	22.7	27.2	28	↑	環境局
資源化に向けた指導・啓発活動や民間事業者による資源化物量を算入することで、目標値に向けて着実に増加している。					
市民1人1日当たりのごみ排出量（g）	837	828	809	↑	環境局
ごみの分別や資源化に向けた啓発活動により、目標値に向けて着実に減少している。					
汚水処理人口普及率（％）	80.9	81.9	85	↑	環境局 下水道河川局
下水道整備事業（整備面積87ha）及び合併処理浄化槽設置補助金事業の円滑な履行により、目標値に向けて着実に増加している。					

総括

総合評価
<p>施策① ごみの減量化とリサイクルの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみの資源化については、民間事業者による資源化物量の算入、ごみの分別の徹底と資源化に向けた指導・啓発活動や資源回収団体への補助、中間処理施設における資源化の推進等に取り組んでおり、概ね順調に進捗している。今後も引き続き、ごみの分別や資源化に向けた啓発活動等を推進していく。（環境局）
<p>施策② 廃棄物の適正処理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の適正処理を推進するため、最終処分場からの放流水質等に関する検査や、必要に応じた指導、また、スカイパトロール等による不法投棄等対策を着実に実施した。今後も引き続き各事業を推進し、監視体制を確保することで、不適正処理の未然防止や早期発見に努めていく。（環境局）
<p>施策③ 総合的な汚水処理対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度から単独処理浄化槽及び汲み取り便所からの転換に対する補助金の上乗せを実施した効果もあり、合併処理浄化槽設置の補助金交付基数が増加している。今後も引き続き効果を検証するとともに、普及啓発を推進していく。（環境局） 下水道事業は、整備面積87haを整備するなど着実に進んでおり、下水道処理人口普及率は0.6ポイント増加し、66.1%となった。また、合併処理浄化槽の設置が進んだこともあり、汚水処理人口普及率は1ポイント増加し、結果汚水処理の普及率が81.9%に向上した。今後も引き続きアクションプランに基づき、平成28年度から概ね10年程度での概成に向けて取り組んでいく。（下水道河川局）

主な事務事業

施策① ごみの減量化とリサイクルの推進				
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)		今後の課題・方向性
資源循環指導・啓発事業 (環境局環境事業課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民、事業者の4Rに対する意識・行動改革を促す情報提供や、分別アプリ・講座等による普及啓発 排出されたごみの組成分析による資源化物の混入割合の調査 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別の徹底と資源化が行われるよう指導・啓発を実施 講座開催数 115回 ごみ分別アプリ導入(ダウンロード数 10,410件) 家庭ごみ組成分析調査 食品ロスパンフレット作成 		<ul style="list-style-type: none"> 市民・事業者が4R活動に積極的に携わるための必要な動機付けとして、広報・啓発による意識の向上を図る。
		進捗状況	概ね順調	
減量化・資源化対策事業 (環境局環境事業課)	<ul style="list-style-type: none"> 資源回収活動を行う団体への支援や生ごみ削減活動の促進、資源化物の拠点回収の実施 事業系ごみガイドブックの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの排出抑制や分別の徹底と資源化が行われるよう支援制度を実施 資源回収推進団体報奨金 952団体 ごみステーション等整備費補助 181件 生ごみ処理容器購入補助 173件 ダンボールコンポスト無償配布 1,100個 		<ul style="list-style-type: none"> 家庭系ごみの生ごみと事業系ごみの紙類・生ごみ減量対策の強化に取り組む。
		進捗状況	概ね順調	
中間処理施設での資源化推進 (環境局環境施設課)	<ul style="list-style-type: none"> 焼却施設から排出される焼却残さのセメント原料としての資源化 	<ul style="list-style-type: none"> 埋立量の減量化に向け、これまでセメント原料化を行っていた当新田環境センター、岡南環境センターに加え、平成28年度から、東部クリーンセンターにおいてもセメント原料化を開始 実績：平成28年度 10,971トン (平成27年度 9,430トン) 		<ul style="list-style-type: none"> さらなるごみの減量化と資源化を図るため、廃棄物処理の技術革新の動向を注視しつつ、費用対効果を検証しながら最終処分場の延命化と中間処理施設の施設整備を推進する。
		進捗状況	概ね順調	

施策② 廃棄物の適正処理の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
ごみ処理体制の 効率化 (環境局環境施 設課)	<ul style="list-style-type: none"> 「岡山ブロックごみ処理広域化基本計画」に基づく、岡南環境センター、玉野市東清掃センター、岡山市久米南町衛生施設組合クリーンセンターを統合した広域的な焼却施設の平成37年度の稼働に向けた整備 	<ul style="list-style-type: none"> 玉野市、久米南町との間におけるごみ処理に関する規約について各市町で議決 委託事務の経費の負担方法を定めた協定書を締結 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29, 30 年度で広域処理施設建設候補地の選定を行い、その後、地元説明、施設整備計画策定、環境アセスメントを行い、平成 37 年度の稼働開始を目指す。
		進捗状況	
産業廃棄物対策 事業 (環境局産業廃 棄物対策課)	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の最終処分場からの放流水質や、同焼却施設の排ガス中のダイオキシン類濃度等に関する行政検査の実施 産業廃棄物の処理施設の設置者等に対する必要な指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度行政検査実施件数 最終処分場放流水等 15 事業場 ダイオキシン類検査 2 事業場 	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の保全を図るため、引き続き実施する。
		進捗状況	
産業廃棄物不法 投棄等対策事業 (環境局産業廃 棄物対策課)	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理事案の未然防止及び早期対応 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度スカイパトロール実施件数 11 回 産業廃棄物監視班による事業所等立入件数 8,034 件 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度と同様に引き続き実施する。
		進捗状況	

施策③ 総合的な汚水処理対策の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
下水道整備事業 (下水道河川局 下水道河川計画 課)	<ul style="list-style-type: none"> アクションプランに基づく公共下水道の概ね10年程度での重点的な整備 	<ul style="list-style-type: none"> 整備面積 87ha 下水道処理人口普及率 66.1% (0.6ポイント増加) 	<ul style="list-style-type: none"> アクションプランに基づく公共下水道の平成 28 年度から概ね 10 年程度での重点的な整備を引き続き実施する。
		進捗状況	

合併処理浄化槽 設置補助金事業 (環境局環境保 全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備計画の無い地域や下水道整備計画の予定が当面無い地域における、自宅に合併処理浄化槽を設置する個人に対する補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度から、単独処理浄化槽及び汲み取り便所からの転換に対し、補助金を上乗せして合併処理浄化槽の設置を促進 ・補助金交付基数：938 基 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度から平成 32 年度までの間に補助金交付基数 5,500 基を目指す。
		進捗状況	
し尿処理施設の 整備・効率化 (環境局環境施 設課)	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した設備の改修や機能更新等 ・設備の小型化・効率化を図るための公共下水道への接続 	<ul style="list-style-type: none"> ・一宮浄化センター施設改修工事について実施設計を行うとともに、機器製作及び仮設工事を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設撤去後の跡地整備と改修工事関連の地元要望に関する調整が必要である。 ・埋設物等の調査確認作業に不測の日数を要したため、今後の工程の調整が必要である。
		進捗状況	
汚水処理施設の 効率化 (下水道河川局 下水道河川計画 課)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道や農業集落排水の処理場の統廃合の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・芳賀佐山浄化センターの統廃合に向け、幹線工事 L=0.7 km を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道や農業集落排水施設の統廃合に伴う跡地の有効活用が課題である。
		進捗状況	

政策 29 分権・人口減少社会を踏まえた行政の推進

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
岡山市に住み続けたいと考える市民の割合（％）	79.2	-	85 (H31)	-	政策局

総括

総合評価

施策① 地方創生の推進

・「岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進については、平成 29 年 6 月 1 日時点での K P I（重要業績指標）の最新数値の約 7 割が前年度より上昇しており、順調に進捗していると考えられる。また、平成 28 年度において、地方創生推進交付金や地方創生応援税制を活用する事業について国からの認定を受けており、今後もこうした財源を活用して、着実に地方創生を推進していく。（政策局）

施策② 圏域をリードする広域連携の推進

・広域連携の推進については、平成 28 年度に連携協約の締結、岡山連携中枢都市圏ビジョンの策定を行い、岡山市を中心都市とする岡山連携中枢都市圏（8 市 5 町）を形成した。今年度からは、ビジョンに基づく各連携施策を推進していく。（政策局）

施策③ 大都市制度の推進

・大都市制度の推進については、指定都市間での協議を通じて、国への各種提言活動を行っており、継続して取り組んでいく。（政策局）

主な事務事業

施策① 地方創生の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進 (政策局政策企画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年度実施する総合戦略掲載事業等の効果検証 ・ 国の「地方創生推進交付金」や民間企業の参画を促す「地方創生応援税制」等を活用した地方創生の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、新たな事業の追加等による一部改訂(6月)及び、各施策の評価・検証(8月～9月) ・ 地方創生に係る財源の活用 <ul style="list-style-type: none"> 地方創生加速化交付金事業の実施(1件) 地方創生推進交付金事業の国認定及び実施(2件) 地方創生応援税制事業の国認定(3件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年度、総合戦略及び交付金事業等の効果検証を行い、必要な見直しを図る。
		<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none; width: 30%;">進捗状況</td> <td style="border: none;">順調</td> </tr> </table>	
進捗状況	順調		

施策② 圏域をリードする広域連携の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
連携中枢都市圏ビジョンの策定と連携取組の推進 (政策局政策企画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年3月に策定する「岡山連携中枢都市圏ビジョン」に基づく連携取組について、県等との情報共有を図りながら推進 ・ 8市5町の首長で構成する岡山都市圏連携協議会を中心とする、連携取組の推進に向けた協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山都市圏連携協議会(3回) ・ 連携中枢都市圏ビジョン懇談会(2回) ・ 岡山連携中枢都市圏の形成 <ul style="list-style-type: none"> 連携中枢都市宣言(8月) 連携協約締結(10月) 連携中枢都市圏ビジョン策定(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ PDCAサイクルにより連携取組を推進する。
		<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none; width: 30%;">進捗状況</td> <td style="border: none;">順調</td> </tr> </table>	
進捗状況	順調		
瀬戸内4県都市の連携推進 (政策局政策企画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山市・広島市・高松市・松山市で構成する「瀬戸内4県都市長会議」の定期的な開催、連携施策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回瀬戸内4県都市長会議(11月) <ul style="list-style-type: none"> 会場：岡山城天守閣 城主の間 内容：具体的取組報告及び平成29年度の取組方針決定 ・ 「瀬戸内4県都市マレーシア事業(物産フェア・観光セミナー)」実施(7月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光分野での連携施策を推進する。
		<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none; width: 30%;">進捗状況</td> <td style="border: none;">順調</td> </tr> </table>	
進捗状況	順調		

施策③ 大都市制度の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
指定都市市長会 を通じた取組の 推進 (政策局政策企 画課)	・指定都市が市域内における全 ての事務を処理する、新たな 大都市制度である「特別自治 市」の実現や事務・権限の移 譲等についての指定都市市長 会等を通じた国への要請等	<ul style="list-style-type: none"> ・指定都市市長会議：3回 ・「国の施策及び予算に関する提案」を 関係各省庁及び政党へ要請活動 ・指定都市市長会各部会等による国へ の提言活動 		・指定都市市長会を 通じて、国に対す る要請・提言を行 っていく。
		進捗状況	順調	

政策 30 将来世代に責任を持つ自主・自立的な行財政運営

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H28	H32		
実質公債費比率（％）	9.5	8.1 （速報値）	9%台	↗	財政局
平成 28 年度決算においては、公債費や債務負担行為の減により、基準値となる平成 27 年度決算から 1.4 ポイント減の改善となっている。					
行政窓口の充実に対する満足度（％）	18.7	-	25	-	市民生活局 総務局
岡山市役所の管理職に占める女性の割合（％）	8.4 （H27. 4. 1）	10.6 （H29. 4. 1）	14 （H33. 4. 1）	↗	総務局
H28. 4. 1 実績値 9.5%、H29. 4. 1 実績値 10.6%。性別にとらわれない適材適所の人事配置等、女性活躍に向けた取組により、目標値に向けて着実に増加している。					
広報・広聴、情報公開、市民参加の推進に対する満足度（％）	13.1	-	18	-	総務局 市長公室

総括

総合評価

施策① 健全で持続可能な財政運営

・健全で持続可能な財政運営については、実質公債費比率において、平成 21 年度の政令指定都市移行後、臨時財政対策債などの元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた通常分の借入額を 200 億円程度に抑制していることにより、平成 28 年度決算において 8.1%（速報値）となっており、今後は、市有施設の耐震化や老朽化施設の改修・更新などの影響により公債費が増加する見込みであることから引き続き留意していくとともに、市民に分かりやすい情報提供が必要である。（財政局）

施策② 公共施設等のマネジメントの推進

・公共施設等のマネジメントの推進については、フォーラムを開催する等、市民等への意識の醸成を図ってきた。平成 29 年 3 月に「岡山市公共施設等総合管理計画」を策定する等順調に進捗しており、今後は、「岡山市公共施設等総合管理計画」を踏まえ、個別施設計画の策定に着手していくなど着実に取組を進めていく。（財政局）

施策③ 効率的・効果的な市民サービスの提供と公民連携の推進

- ・ P P P（公民連携）手法の活用については、産官学金連携の情報交換の場である「岡山 P P P 交流広場」を開催するなど、未利用地の有効活用の課題解決の取組を進めている。今後はさらに、「多様な P P P / P F I 手法を優先的に検討するための規程」を策定し、一定規模以上の事業について P P P 導入の簡易な評価をしていく等公民連携に向けた取組を進めていく。（財政局）
- ・ I C T ガバナンスの推進については、情報システム所管課による予算要求、調達、運用保守、評価が適切に行えるよう、予算ヒアリングや仕様書作成、プロジェクト管理などの支援を引き続き行う。また、社会経済環境の変化や技術動向を踏まえ、情報セキュリティポリシーの改定を行うとともに、職員向けの情報セキュリティ研修や情報システムセキュリティ監査を実施し、情報セキュリティの強化に向けた取組を進めていく。（総務局）
- ・ 市民サービス拠点の整備については、中区役所、吉備地域センター、高松地域センターを開所した。今後も施設の長寿命化を図りながら、他の市有施設との併合（複合化）するなど、「岡山市公共施設等総合管理計画」に基づく「個別施設計画」の中で方針を定め、効率・効果的で持続可能な市民サービスの提供体制を構築していく。（市民生活局）
- ・ マイナンバーカードを利用したコンビニ交付については、既に実施している住民票の写しと印鑑登録証明書の交付に加えて、平成 29 年 3 月から戸籍関係の証明書の交付を開始したところであり、現在まで徐々に交付枚数は増加している。今後、コンビニ交付利用の普及啓発等を行い、コンビニ利用による市民の利便性の向上などを図っていく。（市民生活局）
- ・ マイナンバーカードの取得促進は、平成 28 年 1 月の交付開始から概ね順調に増加している。国による、カードの普及啓発の報道等に合わせ、広報紙やウェブページへ記事を掲載し、効率的な宣伝などを実施する。（総務局）

施策④ 組織力の向上

- ・ 岡山市役所の管理職（課長級以上）に占める女性の割合は順調に増加しており、目標に向けて、引き続き女性職員の活躍を推進するための取組を進めていく。（総務局）

施策⑤ 透明性の高い開かれた市政運営

- ・ ホームページの改善（閲覧数の増加）、市長記者会見や広報資料の増加、SNS の活用など、情報発信については着実に発信力を増しているものと思われる。一方で、市民等からの要求も多岐・多様になってきており、引き続き、適宜・適切な情報発信に努めていく。また、近年の市民参画・市民協働の意識の高まりから、市民の市政運営への関心が大きくなる一方で、市民ニーズや価値観はさらに多様化しており、様々な機会・手法を通じて市民ニーズを的確に把握していく必要がある。（市長公室）

主な事務事業

施策① 健全で持続可能な財政運営

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
財政運営の健全性確保 (財政局財政課)	<ul style="list-style-type: none"> 事業の選択と集中や徹底した無駄の排除、有利な財源の活用や新たな歳入確保策等による、必要な財源を捻出、将来世代に負担に先送りすることのない財政運営の健全性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 臨時財政対策債などの元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた通常分の借入額を 151 億円に抑制 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、市有施設の耐震化や老朽化施設の改修・更新などの影響があることから、引続き留意が必要である。
		進捗状況	
市民に分かりやすい財政情報の提供 (財政局財政課)	<ul style="list-style-type: none"> 新地方公会計制度による財務諸表等の作成・公開 	<ul style="list-style-type: none"> 新地方公会計制度による財務書類等の作成に向けて、固定資産台帳の整備等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、固定資産台帳の更新と、統一的な基準に基づく財務書類等（平成 28 年度決算版）を作成し、平成 29 年度中に公開する予定である。
		進捗状況	

施策② 公共施設等のマネジメントの推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
公共施設等マネジメント推進事業 (財政局財産活用マネジメント推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 「岡山市公共施設等総合管理計画」の平成 28 年度中の策定及び当該計画に基づく個別施設の管理計画の平成 32 年度までの策定 公共施設等の固定資産台帳の平成 28 年度中の整備及びマネジメントツールとしての活用 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等マネジメントに関するフォーラムを平成 29 年 1 月に開催 公共施設等マネジメントに関する新聞紙面広告を 2 回製作（平成 28 年 5 月、平成 29 年 2 月に新聞掲載） 「岡山市公共施設等総合管理計画」を平成 29 年 3 月に策定 平成 27 年度末時点の固定資産台帳を整備 	<ul style="list-style-type: none"> 「岡山市公共施設等総合管理計画」を踏まえた個別施設計画を平成 32 年度を目途に策定する。 固定資産台帳の公表に向け、平成 29 年度中に平成 28 年度末時点の固定資産台帳を整備する。
		進捗状況	

施策③ 効率的・効果的な市民サービスの提供と公民連携の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)		今後の課題・方向性
<p>PPP（公民連携）手法の活用 (財政局財産活用マネジメント推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等への多様な公民連携（PPP）手法の導入検討、民間との情報共有等による民間活力の活用推進 産官学金連携の情報交換の場である「岡山PPP交流広場」等を通じた、跡地等未利用地の再活用・売却の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 「岡山PPP交流広場」を3回（H28.9.28、H29.1.19、H29.3.22）開催し、未利用地や公共施設等総合管理計画の情報提供、他都市の事例紹介、未利用地について民間活用アイデア募集のワークショップを実施 		<ul style="list-style-type: none"> 「多様なPPP／PFI手法を優先的に検討するための規程」を平成29年度中に策定する。 引き続き、「岡山PPP交流広場」を年数回開催し、情報提供や民間活用アイデア募集を行うなど跡地等未利用地について処分や利活用の促進を図るが、参加企業・団体にとって魅力ある情報を提供し、実際の利活用事業につなげることが課題である。
		進捗状況	概ね順調	
<p>ICTガバナンスの推進 (総務局ICT推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強く情報セキュリティ対策が十分な、効率的で最適化された情報システムの導入・更新 	<ul style="list-style-type: none"> 情報システム所管課による予算要求、調達、運用保守、評価が適切に行えるよう、予算ヒアリングや仕様書作成、プロジェクト管理など支援を実施 岡山市情報セキュリティポリシーの改定（平成29年3月） 情報管理者、情報化推進員、推進協力員を対象としたセキュリティ研修の実施 新採用職員を対象としたセキュリティ研修の実施 標的型メール攻撃訓練の実施 全職員を対象としたセキュリティに関するeラーニングの実施 情報システムセキュリティ監査の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 社会経済環境の変化や技術動向を踏まえ随時見直しを図りながら、ICTガバナンスを推進する。
		進捗状況	概ね順調	

市民サービス拠点の整備 (市民生活局区政推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・中区役所の整備（平成 28 年度オープン） ・吉備地域センター、高松地域センター、福田地域センター等の他施設との複合化による整備 	<p>【中区役所整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中区役所を現地にて建替え整備 平成 28 年度：庁舎棟建築工事、移転開設、解体工事 <p>【吉備地域センター整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉備地域センターと吉備公民館を合築により建替整備 平成 28 年度：移転開設、解体工事、水路改修工事、外構工事 <p>【高松地域センター整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西消防署吉備津出張所の移転開設に合せ、旧高松支所跡地に吉備津出張所との合築により庁舎を整備 平成 28 年度：建築工事、外構工事 <p>【福田地域センター整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が著しい福田地域センターを、福田公民館の敷地内に公民館との併設により整備 平成 28 年度：実施設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の市民サービス拠点の整備について施設の長寿命化を図りながら「岡山市公共施設等総合管理計画」に基づく「個別施設計画」の中で方針を定めていく。
	進捗状況	順調	
マイナンバーカードを利用したコンビニ交付の推進 (市民生活局区政推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードを利用した住民票や戸籍関係等の証明書のコンビニ交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸籍関係の証明書のコンビニ交付開始（平成 29 年 3 月） ・平成 28 年度交付実績：4,373 枚（証明書全体の約 0.54%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付開始後、徐々に交付枚数は増加しているが、更なるコンビニ交付利用の普及啓発等を行い、コンビニ利用による市民の利便性の向上などを図っていく。
	進捗状況	概ね順調	
マイナンバーカードの取得促進 (総務局行政事務管理課)	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの新たな機能追加等への適切な対応及び国との連携による普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・交付開始(平成 28 年 1 月)から平成 28 年度末までの累積交付枚数：51,207 枚（交付率約 7.2%） ・マイナンバー制度が開始された平成 27 年度より、広報紙、市公式ウェブページへの記事の掲載や、説明会等を開催 ・マイナンバーカードのスムーズな交付のため、特設窓口を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・国による、カードの機能追加の発表や普及啓発の報道等に合わせ、広報紙やウェブページへ記事を掲載し、効率的な宣伝などを実施する。
	進捗状況	概ね順調	

施策④ 組織力の向上			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)	今後の課題・方向性
適正な定員管理 (総務局人事課)	<ul style="list-style-type: none"> 定員管理の適正化を図る方針の平成28年度中の策定による、より適正な定員管理の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年3月31日、定員管理の方針を策定し、平成29年4月1日付人事異動により、人員配置の適正化に取り組んだ。 H29.4.1 現在職員数 8,433 人(うち旧県費負担教職員数 3,101 人) (参考) H28.4.1 現在職員数 8,396 人(うち県費負担教職員数 3,091 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 定員管理の方針に基づき、より適正な定員管理に取り組んでいく。
		進捗状況	
人材育成による 職員の資質向上 (総務局人事課)	<ul style="list-style-type: none"> 職員の資質や意識・意欲の向上に向けた、研修の充実や職員の育成及びキャリア形成を念頭に置いた人事配置等 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年4月、人材育成を主な目的とした「目標取組制度」を導入 平成29年4月、岡山市人材育成ビジョンを改訂 研修実績等 基本研修 16回 1,555人参加 有意義と回答した割合 92.3% 課題研修 13回 576人参加 有意義と回答した割合 90.3% 職場研修活性化支援研修 7回 529人参加 有意義と回答した割合 84.9% 派遣研修 7団体 378人参加 平成29年4月1日付人事異動において、若手職員や女性職員の早めの異動、専門性を必要とする部門の長めの人事ローテーション等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 改訂した岡山市人材育成ビジョンに基づき、新規研修の追加等により研修の充実を図るとともに、OJT(職場内研修)の活性化に取り組んでいく。 職員の育成とキャリア形成を推進するため、引き続き、弾力的な人事配置に取り組んでいく。
		進捗状況	
女性の活躍推進 (総務局人事課)	<ul style="list-style-type: none"> 「女性が輝くまちづくり」の一環として、女性の積極的な登用等による、より多様性を持った組織づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年4月1日、岡山市特定事業主行動計画を改定。 岡山市特定事業主行動計画に基づき、性別にとらわれない適材適所の人事配置等に取り組んだ。 岡山市役所の管理職(課長級以上)に占める女性の割合：H29.4.1 現在 10.6% (H28.4.1 現在 9.5%) 	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市特定事業主行動計画に基づく取組を継続する。
		進捗状況	

職員のワークライフバランスの推進 (総務局人事課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の士気や業務効率を高めるため、仕事と家事、子育て、介護等が両立できる職場づくりや、業務改善等の働き方改革の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークライフバランスの実現に向けた取組を推進するため、平成 28 年 6 月 1 日、市長をはじめ課長級以上の幹部職員を対象にイクボス宣言を実施 ・ 平成 28 年度実績 (平成 27 年度実績) 男性職員の出産補助休暇取得率 94.3% (88.1%) 男性職員の子育て休暇取得率 100.0% (100.0%) 男性職員の育児休業等取得率 1.6% (1.5%) 年次休暇取得率 55.2% (52.7%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休暇等取得率の維持向上及び時間外勤務の縮減に取り組んでいく。
	進捗状況	概ね順調	

施策⑤ 透明性の高い開かれた市政運営			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)	今後の課題・方向性
伝わりやすい市政情報の発信 (市長公室広報広聴課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者や障害者等の利用者に配慮したタイムリーな情報提供を行うホームページやより親しみやすい広報紙等の情報ツールによる発信力の向上 ・ ICTを活用した新しい発信ツール (SNS等) やモバイル端末への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの運営： 総ページビュー数 22,668,362 ・ SNSの運営： Facebook のいいね数 約 8,500 ・ 広報紙の発行： 月 284,000 部×12 か月 特集号 284,000 部×4 回 ・ 市政テレビ： 月 3 回×2 局 月 4 回×1 局 日 3 回 (月～金) ×1 局 ・ 市政ラジオの放送： 日 1 回 (月～金) ×1 局 週 1 回×1 局 ・ 新規でインスタグラムを開設 ・ 記者会見 (24 回) ・ 記者発表 (19 回)、 広報資料提供 (1,979 件) 等パブリシティ活動の実施 ・ 職員研修の実施 (1 回) ・ 広報通信の発行 (1 回) 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「広報誌の区に関する情報充実」「ホームページのアクセシビリティ向上」「広報資料の提供数増加」など、情報発信のために利用しているツールの発信力向上が必要である。 ・ SNSなど新しい発信ツールの活用に取り組んでいく。 ・ 情報発信の充実には職員の広報マインドの向上が不可欠であり、研修等の充実などにより今まで以上に意識向上を図っていく。
進捗状況	概ね順調		

広聴機能の充実 (市長公室広報 広聴課)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会・手法を通じた市民ニーズの的確な把握及び市政運営への活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・市長と市民との懇談会 5 回 ・文書要望（広報広聴課受付分）78 件 ・電話・Eメール・訪問等による要望・意見・苦情等（広報広聴課受付分）450 件 ・一般相談（広報広聴課・区役所受付分）2,144 件 ・弁護士による無料法律相談 1,037 件 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別広聴、集会広聴、課題広聴等の様々な機会・手法を通じて、市民の声を聴き、市政運営への活用をさらに図っていく。 ・広聴機能の充実には、職員の広聴マインドの向上が不可欠であり、職員への周知を引き続き図っていく。
		進捗状況	

取組実績報告

(区別計画編)

総括

総合評価

方向性 1 まちなかの魅力と賑わいの創出

西川緑道公園の特色をいかしたイベントの定期的な実施や、旭川周辺の整備事業、商店街の活性化事業への支援等により、まちなかの魅力アップやにぎわい創出につながっている。また、まちなかの回遊性向上に向けた社会実験の取組等により、市民の理解も広がっている。まちなかの回遊性向上やにぎわいの創出をより一層推し進めるため、引き続き市民協働のもとでの取組を推進していく。

方向性 2 農村部、中山間地域の活性化

新規就農相談、関係機関と連携した研修実施、新規就農者への奨励給付金、初期経費への補助金等の施策、農業者の経営力強化のための企業との連携などへの支援等の実施により、新規就農者の確保等につながっている。農業従事者の高齢化、減少が進む中、今後も支援を継続していく必要がある。また、御津・建部地域に導入している地域おこし協力隊による地域の特産物等を活かした取組が地域活性化に寄与しており、今後も支援を継続していく。

方向性 3 企業立地の推進

本市が持つ優れた交通網による拠点性の高さや災害リスクの低さ等を活かして、県との共同による空港南産業団地の整備や、企業本社、中四国支店などの広域的営業拠点等の立地を進めた。若者を中心とした人材の首都圏等への流出を防ぎ市内への定着を図るため、広域的営業拠点など事務系職種の新たな雇用創出や、拠点強化を図る市内既存工場等の設備投資等への支援を進めていく。

方向性 4 歴史・文化など多様な地域資源の再認識と活用・発信

県との連携による岡山城の烏城灯源郷と岡山後楽園の幻想庭園同時開催をはじめとするイベントの開催等により、観光客の増加に繋がっている。また、他都市との連携を通じた吉備路をはじめとした広域周遊観光を促進するとともに、各地域の埋もれた歴史資源を再認識し、市民や観光客が歴史・文化に触れる機会を増やす岡山歴史のまちしるべの設置支援を行った。今後も、岡山連携中枢都市圏の市町をはじめとする他都市との連携や、地域への愛着や誇りの醸成を図る取組を進めていく。

方向性 5 まちなかから中山間地域まで、地域特性に応じた交通利便性の向上

自転車走行空間や駐輪場の整備、自転車ルール・マナーの啓発等を行い、自転車利用環境の向上に努めた。今後、郊外部の自転車利用ニーズに応じた整備展開についての検討や、中心部において駐輪容量が不足しているエリアでの駐輪場整備を進める必要がある。また、公共交通の利用が不便な地域のうち、御津・建部コミュニティバスや足守生活バスでは、利用を促進するための運行改善の検討、牧山地区や馬屋上・野谷学区では住民主体による生活交通導入に向けた検討に取り組んだ。引き続き、住民、事業者と一体となり、利用促進と運行改善に取り組んでいく。

方向性 6 持続可能で活力のある地域づくり

区づくり推進事業や安全・安心ネットワーク支援事業等を通じて区民の自主的・主体的な地域活動が行われている。こうした活動を継続・促進していくため、担い手育成への取組を推進していく。

方向性7 連携・協働による防災・減災、防犯力の高い地域づくり

地域における防犯・防災活動の担い手不足が課題となっている中、防災意識の高揚を図るための出前講座の実施や、内水ハザードマップの作成・配布、自主防災組織率の増加に向けた支援事業の実施や地域防災リーダーの育成、地域防犯ボランティア団体への活動の支援などにより、地域の防災・防犯力の強化につながっている。今後も、地域との連携・協働のもとで地域防災・防犯力の底上げを図っていく。

主な事務事業

方向性1 まちなかの魅力と賑わいの創出		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
西川魅力にぎわい創出事業 (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 西川パフォーマー認定事業者等との協働による西川緑道公園の特色をいかした定期的なイベントの開催 西川緑道公園筋（平和橋～桶屋橋）の歩行者天国の定期開催化による、西川界隈での継続的で質の良い賑わいづくり パークマネジメントの取組による西川緑道公園の魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 西川パフォーマー事業者と市が協働して、定期的に西川緑道公園でイベントを実施 【西川パフォーマー事業】 認定事業（パフォーマー主体）＝40回実施 活用事業（市主体）＝4回(9日)実施 【西川緑道公園筋歩行者天国社会実験】 土・日のうち計4日間実施 歩行者通行量はイオン開業前(239人)の9.3倍(2,213人)～13.2倍(3,166人)
旭川かわまちづくり事業 (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに向けた、国との連携による旭川さくらみちの整備や烏城公園（石山公園地区）の再整備等 市民、事業者、NPO、大学等との協働による、まちなかの公園の特性をいかした利活用やルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 旭川さくらみち歩行空間整備工事（浜樋門から下流約460m区間） 旭川さくらみち桜並木の剪定作業 第2回ミズベリング岡山旭川の開催(10/16) 烏城公園（石山公園地区）の再整備に伴う詳細設計 石山公園活用検討会の発足（3回実施）
商店街等地域商業の活動への支援 (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 商店街等が行う商店街活性化へ向けた取組や、地域商業の活性化に向けた取組への支援 市内中心部の顧客吸引力や商業力等を計るために必要な各種調査の実施 商店会連合会が主催する魅力的なイベントの開催や情報発信、調査研究事業等への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化に資する支援策として、「備前岡山ええじゃないか」等商店街への誘客イベント支援等を商店街での商業振興のための補助事業とあわせて実施
岡山まつり開催事業 (産業観光局観光コンベンション推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 夏の花火やうらじゃ踊りに代表される岡山桃太郎まつりなど、岡山らしさを味わえるまつりや滞在を促すイベントの充実等を通じた岡山の魅力の発信 	<ul style="list-style-type: none"> 各種まつり（イベント）の実施 第16回おかやま桃太郎まつり 花火大会 来場者数 87万人 秋のおかやま桃太郎まつり 来場者数 16.3万人

<p>歩いて楽しい道路空間整備事業 (都市整備局庭園都市推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県庁通りにおける交通規制を伴う社会実験での賑わい創出の効果、歩行者や自動車交通等への影響等を検証した上での県庁通りの再構築に向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県庁通りの1車線化の回遊性向上社会実験を実施 <p>【実験概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平日を含む連続した1週間(10/1~7) ・ 歩行者通行量(平和橋西側地点)はイオン開業前と比べ、休日(1,287人)は3.9倍(5,050人)、平日(643人)は1.5倍(961人)。自動車交通に関しては、1車線化による大きな影響は見られなかった。 ・ アンケート調査では、立場による意見の違いはあったが、取組への理解の広がりが確認できた。
<p>環境美化推進事業 (環境局環境事業課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美化推進重点区域・路上喫煙制限区域での巡回指導や広報・啓発活動の実施 ・ 美化推進重点区域内での一斉清掃等の美化イベントの実施や地域での美化活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美化推進重点区域での一斉清掃等の美化イベント実施 14回

<p>方向性2 農村部、中山間地域の活性化</p>		
<p>事務事業名 (担当部局)</p>	<p>事業概要</p>	<p>取組実績 (H28年度)</p>
<p>農業の担い手の確保・育成事業 (産業観光局農林水産課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若手農業者モデル経営体の登録及び新規就農希望者への紹介 ・ 就農相談会や農業体験研修等の実施による新規就農の促進 ・ 新規就農者への奨励金給付や就農直後の経営確立に資する資金の交付 ・ U I J ターン園芸農業者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規就農者数 30人 ・ 就農相談会 8回 ・ 農業体験研修 4回 ・ 若手農業者モデル経営体の登録 14経営体 ・ 奨励金給付 10件 ・ U I J ターン園芸農業者への補助 2件 <p>※全市の実績</p>

<p>農業経営力向上対策事業 (産業観光局農林水産課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水田農業の大規模化、地域振興作物の産地化など、水田フル活用に資する取組への支援 ・園芸作物や米・麦・大豆等の生産性向上に必要な機械導入や設備整備等への支援 ・担い手への農地集積に対する支援 ・農業者と企業の連携の支援 	<p>【経営所得安定対策推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の直接支払交付金申請者数 2,651 件 ・水田活用直接支払交付金申請者数 2,458 件 <p>【水田営農推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 1 件、受益個数 230 戸、受益面積 480ha） <p>【園芸作物生産流通対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 9 件、受益個数 1,213 戸、受益面積 270.21ha） <p>【畜産振興指導費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市畜産クラスター協議会の設立支援（H28.9.27 設立） <p>【環境保全型農業推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 8 件、受益戸数 95 戸、受益面積 71.54ha） ・環境保全型農業直接支払交付金（件数 6 件、3.4ha） <p>【担い手の育成・確保の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地集積率 35%（目標） 平成 28 年度実績 26.8% <p>※全市の実績</p>
<p>農村集落活性化事業 (産業観光局農林水産課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付金制度等の活用による水路の泥上げや農道の砂利補充等の農地維持に向けた地域の共同活動、及び中山間地域等における耕作放棄地の発生防止や農業生産活動の維持を図る取組に対する交付金の交付 	<p>【多面的制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・56 組織（北区 38 組織）、2,953ha（北区 762ha） <p>【中山間制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・48 集落協定、1 個別協定（北区 47 集落協定、1 個別協定）、309ha（北区 305ha）で取組を実施
<p>地域おこし協力隊事業 (北区役所北区・総務・地域振興課) (政策局事業政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主に中山間地域等への地域外の人材の誘致及び地域住民との協力による地域活性化の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力隊を既に導入している御津・建部地域以外の市域に、地域おこし協力隊を導入する場合の条件の整理や内部での情報共有を実施 <p>【御津・建部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置隊員数：御津 2 名、建部 2 名 ・活動内容：地域住民グループ等への支援や休耕地を活用した農作物栽培などの地域振興活動

方向性3 企業立地の推進		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
空港南産業団地整備事業 (産業観光局産業政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山空港から南へ4kmに位置する未利用県有地である元第2リサーチパーク用地を活用した、岡山県との共同による企業誘致のための産業団地の整備(平成30年度分譲開始予定) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年5月に市県で締結した「空港南産業団地の開発に伴う協定書」に基づき、市県で役割分担して団地整備事業に着手 汚水管理設のための詳細設計を委託(開削路線等 L=1,240m)
企業立地推進事業 (産業観光局産業政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 交通アクセス性に優れた場所等の産業利用の適地に用地を確保できるよう努め、企業立地を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路IC周辺等の交通アクセス性に優れた場所において、産業振興に資する土地利用を図るため農振法の規制緩和を求めて、「国への政策提言・要望」活動や「国家戦略特区」への提案等、様々な機会を活用し、国への要望、提案等を実施

方向性4 歴史・文化など多様な地域資源の再認識と活用・発信		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
岡山芸術交流の開催 (市民生活局文化振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山城周辺の歴史文化ゾーンを主会場とした「岡山芸術交流2016」の開催、実施結果の検証を踏まえた次回開催を目指した検討 	<ul style="list-style-type: none"> 「開発/Development」をテーマに、旧後楽館天神校舎跡地、岡山県天神山文化プラザ、岡山市立オリエント美術館、林原美術館、岡山城、岡山県庁前広場等で国際的な現代アート展「岡山芸術交流2016」を開催 来場者：延べ234,136人
岡山フィルハーモニック管弦楽団の活動支援 (市民生活局文化振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 県内唯一のプロオーケストラである岡山フィルハーモニック管弦楽団の運営支援を通じた、プロの演奏に触れる機会の増加や都市の魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 定期演奏会年3回を含む、年間延102公演を開催 鑑賞者数41,475人 市内小中学生に、岡山シンフォニーホールでの鑑賞機会を提供する「小中学校音楽鑑賞教室」などの事業を継続して開催
岡山シティミュージアムの運営 (市民生活局岡山シティミュージアム)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の営みやまちの誇りを次世代へ伝える文化の醸成や教育の場としての、岡山の歴史と文化をテーマとした常設展や特別展の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 常設展内小企画(5回)、特別展・企画展(6回)、ミュージアム講座(8回)の開催 学校利用(校外学習)の実施(846人) 館内外の案内表示の設置・更新(約20か所) 常設展の英語解説表記の充実

<p>オリエント美術館と県立美術館等との共同事業 (教育委員会オリエント美術館)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する県立美術館等との共同による情報発信、特別展の企画や学習プログラムの開発等 	<ul style="list-style-type: none"> ・チケット（半券）提示による相互入館料割引～2館で約120人／月 ・特別展開催記念ライブコンサートを県立美術館で開催 ・岡山大学、地元小学校と連携した両館学習プログラムを実施～小3 3クラス100人参加 ・美術館案内看板（4か国語）設置
<p>観光施設の活用事業 (産業観光局観光コンベンション推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山城天守閣をはじめとした市内各地の観光施設等の適切な維持管理や有効活用、市内各地の歴史・文化資源の統一看板「岡山歴史のまちしるべ」の設置等による観光客の満足度向上につながる受入体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年11月3日で再建50年を迎えた岡山城とウルトラマンをコラボさせた記念事業（～11/30）の実施 来場者数33,733人（11/3 3,759人） ・岡山城のあり方調査実施 ・観光客受入体制整備のため、岡山の観光地を紹介した看板の設置 岡山歴史のまちしるべ 設置場所・設置数 足守エリア5基
<p>観光資源の魅力アップ事業 (産業観光局観光コンベンション推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山城と岡山後楽園との連携による烏城灯源郷と幻想庭園との同時開催等による、宿泊客の増加や滞在時間の延長の促進 ・倉敷市等他都市との連携を通じた吉備路をはじめとする広域周遊観光の促進 ・瀬戸内海沿岸の他都市等と連携した情報発信や、岡山をベース宿泊地とする広域周遊観光等の促進 ・「備前池田家」や「古代吉備の国」等、岡山連携中枢都市圏における共通のテーマに基づいた歴史・文化資源の収集及びストーリー化、情報発信等による地域への愛着と誇りの高揚、観光資源としての魅力の向上 ・地域文化の創造を目的とした郷土に根付いた芸能の振興と民謡の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山後楽園との連携による事業の広報・実施 岡山城入場者数350,194人 （対前年度（292,260人）19.8%の増 うち外国人44,594人 （対前年度（28,402人）57.0%の増） ・各種メディア・雑誌等へ広域なエリアで連携した情報発信による観光客誘致 ・瀬戸内4県都市長会事業として、4都市が連携してマレーシア物産展を実施 ・おかやま連携中枢都市圏域内の広域周遊観光の促進のため、作家「あさのあつこ」監修によるストーリーの作成 備前池田家 3話 古代吉備の国 3話 ・郷土芸能補助 7件 ・郷土民謡普及補助 総指導回数56件
<p>「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業 (政策局事業政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史・文化の由来等を顕す統一デザイン案内看板「岡山歴史のまちしるべ」の市内主要地域（中心市街地や周辺地域の藩、陣屋町等）や地域住民から提案を受けた場所への設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中心部に20基設置 ・地域団体からの提案制度を策定し、募集を開始

<p>文化財及び埋蔵文化財の発掘調査成果の活用 (教育委員会文化財課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査の成果や所管する文化財の公開、文化財に関する講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査現地説明会を開催して調査現場を公開 ・埋蔵文化財センターでは、年間を通して毎月の定期講座(7月・8月の夏休み対応月については、子ども対象講座とし、勾玉や鏡の製作体験)を開催 ・市役所1階市民ホールでは、前年度の調査成果を展示する発掘調査速報展を開催 ・通常は非公開の岡山城跡月見櫓を文化の日に合わせて公開
<p>身近な生きものの里事業 (環境局環境保全課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民等が身近な野生生物をシンボルにして主体的に生物多様性の保全活動を行っている地域について、「身近な生きものの里」として認定する活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・足守、大井、下高田、福谷、宇甘西、竹枝、龍泉寺の7地域に、保全活動に対する謝礼や資材提供などの活動支援を実施

<p>方向性5 まちなかから中山間地域まで、地域特性に応じた交通利便性の向上</p>		
<p>① まちなか公共交通の充実、自転車利用環境の向上</p>		
<p>事務事業名 (担当部局)</p>	<p>事業概要</p>	<p>取組実績 (H28年度)</p>
<p>まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車の岡山駅前広場への乗り入れに向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車の乗り入れに伴う岡山駅前広場のあり方について、公開会議を2回開催し、関係者等の意見を聴取
<p>自転車走行空間の整備 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部において「自転車先進都市おかやま実行戦略」に位置付けた路線に自転車走行空間整備 ・現状の自転車利用ニーズ(利用圏域や自転車交通量等)を勘案して、中心部と郊外部を接続するアクセス路線の選定・整備 ・郊外部の自転車利用ニーズに応じて、地域の主要拠点等の自転車利用圏域に対応した整備について計画策定に着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・桃太郎大通りににおける自転車走行空間整備(L=123m) ・中心部と郊外部を接続するアクセス路線の検討 ・市道錦町古京町線、市道内山下京橋町線、市道石関町3号線における整備検討および地元への説明

<p>駐輪場の整備 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で駐輪ニーズの特に高い中心部（特に表町地区）において、駐輪特性に応じた駐輪場の整備（公共による整備のほか、民間による整備の促進） ・自転車の端末利用促進や公共交通利用促進のため、駅やバス停等の交通結節点への駐輪場の整備 ・既存駐輪場の運用見直し（有料化など）により、駐輪場の適正利用を促進 ・駐輪場の整備状況を勘案の上、必要に応じ放置禁止区域の指定及び拡充を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅元町北自転車駐車場整備（H29.2 供用 799 台分） ・田町一丁目自転車等駐車場整備（H28.11 供用 53 台分） ・民間自転車等駐車場整備補助制度の創設（制度活用による整備件数 1 件） ・駐輪場マップの作成
<p>コミュニティサイクル「ももちゃり」の利用促進 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の運営期間（平成 25 年～平成 30 年度）の運営状況・利用状況等を評価し、以後の事業継続内容（ポート配置・ポート拡充・収支計画・運用方法等）を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して運用を実施 (H28 年度平均利用回転数：3.99 回/日台)
<p>自転車ルール・マナー向上 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の開催や街頭啓発活動の実施などによる自転車通行ルールや利用マナーの周知及び放置自転車の解消に向けた指導・啓発の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車ルールマナー啓発イベント（H28.9 月開催） ・自転車ルールマナー啓発ラジオCM作製・放送（H28.5 月、9 月放送） ・放置自転車防止のための街頭啓発指導（通年実施）
<p>サイクリングロードの充実 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興も念頭に、関係機関と連携した、吉備路自転車道や吉備高原自転車道等におけるサイクリングに適した案内板や路面標示等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・吉備路自転車道・吉備高原自転車道における路面補修や転落防止柵修繕（5 箇所 L=計 1,082m）
<p>中環状道路の整備 (都市整備局道路計画課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都心に集中する交通の分散・誘導を目的とした、都市計画道路下中野平井線の整備 ・国道 53 号方面からの交通の分散・誘導を目的とした、都市計画道路米倉津島線の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路下中野平井線において、道路改良工事、地質調査業務、用地補償等を実施
<p>幹線道路の整備 (都市整備局道路計画課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県道等幹線道路における、道路改良、歩道整備、交通安全施設整備等 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路上石井岩井線ほか 4 路線において、道路改良工事、用地補償等を実施

鉄道の利用環境改善 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 交通結節機能強化 パーク&ライド駐車場管理 わかりやすい案内情報の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 福渡駅駐車場の管理運営 (建部支所)
バスの利用環境改善 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> パーク&バスライド駐車場、サイクル&バスライド駐輪場の整備 わかりやすい案内情報の整備 	<ul style="list-style-type: none"> なし
② まちなかと周辺地域をつなぐ公共交通等の充実		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)
幹線道路の整備 (都市整備局道路計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 県道等幹線道路における、道路改良、歩道整備、交通安全施設整備等 	<ul style="list-style-type: none"> 県道御津佐伯線ほか2路線において、道路改良工事、用地補償等を実施
鉄道の利用環境改善 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 交通結節機能強化 パーク&ライド駐車場管理 わかりやすい案内情報の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 福渡駅駐車場の管理運営 (建部支所)
③ 中山間地域での生活交通の確保		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)
生活交通の維持・改善 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの運行経費の一部助成や利用促進に資する運行サービスの改善 	<ul style="list-style-type: none"> 御津・建部コミュニティバスの運行改善を目的として、平成29年4月1日からの経路とダイヤの改正を実施 足守生活バスの運行改善を目的として、住民の交通実態に関するアンケート調査を実施
新たな生活交通の確保 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民及び交通事業者との連携による、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> 馬屋上学区・野谷学区を1つのエリアとして、地域住民が検討組織を組織し、住民の交通実態に関するアンケート調査を実施 牧山地区で、地域住民が検討組織を組織

方向性 6 持続可能で活力のある地域づくり

① 多様な力をいかした地域づくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)
<p>区づくり推進事業 (北区・総務・地域 振興課)</p>	<p>・地域の特性をいかした地域交流事業 及び課題解決のための地域活動に対 する活動経費の一部助成</p>	<p>・身近な交流部門 15 件 小学校区単位で実施される地域活性化イ ベント事業。 世代間の交流を深めるなど、支え合い助け 合うまちづくりを推進するイベントや、特産 物や歴史・文化等の地域資源を活かし、地域 の魅力を内外に発信しまちづくりを推進す るイベント。 また、防災意識を高め、犯罪のないまちづ くりを推進するイベントなども実施。</p> <p>・広域交流部門 10 件 2 以上の小学校区単位で実施される地域活 性化イベント事業。 特産物や観光資源、地域ゆかりの偉人の功 績学習など地域資源をいかしたまちづくり を推進するイベントや、地域内にある豊かな 自然や施設をいかした住民交流を推進する イベント、地域で取り組むスポーツ活動等 健康づくりを推進するイベントなどを実施。</p> <p>・地域活動部門 12 件 概ね小学校区単位で実施される、地域課題 を解決するための継続的な活動。 地域資源の整備・保存活動や伝統芸能の継 承、少子高齢化・核家族化における問題解決、 地域コミュニティのリーダーやボランティア の養成事業などを実施。</p>
<p>安全・安心ネット ワーク支援事業 (市民協働局市民 協働企画総務課)</p>	<p>・安全・安心ネットワークの活動経費 の一部助成</p>	<p>・安全・安心ネットワークに対し、活動支援と して補助金を交付 (40 学区・地区に交付)</p> <p>・若者の地域への関心を高めるなど、地域活動 を担う人材の育成につながる地域づくり講 座の開催 (2 館で若者を対象とした地域応援 人づくり講座を実施)</p>

住民自治組織育成事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学区・地区連合町内会の活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・40学区・地区連合町内会の活動を援助するため、予算の範囲内において補助金を交付 ・町内会活動の充実や環境の美化等暮らしやすい地域づくりの推進に資するために、761町内会に対し、自治振興報償金の支払 ・町内会集会所新築等補助金の交付 新築1件、修繕10件
② 地域、企業や団体等と連携した主体的な健康づくり		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
「健康市民おかやま21(第2次)」推進事業 (保健福祉局健康づくり課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民との協働による、日常的な運動習慣の推進や栄養・食生活改善、喫煙対策等の健康づくり活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング大会・健康まつり・健康教室等、市民主体で企画実施したイベント回数・参加人数 <北区中央>33回、3,441人 <北区北>37回、4,100人

方向性7 連携・協働による防災・減災、防犯力の高い地域づくり		
① 浸水対策		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
浸水対策事業 (下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県による旭川、笹ヶ瀬川、足守川、砂川等の改修等の促進 ・都心部における下水道施設の計画的な改築・更新等による雨水排水機能の強化 ・西部の市街地等での浸水対策 ・土砂災害について、県による警戒区域等の指定や対策工事を促進 ・町内会への防災備蓄土、土のう袋の配布 ・事前に大雨が予想される場合は、下流地域の水利権者の理解を得た上で、河川からの取水量の早期調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県による旭川(出石地区)、笹ヶ瀬川(平田地区)、足守川(庭瀬地区付近)、砂川(辛川市場地区付近)の改修等を促進 ・笹ヶ瀬ポンプ場雨水ポンプ設備長寿命化工事 ・町内備蓄土の配布、台風接近時等の市民への土のう配付4回実施 ・台風接近時等に河川からの取水調整等の実施
下水道施設(処理場、ポンプ場)の長寿命化、耐震化 (下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・都心部における下水道施設の計画的な改築・更新等による雨水排水機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・天瀬ポンプ場長寿命化、耐震化工事 ・旭西排水センターポンプ設備等長寿命化工事 ・笹ヶ瀬ポンプ場長寿命化、耐震化工事 ・巖井ポンプ場雨水ポンプ設備ほか長寿命化工事

<p>単独河川改修事業 (下水道河川局下水道河川計画課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・普通河川の河川改修による浸水対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦田川河川改修 L=12m ・吉村川河川改修 L=113m ・弥高川河川改修 L=101m 他 23 河川改修 ・新川測量設計を業務委託により実施 ・吉村川測量設計を業務委託により実施 ・他 4 業務を委託により実施
<p>② 地域の防災・防犯力の強化</p>		
<p>事務事業名 (担当部局)</p>	<p>事業概要</p>	<p>取組実績 (H28 年度)</p>
<p>出前講座等の実施 (危機管理室)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の防災意識の高揚を図ることを目的とした、地域での防災出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 88 回
<p>浸水対策事業 (危機管理室、下水道河川局下水道河川計画課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ起こるかかわからない津波災害や浸水被害等に迅速・的確に対応し、被害を最小限にとどめることを目的とした、ハザードマップの作成や出前講座の実施等による日頃からの危機意識の醸成及び避難方法等の一層の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水・土砂災害ハザードマップを平成 28 年 3 月に更新し、市民へ配布、各区役所で配布、市HPで公表 ・内水ハザードマップを平成 28 年 6 月に作成、北区役所、地域センターで配布、市HPで公表、公民館で掲示 ・内水ハザードマップの配布：2,605 枚 ・出前授業については、内水ハザードマップによる浸水対策の出前授業を実施
<p>自主防災会育成事業 (危機管理室)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の結成促進、防災資機材の給付 ・防災まちづくり学校や公民館職員等への防災講習会の開催、男女ともに地域防災リーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会資機材給付（結成）5 件 ・自主防災会資機材給付（訓練）25 件 ・自主防災会地域防災マップ給付 2 件
<p>避難行動要支援者名簿の活用 (危機管理室)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策基本法に基づき、市が作成した「避難行動要支援者名簿」を、町内会や民生委員等の避難支援等関係者に提供し、地域で支えあう仕組みづくりを推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「避難行動要支援者名簿」のうち、平常時から避難支援等関係者に名簿情報を提供することに同意した者の名簿を提供
<p>帰宅困難者対策の充実 (危機管理室)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山駅周辺のホテルや大規模商業施設等と協定を締結し、帰宅困難者の一時避難場所を確保 ・企業内備蓄や「むやみに移動を開始しない」など、帰宅困難者防止の啓発のため、企業に対して出前講座を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・帰宅困難者等一時避難場所協定 4 箇所（平成 25 年度～） ・帰宅困難者支援協定 1 箇所（平成 24 年度～） ・企業出前講座 4 回

安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付(40学区・地区に交付)
地域防犯ボランティア支援事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域防犯ボランティア活動の活性化及び地域の防犯意識向上を目的とした、地域防犯ボランティアへの講習、防犯講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の防犯ボランティア団体を対象に地域の公民館講座等を活用し、防犯指導及び講座を中心に支援 防犯講座12回 地域への現地指導29回
防犯灯設置支援事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> 町内会が新たに設置する防犯灯の取付費用の一部助成等 	<ul style="list-style-type: none"> 通学路防犯灯設置数(市設置)18灯 防犯灯設置費補助数(町内会設置)269灯
道路防災対策事業 (都市整備局道路港湾管理課)	<ul style="list-style-type: none"> 管理道路の安全・安心の確保に向けた、道路防災点検の拡充及び道路防災対策工事の着実な実施 	<ul style="list-style-type: none"> 県道落合建部線において道路防災工事を実施したほか、国・県道の道路防災危険箇所について、詳細設計などを実施

総括

総合評価

方向性 1 交通利便性の向上

中・外環状道路を始めとする幹線道路の整備や、バスの利用環境改善に向けたサイクル&バスライド駐輪場の整備を着実に進めている。一方、自転車走行空間の整備については、中心部と郊外部を接続するアクセス路線を検討しており、鉄道の利用環境の改善や新たな生活交通の確保については、区民によるワークショップでも課題とされていることから、一定の時期に方向性を示す必要がある。

方向性 2 豊かな自然環境の保全・継承

NPOや公民館と連携して環境教育を開催するなど、地域の保全活動を支援するとともに、地域や保護団体と連携しながらアユモドキの保護・啓発事業を進めている。中区民参加のホタルの調査などを通じた希少種の保護や啓発、操山公園里山センターの講座等を活用した環境保全の取組など、豊かな自然環境の保全・継承に向けた取組は着実に進んでいる。

方向性 3 地域資源の活用と発信

区づくり推進事業などを通じて、地域住民の創意工夫による各地区の特性を生かした地域づくりを支援するとともに、地域の歴史や特産物、文化の発信を図っている。また、「岡山歴史のまちしるべ」設置事業では、地域から埋もれた歴史資源の紹介に向けた提案の準備が進むなど、市の事業を積極的に活用した、地域資源の活用と発信に向けた取組が広がっている。

方向性 4 多世代の交流・協働による地域づくり

区づくり推進事業や安全・安心ネットワーク支援事業を通じて、地域コミュニティの活性化や、学校園の生徒や各種団体、民間の事業所等が参加した多様な主体による地域の活性化を着実に進めている。その中で、山陽学園大学と中区役所との間で包括連携協定を締結し、今後、地域の防災や福祉、選挙啓発など、学生が参加した地域づくりを協働で進めることとで、地域活動に参加する若年層の増加が期待される。

方向性 5 地域住民の手による防災・防犯力の向上

分散備蓄や出前講座、避難要支援者の名簿情報の提供等とともに、中区役所の新庁舎整備の中で、多目的ホールを災害時の一時避難場所とし、備蓄倉庫と災害対策本部を設けるなど、地域防災力の大幅な向上を図ることができた。また、浸水対策として、倉安川の堤防改修や大雨時の水位調整、用排水路の整備等のハード事業と併せて、洪水・土砂災害ハザードマップの配布や出前講座の実施を通じて避難方法等の周知を進めている。また、地域防犯については、防犯ボランティアを対象に指導や講習等の支援を行うとともに、防犯灯を設置する町内会への費用助成を実施しており、地域住民の手による防災・防犯力の向上は着実に進んでいる。

主な事務事業

方向性 1 交通利便性の向上		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)
中環状道路の整備 (都市整備局道路 計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 都心に集中する交通の分散・誘導を目的とした、都市計画道路下中野平井線の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路下中野平井線において、道路改良工事、用地補償等を実施
外環状道路の整備 (岡山環状道路) (都市整備局道路 計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地に流入する交通の適切な分散・誘導による渋滞緩和や安全な通行の確保を目的とした、主要地方道岡山赤穂線、市道江並升田線の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 主要地方道岡山赤穂線、市道江並升田線において、道路予備設計、地質調査業務等を実施
幹線道路の整備 (都市整備局道路 計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 県道等幹線道路における、道路改良、歩道整備、交通安全施設整備等 	<ul style="list-style-type: none"> 主要地方道岡山牛窓線ほか2路線において、道路改良工事、用地補償等を実施
鉄道の利用環境改善 (都市整備局交通 政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 交通結節機能強化 パーク＆ライド駐車場管理 わかりやすい案内情報の整備 	<ul style="list-style-type: none"> なし
バスの利用環境改善 (都市整備局交通 政策課)	<ul style="list-style-type: none"> パーク＆バスライド駐車場、サイクル＆バスライド駐輪場の整備 わかりやすい案内情報の整備 	<ul style="list-style-type: none"> サイクル＆バスライド駐輪場を1カ所整備 (三幡農協前駐輪場)
自転車走行空間の 整備 (都市整備局交通 政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 現状の自転車利用ニーズ（利用圏域や自転車交通量等）を勘案して、中心部と郊外部を接続するアクセス路線の選定・整備 郊外部の自転車利用ニーズに応じて、地域の主要拠点等の自転車利用圏域に対応した整備について計画策定に着手 	<ul style="list-style-type: none"> 中心部と郊外部を接続するアクセス路線の検討

新たな生活交通の確保 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民及び交通事業者との連携による、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・なし
--	---	---

方向性2 豊かな自然環境の保全・継承		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
操山公園里山センター (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業務のなかの緑化関連事業や指定管理者の自主事業で開催される講習会・講座等を活用した環境保全の取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者 53,065人 ・緑化推進リーダー講座 4回 ・緑化関連事業・講座 119回 3,242人 (施設利用者の推移) 平成25年度 46,558人 平成26年度 50,940人 平成27年度 52,815人
身近な生きものの里事業 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民等が身近な野生生物をシンボルにして主体的に生物多様性の保全活動を行っている地域について、「身近な生きものの里」として認定する活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・高島・旭竜、曹源寺の2地域に、保全活動に対する謝礼や資材提供などの活動支援
ホタル調査および希少種保護事業 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・区民参加のホタル調査（隔年実施）及び保護団体等と連携した希少種保護事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホタル調査は未実施 ・希少種保護事業は、身近な生きものの里「高島・旭竜」、保護団体、公民館等と連携しアユモドキの保護・啓発活動を実施
水辺教室等の環境教育推進事業 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や生物多様性についての意識向上を目的とした、多様な主体が行う水辺等での環境教育に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・小橋町の御成川において、新規に NPO、公民館と連携して水辺教室を開催

方向性3 地域資源の活用と発信		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
区づくり推進事業 (中区・総務・地域振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な交流部門 9件 干拓の歴史、地域の文化、特産物等の地域資源、防犯・防災対策の強化など、小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 広域交流部門 1件 百間川の歴史・役割などを考え、治水・利水・親水などの多面的な機能の理解を深め、環境保全に寄与するなど、2以上の小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 地域活動部門 4件 海拔の低い地域や土砂災害等の発生が懸念される地域における防災活動、地域における認知症予防対策、町内会等の活動における後継者対策を考えるなど、地域課題の解決のための活動の実施団体に対し、補助金を交付
「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業 (政策局事業政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史・文化の由来等を顕す統一的なデザインの案内看板「岡山歴史のまちしるべ」の市内主要地域(中心市街地や周辺地域の藩、陣屋町等)や地域住民から提案を受けた場所への設置 	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体からの提案制度を策定し、募集を開始

方向性4 多世代の交流・協働による地域づくり		
① 地域コミュニティの活性化		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
住民自治組織育成事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 学区・地区連合町内会の活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> 13学区・地区連合町内会の活動を援助するため、予算の範囲内において補助金を交付 町内会活動の充実や環境の美化等暮らしやすい地域づくりの推進に資するために、302町内会に対し、自治振興報償金の支払 町内会集会所新築等補助金の交付 新築1件、修繕3件

<p>区づくり推進事業 (中区・総務・地域 振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な交流部門 9件 干拓の歴史、地域の文化、特産物等の地域資源、防犯・防災対策の強化など、小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 ・広域交流部門 1件 百間川の歴史・役割などを考え、治水・利水・親水などの多面的な機能の理解を深め、環境保全に寄与するなど、2以上の小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 ・地域活動部門 4件 海拔の低い地域や土砂災害等の発生が懸念される地域における防災活動、地域における認知症予防対策、町内会等の活動における後継者対策を考えるなど、地域課題の解決のための活動の実施団体に対し、補助金を交付
<p>安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付(13学区・地区中12学区・地区に交付) ・若者の地域への関心を高めるなど、地域活動を担う人材の育成につながる地域づくり講座の開催(1館で若者を対象とした地域応援人づくり講座を実施)

② 多様な主体との協働による地域活性化		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)
区づくり推進事業 (中区・総務・地域 振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な交流部門 9件 干拓の歴史、地域の文化、特産物等の地域資源、防犯・防災対策の強化など、小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 広域交流部門 1件 百間川の歴史・役割などを考え、治水・利水・親水などの多面的な機能の理解を深め、環境保全に寄与するなど、2以上の小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 地域活動部門 4件 海拔の低い地域や土砂災害等の発生が懸念される地域における防災活動、地域における認知症予防対策、町内会等の活動における後継者対策を考えるなど、地域課題の解決のための活動の実施団体に対し、補助金を交付
③ 学校と連携した健康づくりの推進		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)
「健康市民おかや ま21(第2次)」 推進事業(保健福 祉局健康づくり 課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民との協働による、日常的な運動習慣の推進や栄養・食生活改善、喫煙対策等の健康づくり活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキング大会・健康まつり・健康教室等、市民主体で企画実施したイベント回数・参加人数 ＜中区＞59回、13,772人

方向性5 地域住民の手による防災・防犯力の向上		
①地域防災力の向上		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)
自主防災会育成事業 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会の結成促進、防災資機材の給付 防災まちづくり学校や公民館職員等への防災講習会の開催、男女ともに地域防災リーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会資機材給付(結成)4件 自主防災会資機材給付(訓練)34件 自主防災会地域防災マップ給付2件

避難行動要支援者名簿の活用 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策基本法に基づき、市が作成した「避難行動要支援者名簿」を、町内会や民生委員等の避難支援等関係者に提供し、地域で支えあう仕組みづくりを推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「避難行動要支援者名簿」のうち、平常時から避難支援等関係者に名簿情報を提供することに同意した者の名簿を提供
備蓄の推進 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・分散備蓄の推進 ・家庭内備蓄の周知啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄場所のない小中学校1か所に備蓄倉庫を設置
出前講座等の実施 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の防災意識の高揚を図ることを目的とした、地域での防災出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 38回
浸水対策事業 (危機管理室、下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ起こるか分からない津波災害や浸水被害等に迅速・的確に対応し、被害を最小限にとどめることを目的とした、ハザードマップの作成や出前講座の実施等による日頃からの危機意識の醸成及び避難方法等の一層の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水・土砂災害ハザードマップを平成28年3月に更新し、市民へ配布、各区役所で配布、市HPで公表 ・内水ハザードマップを平成28年6月に作成、中区役所、地域センターで配布、市HPで公表、公民館で掲示 ・内水ハザードマップの配布：1,120枚

② 津波・浸水対策

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
浸水対策事業 (下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県による旭川の護岸整備や沿岸部の津波・高潮対策の促進、倉安川の堤防護岸整備や河床掘削等の河川改修、用排水路の整備・改良による市街地等の浸水対策の推進 ・町内会への防災備蓄土、土のう袋の配布の実施、また、事前に大雨が予想される場合には、地域の水利権者等との協力のもとで倉安川等の水位調整を行うなど、共助による浸水対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・国による旭川下流部の高潮、耐震化の整備、百間川分流部の整備及び河口部水門の耐震化など河川改修事業の促進 ・一級河川倉安川河川改修L=147m整備完了 ・用排水路の浚渫及び整備を実施 ・倉安川流域の内水対策に着手 ・町内備蓄土等の配布、台風接近時等の市民への土のう配付3回実施 ・台風接近時等の倉安川等の水位調整を実施
単独河川改修事業 (下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・一級河川倉安川の海吉地区の河川改修による浸水対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・一級河川倉安川(海吉地内)二次改修L=188m

③ 地域防犯

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)
地域防犯ボランティア支援事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防犯ボランティア活動の活性化及び地域の防犯意識向上を目的とした、地域防犯ボランティアへの講習、防犯講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の防犯ボランティア団体を対象に地域の公民館講座等を活用し、防犯指導及び講座を中心に支援 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯講座 8 回 ・地域への現地指導 11 回
区づくり推進事業 (中区・総務・地域振興課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な交流部門 9 件 <ul style="list-style-type: none"> 干拓の歴史、地域の文化、特産物等の地域資源、防犯・防災対策の強化など、小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 ・広域交流部門 1 件 <ul style="list-style-type: none"> 百間川の歴史・役割などを考え、治水・利水・親水などの多面的な機能の理解を深め、環境保全に寄与するなど、2 以上の小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 ・地域活動部門 4 件 <ul style="list-style-type: none"> 海拔の低い地域や土砂災害等の発生が懸念される地域における防災活動、地域における認知症予防対策、町内会等の活動における後継者対策を考えるなど、地域課題の解決のための活動の実施団体に対し、補助金を交付
防犯灯設置支援事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会が新たに設置する防犯灯の取付費用の一部助成等 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路防犯灯設置数（市設置）1 灯 ・防犯灯設置費補助数（町内会設置）108 灯

総括

総合評価

方向性 1 地域資源をいかした魅力と賑わいづくり

西大寺朝市や五福通りレトロマルシェなどのイベント開催の支援を行い、地域資源の魅力の向上と賑わいの創出を図った。また、西大寺会場の英語版Webサイトの制作支援、岡山市歴史のまちしるべ事業を実施し、市民の郷土への愛着や誇りの醸成を図るとともに、地域資源の魅力積極的に情報発信した。引き続き地域の声を反映し、地域資源の魅力の向上と賑わいの創出を図る。

方向性 2 多世代が交流・活動できる地域づくり

各地域が主体となって独自のアイデアで行われた地域づくりの取組に対して支援を行い、地域の自治組織と学校や事業者の連携や、多世代の交流、高齢者の見守り・支え合う地域づくりなどを促進することができた。さらに、地域活動を担う人材育成の面においても、地域応援人づくり講座を実施した。これらの事業は一定の成果をあげているが、4区の中で唯一人口減少期に突入している東区においては、主体となるべき地域住民の高齢化は確実に進行し、地域の担い手が不足していることから、今後もこれらの地域主体の独自の取組が途切れることのないよう支援しながら、新たな担い手の確保・育成を図っていく。

方向性 3 企業立地の推進と持続可能な農業の振興

優位性をいかした企業誘致を図るため、瀬戸インターチェンジ周辺等の農地の利用について、国への政策提言・要望、国家戦略特区への提案を行った。

持続可能な農業の振興を図るため、農業の担い手の確保・育成事業や経営力の強化を目的とした補助を行った。また、老朽化した農業用施設等の計画的な更新と長寿命化を図るため、農業用施設の改修事業や土地改良区が行う農業用施設の改修・維持管理事業への補助、土地改良区への指導を行った。

方向性 4 交通利便性の向上

主要渋滞個所の渋滞解消、広域交流の強化、高速道路へのアクセス強化を目的として、美作岡山道路（瀬戸JCT～熊山IC）の整備を進めるとともに、市街地に流入する交通の適切な分散・誘導による渋滞緩和や安全な通行の確保を目的として、主要地方道岡山赤穂線ほかの整備を進めた。

地域住民が主体となって、交通不便地域における日常生活に必要な移手段の確保策を検討するため、千種学区では、地域住民が検討組織を立ち上げ、交通実態に関するアンケートを実施した。この課題に対しては、自らが主体となって取り組む地域があるときには、それぞれの地域住民と一緒に検討を行っていく。

方向性 5 健やかに暮らせる地域づくり

地域の特性に応じたきめ細やかな健康づくりを進めるため、健康市民おかやま21推進会議の活動の充実を図るとともに、中学校区又は小学校区単位での組織づくりを促進した。

また、「ええとこ発見図（ウォーキングマップ）」を活用したウォーキング大会の開催や、「OKAYAMA！市民体操」の普及を進め、一定の成果をあげた。これらの取組を通じ、今後も引き続き組織づくりを促進するとともに、それらの組織の地域特性に応じた健康づくりの取組が充実するよう支援をしていく。

方向性 6 安全・安心な地域づくり

区民の防災意識を高めるため、出前講座の実施や防災資機材及び各種ハザードマップの給付を行った。さ

らに、台風接近が予想される場合や、普段の備えとなる備蓄土として、町内会等へ真砂土及び土のう袋の配布を行った。

また、区内での安全・安心ネットワークの活動を支援し、防犯指導及び講座を行った。さらに、地域の要望に基づき、通学路防犯灯を設置するとともに、町内会が防犯灯を設置する際の補助を行った。

以上のような取組により、区民の防災意識及び安全・安心なまちづくりに対する意識は高まってきており、今後も区民の主体的な活動を促進していく。

主な事務事業

方向性1 地域資源をいかした魅力と賑わいづくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
岡山まつり開催事業 (産業観光局観光コンベンション推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 夏まつり西大寺をはじめ、国の重要無形民俗文化財に指定された西大寺会陽など、岡山らしさを味わえるまつりや滞在を促すイベントの充実等を通じた岡山の魅力の発信 	<ul style="list-style-type: none"> 各種まつり（イベント）の実施 西大寺会陽・会陽冬花火 はだか10,000人 来場者33,000人 HPの英語バージョンを製作 夏祭り西大寺 夜待まつり 来場者約30,000人 水まつり 来場者約3,000人 安仁神社まつり 来場者約1,000人 亀石まつり 来場者約3,000人
地域振興事業 (東区・総務・地域振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 東区の地域資源として、西大寺五福通り周辺のまち並みを保存・活用するため、地域住民による主体的な取組を支援 西大寺地域中心市街地の活性化を目的としたイベント等の開催支援や地域スポーツの振興支援 	<ul style="list-style-type: none"> 西大寺五福通り周辺で開催されたイベントの支援 西大寺ファンタジー等の開催支援 区民体育大会やテニス、ソフトボール、バレーボール等の大会支援 西大寺ガイドマップの作成
「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業 (政策局事業政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史・文化の由来等を顕す統一的なデザインのご案内看板「岡山歴史のまちしるべ」の市内主要地域（中心市街地や周辺地域の藩、陣屋町等）や地域住民から提案を受けた場所への設置 	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体からの提案制度を策定し、募集を開始
観光施設の活用事業 (産業観光局観光コンベンション推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 区内各地の観光施設等の適切な維持管理や有効活用、市内各地の歴史・文化資源の統一看板「岡山歴史のまちしるべ」の設置等による観光客の満足度向上につながる受入体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客受入体制整備のため、岡山の観光地を紹介した看板の設置 岡山歴史のまちしるべ設置場所・設置数 西大寺エリア3基

<p>おかやま観光情報 発信事業 (産業観光局観光 コンベンション推 進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の伝統行事やイベント等、地域の様々な観光資源について、地域との連携・協働を図りながら効果的な活用を進め、観光客の増加、周遊促進を図る ・海外からの誘客も念頭に置き、その魅力を積極的に情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・レトロマルシェ 年2回開催 来場者約6,000人 ・西大寺朝市 年4回開催 来場者約3,000人 ・海水浴場の開設(2か所) ・桃の花空輸事業 沖縄へ約750本、北海道へ約650本 ・西大寺会場の英語版HPを製作し情報発信はだか約10,000人 来場者約33,000人
<p>トップチーム支援 事業 (市民生活局スポ ーツ振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民デーでの各種イベントの開催や選手との交流イベント等への支援 ・地域のスポーツ推進に繋がる自主事業開催への働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・政田サッカー場天然芝体験事業：小学生 231名

方向性2 多世代が交流・活動できる地域づくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
<p>区づくり推進事業 (東区・総務・地域振興課)</p>	<p>・地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な交流部門 11件 地域に生息するダルマガエルの保護活動の紹介をした「とよふれあいまつり」や、神崎梅園で行われ、5万人が来場した「太伯振興梅まつり」など、地域の歴史、文化、特産品など地域資源を活用しながら、幅広い年齢層の住民の交流や地域内外の人々の交流などを通して地域の活性化や地域住民の連帯意識の高揚を図る、小学校区で行うイベント開催の活動経費の補助を実施。 ・広域交流部門 3件 西大寺の自然や伝統的な街並みをコースに取り入れたマラソンを通して、地域の連帯感を深める「おかやま西大寺マラソン」や、地域の伝統芸能文化を守り育て、次世代に継承していく「郷土芸能フェスティバル in 西大寺」など、2以上の小学校区単位で行われた地域活性化のイベント活動経費の補助を実施。 ・地域活動部門 3件 地域に住む高齢者が、住み慣れた地域で健康で自立した生活が送れるよう、地域で支え合う仕組みづくりや、地域の共助の意識や防災・減災の意識などの啓発の取組など、地域の課題解決に取り組む継続的な活動に対し補助を実施。
<p>安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)</p>	<p>・安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付(20学区・地区中17学区・地区に交付) ・若者の地域への関心を高めるなど、地域活動を担う人材の育成につながる地域づくり講座の開催(2館で若者を対象とした地域応援人づくり講座を実施)

方向性3 企業立地の推進と持続可能な農業の振興		
①優位性をいかした企業誘致		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
企業立地推進事業 (産業観光局産業政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 美作岡山道路における瀬戸インターチェンジの整備を契機として、インターチェンジ周辺等の産業利用の適地に用地を確保できるよう地域と連携して取り組み、瀬戸地域等への企業立地を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 産業振興に資する土地利用を図るため農振法の規制緩和を求めて、「国への政策提言・要望」活動や「国家戦略特区」への提案等、様々な機会を活用し、国への要望、提案等を実施
②持続可能な農業の振興		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
農業の担い手の確保・育成事業 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> 若手農業者モデル経営体の登録及び新規就農希望者への紹介 就農相談会や農業体験研修等の実施による新規就農の促進 新規就農者への奨励金給付や就農直後の経営確立に資する資金の交付 U I J ターン園芸農業者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者数 30人 就農相談会 8回 農業体験研修 4回 若手農業者モデル経営体の登録 14経営体 奨励金給付 10件 U I J ターン園芸農業者への補助 2件 <p>※全市の実績</p>

<p>農業経営力向上対策事業 (産業観光局農林水産課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水田農業の大規模化、地域振興作物の産地化など、水田フル活用に資する取組への支援 ・園芸作物や米・麦・大豆等の生産性向上に必要な機械導入や設備整備等への支援 ・担い手への農地集積に対する支援 ・農業者と企業の連携の支援 	<p>【経営所得安定対策推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の直接支払交付金申請者数 2,651 件 ・水田活用直接支払交付金申請者数 2,458 件 <p>【水田営農推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 1 件、受益個数 230 戸、受益面積 480ha） <p>【園芸作物生産流通対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 9 件、受益個数 1,213 戸、受益面積 270.21ha） <p>【畜産振興指導費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市畜産クラスター協議会の設立支援（H28.9.27 設立） <p>【環境保全型農業推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 8 件、受益戸数 95 戸、受益面積 71.54ha） ・環境保全型農業直接支払交付金（件数 6 件、3.4ha） <p>【担い手の育成・確保の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地集積率 35%（目標） 平成 28 年度実績 26.8% <p>※全市の実績</p>
<p>農産物販路拡大支援事業 (産業観光局農林水産課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者団体等による農産物のブランド化への取組の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の研究・開発を支援（3 団体） ・農業者団体等による農産物のブランド化への取組（1 件）
<p>農業農村整備事業 (産業観光局農村整備課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の大区画化、排水改良、農業用施設の改修や補修・長寿命化対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良事業 工事件数 0 件 ・単独改修事業 工事件数 33 件 ・障害対策委託件数 51 件
<p>土地改良区等支援事業 (産業観光局農村整備課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な農業用施設の補修・維持管理を担う土地改良区や地域共同体等の組織、人材に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区への事務費等補助 西大寺、山南、吉井川下流、砂川右岸 計 4 団体へ交付

方向性 4 交通利便性の向上		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)
広域交通網の整備 (都市整備局道路 計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・主要渋滞箇所の渋滞解消、広域交流の強化、高速道路へのアクセス強化を目的とした美作岡山道路（瀬戸 JCT～熊山 IC）の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・美作岡山道路（瀬戸 JCT～熊山 IC）において、道路改良工事、瀬戸トンネル電気設備工事等を実施
外環状道路の整備 (岡山環状道路) (都市整備局道路 計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地に流入する交通の適切な分散・誘導による渋滞緩和や安全な通行の確保を目的とした、主要地方道岡山赤穂線の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要地方道岡山赤穂線において、用地補償、JR 工事委託等を実施
幹線道路の整備 (都市整備局道路 計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・県道等幹線道路における、道路改良、歩道整備、交通安全施設整備等 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要地方道西大寺山陽線ほか 5 路線において、道路改良工事、用地補償等を実施
鉄道の利用環境改善 (都市整備局交通 政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通結節機能強化 ・パーク＆ライド駐車場管理 ・わかりやすい案内情報の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・西大寺駅駐車場の管理運営（東区役所） ・瀬戸・万富駅駐車場の管理運営（瀬戸支所）
バスの利用環境改善 (都市整備局交通 政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク＆バスライド駐車場、サイクル＆バスライド駐輪場の整備 ・わかりやすい案内情報の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・なし
新たな生活交通の確保 (都市整備局交通 政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民及び交通事業者との連携による、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・千種小学校区において、地域住民が検討組織を組織し、住民の交通実態に関するアンケートを実施

方向性5 健やかに暮らせる地域づくり		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
「健康市民おかもま21(第2次)」推進事業 (保健福祉局健康づくり課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民との協働による、日常的な運動習慣の推進や栄養・食生活改善、喫煙対策等の健康づくり活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 健康市民おかもま21推進体制 <東区> 東区：1組織/1区 中学校区：3組織/6中学校区 ウォーキング大会・健康まつり・健康教室等、市民主体で企画実施したイベント回数・参加人数 <東区>50回、9,855人

方向性6 安全・安心な地域づくり		
①津波・浸水対策		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
浸水対策事業 (下水道局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 国、県による吉井川、砂川の早期改修、海岸堤防の津波・高潮対策や耐震化の促進 市街地等での浸水対策 町内会へ防災備蓄土、土のう袋の配布 豪雨が予想される場合には、地元水利権者等も含む行政と住民が互いに協力しながら、流末の遊水池の有効活用や河川からの取水調整、河川の水位上昇に伴う各種の操作等による浸水被害の軽減・防止 	<ul style="list-style-type: none"> 国、県による吉井川下流部の高潮、耐震化の整備、砂川(西大寺地区、竹原地区)など河川改修事業を促進 瀬戸ポンプ場雨水ポンプ増設詳細設計業務 町内備蓄土の配布、台風接近時等の市民への土のう配付3回実施 台風接近時等に河川からの取水調整、河川水位の上昇に伴う操作等の実施
単独河川改修事業 (下水道局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 普通河川の河川改修による浸水対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 目黒川用地測量を業務委託により実施

②地域の防災・防犯力の強化		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
自主防災会育成事業 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会の結成促進、防災資機材の給付 防災まちづくり学校や公民館職員等への防災講習会の開催、男女ともに地域防災リーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会資機材給付（結成）7件 自主防災会資機材給付（訓練）98件 自主防災会地域防災マップ給付13件
安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付（20学区・地区中17学区・地区に交付）
住民自治組織育成事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 学区・地区連合町内会の活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> 20学区・地区連合町内会の活動を援助するため、予算の範囲内において補助金を交付 町内会活動の充実や環境の美化等暮らしやすい地域づくりの推進に資するために、380町内会に対し、自治振興報償金の支払 町内会集会所新築等補助金の交付 修繕4件
備蓄の推進 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> 分散備蓄の推進 家庭内備蓄の周知啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 備蓄場所のない小中学校7か所に備蓄倉庫を設置
出前講座等の実施 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の防災意識の高揚を図ることを目的とした、地域での防災出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座の実施 19回
浸水対策事業 (危機管理室、下水道局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> いつ起こるかわからない津波災害や浸水被害等に迅速・的確に対応し、被害を最小限にとどめることを目的とした、ハザードマップの作成や出前講座の実施等による日頃からの危機意識の醸成及び避難方法等の一層の周知 	<ul style="list-style-type: none"> 洪水・土砂災害ハザードマップを平成28年3月に更新し、市民へ配布、各区役所で配布、市HPで公表 内水ハザードマップを平成28年6月に作成、東区役所、地域センターで配布、市HPで公表、公民館で掲示 内水ハザードマップの配布：1,165枚
地域防犯ボランティア支援事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域防犯ボランティア活動の活性化及び地域の防犯意識向上を目的とした、地域防犯ボランティアへの講習、防犯講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の防犯ボランティア団体を対象に地域の公民館講座等を活用し、防犯指導及び講座を中心に支援 <ul style="list-style-type: none"> 防犯講座5回 地域への現地指導13回

防犯灯設置支援事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会が新たに設置する防犯灯の取付費用の一部助成等 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路防犯灯設置数（市設置）29 灯 ・防犯灯設置費補助数（町内会設置）106 灯
---	--	---

総括

総合評価

方向性 1 地域で取り組む防災・防犯対策の充実

県による笹ヶ瀬川、足守川、倉敷川の河川改修事業や、浦安、芳田の雨水排水施設整備等ハード面での浸水対策を推進するとともに、ソフト面では、内水ハザードマップを作成し、出前授業などで市民への周知を図った。浸水被害防止のための重要な用水路の藻がりについては、今後とも効果的な対策を実施していく。

また、自主防災会については 2 団体が新規に結成されたが、地域の防災力を高めるため、引き続き新規結成を促進するなど、南海トラフ巨大地震による津波やゲリラ豪雨による被害軽減のため、今後とも市民協働により防災対策に取り組んでいく。

方向性 2 活力のある農業の振興

国、県や土地改良区などと連携して、老朽化した水路の補修を着実に推進するとともに、建設から長年経過した千両街道の整備を行うなど、農業用施設の長寿命化を引き続き進めていく。

鳥獣害対策については、防護柵等の補助申請件数が増加しており、また、猟友会に駆除を依頼するなど、対策も一定の効果を上げており、引き続き実施していく。

方向性 3 多様な担い手の参加・協働による地域活動の活性化

新規に灘崎と迫川のコミュニティハウスを整備した。今後は、同コミュニティハウスを拠点として地域住民の参加を促進し、コミュニティ活動のより一層の活性化を図っていく。

地域住民が主体となった地域づくりに対しては、区づくり推進事業を通じて支援を行っており、中でも、災害に弱いと言われている干拓地における防災訓練や、近年増加しているイノシシ被害を防止・軽減するための事業など、地域課題を住民自らが解決しようとする特徴的な取組があった。今後は、地縁団体のみならず、事業者、学校、NPO等とのつながりも深めつつ、多様な主体の参加・協働による地域活動の活性化を図っていく。

方向性 4 地域の魅力の発掘・発信

国史跡に指定されている彦崎貝塚を後世に残すため公有化を進めた。公有化完了（平成 29 年度）後は、史跡地の保存に留意しながら公開・活用を進めていく。

また、南区を紹介するリーフレットや区づくり推進事業を紹介するポスターを作成し、各地域に周知するとともに、区づくり推進事業を含めた伝統行事などを SNS などで区内外に情報発信した。

方向性 5 交通の利便性の向上

市道藤田浦安南町線（外環状線）と主要地方道岡山児島線については、引き続き着実に事業を進めていく。

また、迫川地区乗合タクシーについて、平成 28 年 11 月から試験運行を開始し、利用率向上を図るため、利用状況の分析、利用の啓発を行った。今後、迫川地区以外の公共交通の利用が不便な地域における日常生活に必要な移動手段確保についても、地域とともに検討していく必要がある。

方向性 6 健やかに暮らせる地域づくり

健康づくりについて民間企業と連携したイベント等を実施するとともに、福田緑道の整備においては敷地造成工、水路工を実施した。今後も、地域における自主的な健康づくりに向けた環境整備に取り組んでいく。

主な事務事業

方向性 1 地域で取り組む防災・防犯対策の充実		
①津波、浸水対策		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)
浸水対策事業 (下水道局下水道 河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県による海岸堤防、笹ヶ瀬川等の護岸の整備や耐震化の促進 ・浦安、芳田排水区など市街地等での雨水排水施設の整備 ・高潮や浸水の危険が事前に予想される場合には、児島湖の管理者や上流地域の水利権者とも協力しながら水位調整 ・町内会への防災備蓄土、土のう袋の配布等を通じた共助による浸水被害の軽減・防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・県による笹ヶ瀬川（左岸：米倉地区、右岸：大福地区付近）、足守川（妹尾崎地区付近）、倉敷川（西畦地区付近）など河川改修事業を促進 ・芳田 14 号幹線雨水管整備工事 L=558m ・浦安 12 号雨水管整備工事 L=104m ・浦安 11 号幹線ほか雨水管基本設計業務委託 ・植松排水機場基本設計業務 ・小串排水機場詳細設計業務 ・台風接近時等の児島湖、水路等の水位調整を実施 ・町内備蓄土等の配布、台風接近時等の市民への土のう配付 3 回実施
単独河川改修事業 (下水道局下水道 河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・普通河川の河川改修による浸水対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・芹川支川河川改修 L=50m ・芹川支川測量設計を業務委託により実施
農業農村整備事業 (産業観光局農村 整備課)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業農村整備事業の内、特に浸水対策を目的として実施する農業用施設の改良 	<ul style="list-style-type: none"> ・樋門改良事業 2 件 万倍地内樋門改良工事 妹尾地内樋門電動化工事
②地域の防災・防犯力の強化		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28 年度)
出前講座等の実施 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の防災意識の高揚を図ることを目的とした、地域での防災出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 36 回

<p>浸水対策事業 (危機管理室、下水道局下水道河川計画課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ起こるかわからない津波災害や浸水被害等に迅速・的確に対応し、被害を最小限にとどめることを目的とした、ハザードマップの作成や出前講座の実施等による日頃からの危機意識の醸成及び避難方法等の一層の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水・土砂災害ハザードマップを平成 28 年 3 月に更新し、市民へ配布、各区役所で配布、市HPで公表 ・内水ハザードマップを平成 28 年 6 月に作成、南区役所、地域センターで配布、市HPで公表、公民館で掲示 ・内水ハザードマップの配布：1,955 枚 ・出前授業については、内水ハザードマップによる浸水対策の出前授業を実施
<p>自主防災会育成事業 (危機管理室)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の結成促進、防災資機材の給付 ・防災まちづくり学校や公民館職員等への防災講習会の開催、男女ともに地域防災リーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会資機材給付（結成）2 件 ・自主防災会資機材給付（訓練）21 件 ・自主防災会地域防災マップ給付 1 件
<p>安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付（23 学区・地区に交付）
<p>地域防犯ボランティア支援事業 (市民生活局生活安全課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防犯ボランティア活動の活性化及び地域の防犯意識向上を目的とした、地域防犯ボランティアへの講習、防犯講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の防犯ボランティア団体を対象に地域の公民館講座等を活用し、防犯指導及び講座を中心に支援 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯講座 6 回 ・地域への現地指導 10 回
<p>防犯灯設置支援事業 (市民生活局生活安全課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会が新たに設置する防犯灯の取付費用の一部助成等 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路防犯灯設置数（市設置）12 灯 ・防犯灯設置費補助数（町内会設置）128 灯

方向性2 活力のある農業の振興		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
農業の担い手の確保育成事業 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> 若手農業者モデル経営体の登録及び新規就農希望者への紹介 就農相談会や農業体験研修等の実施による新規就農の促進 新規就農者への奨励金給付や就農直後の経営確立に資する資金の交付 U I J ターン園芸農業者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者数 30人 就農相談会 8回 農業体験研修 4回 若手農業者モデル経営体の登録 14経営体 奨励金給付 10件 U I J ターン園芸農業者への補助 2件 <p>※全市の実績</p>
農業経営力向上対策事業 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> 水田農業の大規模化、地域振興作物の産地化など、水田フル活用に資する取組への支援 園芸作物や米・麦・大豆等の生産性向上に必要な機械導入や設備整備等への支援 担い手への農地集積に対する支援 農業者と企業の連携の支援 	<p>【経営所得安定対策推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米の直接支払交付金申請者数 2,651件 水田活用直接支払交付金申請者数 2,458件 <p>【水田営農推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 1件、受益個数 230戸、受益面積 480ha） <p>【園芸作物生産流通対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 9件、受益個数 1,213戸、受益面積 270.21ha） <p>【畜産振興指導費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡山市畜産クラスター協議会の設立支援（H28.9.27 設立） <p>【環境保全型農業推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 8件、受益戸数 95戸、受益面積 71.54ha） 環境保全型農業直接支払交付金（件数 6件、3.4ha） <p>【担い手の育成・確保の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 担い手への農地集積率 35%（目標） 平成28年度実績 26.8% <p>※全市の実績</p>
農産物販路拡大支援事業 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な食品見本市へ出展する農業者への補助 農業者団体等による農産物のブランド化への取組の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な食品の見本市への出展補助 2/22・23 大阪（出展2社） 農産物の研究・開発を支援（1団体）

農業農村整備事業 (産業観光局農村整備課)	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の大区画化、排水改良、農業用施設の改修や補修・長寿命化対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良事業 工事件数 1件 ・単独改修事業 工事件数 81件 ・障害対策委託件数 62件
土地改良区等支援事業 (産業観光局農村整備課)	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な農業用施設の補修・維持管理を担う土地改良区や地域共同体等の組織、人材に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区への事務費等補助 児島湾、岡山市浦安、岡山市妹尾、灘崎、高崎、児島湾七区、光南台 計7団体へ交付
都市農村交流施設資源活用事業 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業公園（岡山市サウスヴィレッジ）を活用した都市農村交流の促進 	【岡山市サウスヴィレッジ】 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理の実施 ・多目的トイレの修繕 ・非常用バッテリーの交換 ・利用者数：784千人

方向性3 多様な担い手の参加・協働による地域活動の活性化		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付（23学区・地区に交付） ・若者の地域への関心を高めるなど、地域活動を担う人材の育成につながる地域づくり講座の開催（4館で若者を対象とした地域応援人づくり講座を実施）
住民自治組織育成事業 (市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学区・地区連合町内会の活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・23学区・地区連合町内会の活動を援助するため、予算の範囲内において補助金を交付 ・町内会活動の充実や環境の美化等暮らしやすい地域づくりの推進に資するために、275町内会に対し、自治振興報償金の支払 ・町内会集会所新築等補助金の交付 新築1件、修繕3件
環境美化推進事業 (環境事業課)	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい快適なまちづくりを進めるとともに、自分たちのまちは自分たちできれいにするという地域活動への参加意識の向上を図るため、地域でのクリーン作戦を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・統一実施日 9月25日(日) ・当初参加予定人数 26,863人 ・クリーン作戦資材の配布 土嚢袋 8,000枚 ボランティア袋 70% 20箱 ボランティア袋 45% 16箱 軍手 18,000双

<p>区づくり推進事業 (南区総務地域振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な交流部門 8件 干拓の歴史、地域の文化、民俗芸能、防災対策の強化など、小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 ・広域交流部門 4件 干拓の歴史、地域の特産物、民俗芸能、伝統行事など、2以上の小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 ・地域活動部門 2件 災害に弱いと言われている干拓地における防災訓練、近年増加しているイノシシ被害を防止・軽減するなど、地域課題の解決のための活動の実施団体に対し、補助金を交付
--	--	---

方向性4 地域の魅力の発掘・発信		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
<p>区づくり推進事業等 (南区総務地域振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 ・各地域で行われる伝統行事などを、SNS等で周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な交流部門 8件 ・広域交流部門 4件 ・地域活動部門 2件 ・区づくり推進事業を紹介するポスターを作製し、地域センター、公民館等で掲出 ・各地域の行事をSNSで区内外に情報発信 ・南区を紹介するリーフレットを作製し、町内会、公民館等に配布
<p>「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業 (政策局事業政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史・文化の由来等を顕す統一的なデザインの案内看板「岡山歴史のまちしるべ」の市内主要地域(中心市街地や周辺地域の藩、陣屋町等)や地域住民から提案を受けた場所への設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体からの提案制度を策定し、募集を開始
<p>観光施設の活用事業 (産業観光局観光コンベンション推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然公園施設等の適切な維持管理による利用者の満足度向上につながる受入体制の整備(県から受託を受けた施設等の維持管理含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然公園内施設等の維持管理 虎口池野営場利用者数 428人

方向性5 交通の利便性の向上		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
外環状道路の整備 (岡山環状道路) (都市整備局道路 計画課)	・市街地に流入する交通の適切な分散・誘導による渋滞緩和や安全な通行の確保を目的とした、市道藤田浦安南町線の整備	・市道藤田浦安南町線において、橋梁下部工等の道路改良工事を実施
幹線道路の整備 (都市整備局道路 計画課)	・県道等幹線道路における、道路改良、歩道整備、交通安全施設整備等	・(主)岡山児島線において、道路改良工事、用地補償等を実施
バスの利用環境改善 (都市整備局交通 政策課)	・パーク&バスライド駐車場、サイクル&バスライド駐輪場の整備 ・わかりやすい案内情報の整備	なし
新たな生活交通の確保 (都市整備局交通 政策課)	・地域住民及び交通事業者との連携による、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討	・迫川地区で乗合タクシーの試験運行を、11月18日から開始

方向性6 健やかに暮らせる地域づくり		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H28年度)
「健康市民おかも ま21(第2次)」 推進事業 (保健福祉局健康 づくり課)	・市民との協働による、日常的な運動習慣の推進や栄養・食生活改善、喫煙対策等の健康づくり活動の推進	・ウォーキング大会・健康まつり・健康教室等、市民主体で企画実施したイベント回数・参加人数 ＜南区西＞75回、5,304人 ＜南区南＞9回、1,244人

<p>福田緑道の整備 (都市整備局庭園 都市推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度：用地買収 実施設計 ・平成 28 年度：緑道内の水路工等 ・平成 29 年度：園路工や広場整備工 ・平成 30 年度：植栽工や防護柵工【工事完成予定】 	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地造成工、護岸工（ボックスカルバート） L=72m, 水路工 L=240m を施工
---	--	---